



375.9
Sa.14
資料室

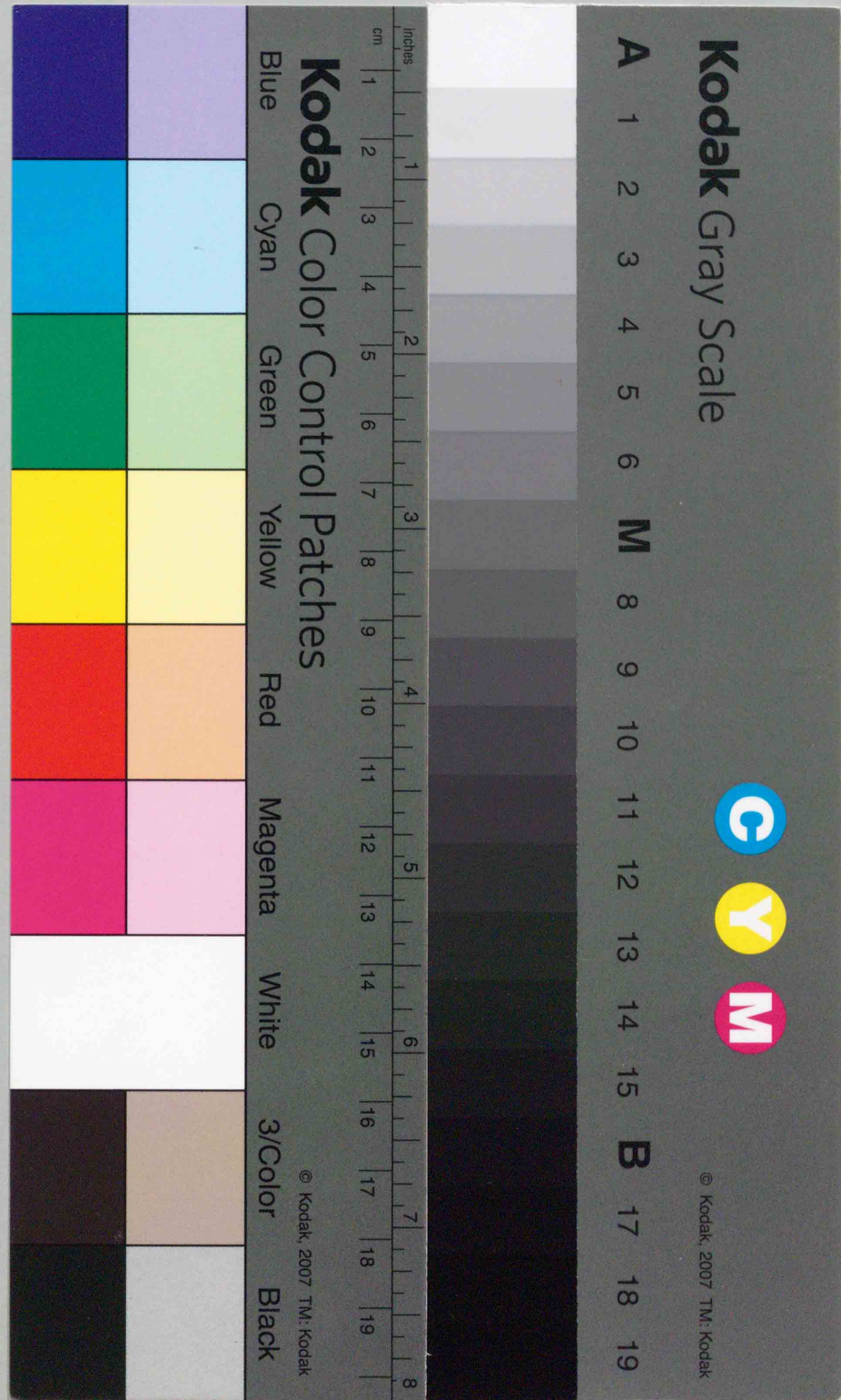
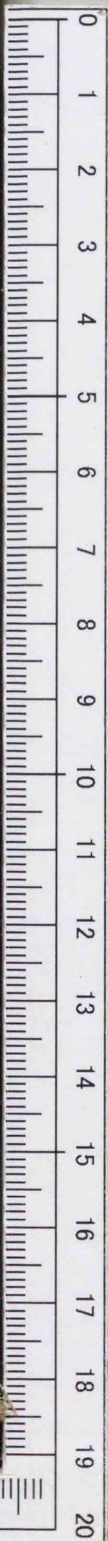
編所輯編堂省三

新制
最近世界地理

據準表乙

阪大・堂省三・京東

4
20



42840
教科書文庫
4
293
41-1932
20000
63445



資料室

昭和七年十一月五日
文部省檢定
中學地理科用

教科書文庫
4
293
41-1932
2000063445

37519
No 14

三省堂編輯所編

新制
最近世界地理

乙表標準

東京·三省堂·大阪

大連の埠頭

東洋第一の設備といはれる大連埠頭は、最初露國の東清鐵道會社が、一千萬ルーブルの巨資を投じて造築したものであるが、その後日本の投資によつて現在の三埠頭を完成した。幅は多少違つてゐるが、長さは何れも約六百米で、一萬噸級の大船が自由に繋がれ、その大埠頭は、陸上に設けられた待合所から、歩廊傳ひに乗船が出来るやうになつてゐる。寫眞に見えるのは待合所で、圓形の所は入口である。

広島大学図書

2000063445





大連の埠頭



米國の油田

米國の油田

世界の石油界で、超然と群を離れ、他國に卓越してゐるのはアメリカ合衆國である。近年採取に或程度の統制を加へてゐるが、尙世界總産額の七割餘を占める。米國の産油地は大體ベンシルバニヤ區、西南區(テキサス・カンサス・オクラホマ)、カリフォルニアの三區に分れる。寫眞は西南區油田の一部で、レッド河の河床に設けられた石油槽を、その右岸から見た光景である。

辯言

本書は中學校(表乙)及び師範學校の教科用書とする爲に編纂したもので、^新最近日本地理^新及び^新最近地理通論と連絡し、相俟つて地理教授の本旨を達成せしめることに努めた。

本書の編纂に當つて、特に意を用ひた要點は、大要左の通りである。

- 一、既習の知識を基礎とし、更に之を世界的に統合會得せしめる方針を採つた。即ち日本地理を中心とし、その延長として世界地理を説いたもので、大洋洲も先づ日本の委任統治諸島から入ることにした。
- 一、日本と關係の親疎により、著しく教材の選擇を斟酌し、要目の趣旨を徹底せしめることに努めた。従つて排列の順序もその便否を考慮し、或は地形から始め、或は政治から述べ、必ずしも一定の型によることを避けた。
- 一、經濟關係は國際上の最要條件であるから、殊にその記述に意を注ぎ、多數のマップ、グラフ等を加へて直觀的ならしめた。
- 一、挿畫は嚴密に選擇して一々略解を加へ、尙多數の別頁圖を加へて、記述の理解と趣味の喚起とに便ならしめた。

一、人口は最近の調査により、關東州は三萬以上、特殊關係のある滿洲國は十萬以上、その他は二十萬以上の都邑を一括して欄外に列記し、又獨立國の首府は二十萬に充たないものも、之を載せて参考とした。

一、統計の調査年度は一定しないが、成るべく最近の數を採つた。

一、尺度は總てメートル法を原則としたが、航路は一般の慣用により哩を用ひた。

本書の編纂は、多數の當事者諸賢から寄せられた提案に與る所が極めて多い。茲に謹んで感謝の意を表す。

昭和七年八月

編者識

新制 最近世界地理 目次

緒言……………一

第一篇 大洋洲……………一

 總說(其一)……………三

 各說……………三

 第一章 我が南洋諸島……………三

 第二章 太平洋諸島……………六

 第三章 オーストラリアヤ聯邦……………九

 總說(其二)……………一四

第二篇 兩極地方……………一四

 第一章 南極地方……………一六

 第二章 北極地方……………一七

第三篇 アフリカ洲

總 說(其一)..... 三

各 說..... 三

第一章 北部アフリカ..... 三

第二章 西部アフリカ..... 六

第三章 東部アフリカ..... 六

第四章 南部アフリカ..... 三

總 說(其二)..... 三

第四篇 南アメリカ洲

總 說(其一)..... 三

各 說..... 三

第一章 東部南アメリカ..... 三

第二章 東南部南アメリカ..... 四

第三章 西部南アメリカ..... 三

總 說(其二)..... 三

第五篇 北アメリカ洲

總 說(其一)..... 三

各 說..... 三

第一章 南部北アメリカ..... 三

第一節 中央アメリカ及び西印度..... 三

第二節 メキシコ..... 三

第二章 アメリカ合衆國..... 三

第三章 北部北アメリカ..... 七

總 說(其二)..... 三

第六篇 アジヤ洲

總 說(其一)..... 七

各 説

第一章 東部アジア……………七九

 第一節 滿洲國及び關東州……………八〇

 第二節 支那(中華民國)……………八九

第二章 南部アジア……………一〇九

 第一節 印度支那……………一〇九

 第二節 マレー諸島……………一一三

 第三節 印度及びセーロン島……………一二五

第三章 西部アジア……………一三三

第四章 北部アジア……………一三五

 第一節 シベリヤ……………一三五

 第二節 中央アジア及びコーカシヤ……………一三〇

總 説(其二)……………一三一

第七篇 ヨーロッパ洲……………一三四

總 説(其一)……………一三四

各 説

第一章 東部ヨーロッパ……………一三七

 第一節 ソビエト聯邦……………一三七

 第二節 フィンランド……………一四二

 第三節 バルチック沿海諸國……………一四二

 第四節 ポーランド 附ダンチヒ……………一四四

第二章 北部ヨーロッパ……………一四六

 第一節 スカンディナヴィヤ半島……………一四七

 第二節 デンマーク 附アイスランド……………一五〇

第三章 中部ヨーロッパ……………一五二

 第一節 ドイツ……………一五二

 第二節 スイス……………一五九

 第三節 オーストリア 附リヒテンシュタイン……………一六二

 第四節 ハンガリー……………一六三

 第五節 チェコスロバキヤ……………一六四

第四章 西部ヨーロッパ……………一六五

第一節	フランス 附 モナコ	一六
第二節	ベルギー 附 ルクセンブルグ	一七
第三節	オランダ	一七
第四節	イギリス	一七
第五章	地中海地方	一六
第一節	イベリヤ半島 附 シブラルタル アンドラ	一七
第二節	イタリヤ 附 バチカン サンマリノ マルタ	一八
第三節	バルカン半島	一九
總	説(其二)	一九

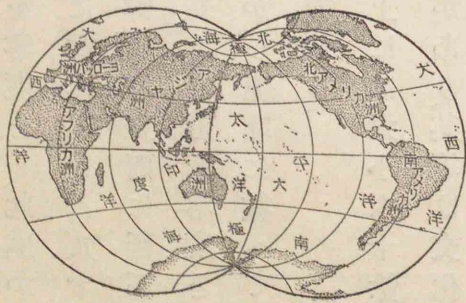
目次終

新制 最近世界地理

緒言

地球上には、我がアジヤ洲の外、ヨーロッパ・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・大洋洲がある。之を六大洲と呼び、總面積は、約一億三千方料に及ぶ。その他南極地方には、面積未詳の陸地がある。海洋の面積は、陸地の約三倍に達し、之を太平洋・大西洋・印度の三大洋に分け、又は北極海・南極海を加へて、五大洋とも呼ぶ。

地球の表面には、各地點の位置を示す爲に、便宜上經線と緯線とを設ける。經線は南北の兩極を連ねた縦の線で、イギリスのグリニチ天文臺を通ず



我が東京の位置は約東經百三十九度四十四分北緯三十五度三十九分に當つてゐる

圖 文明人の市街と野蠻人の聚落
 上はロンドン市の一部で下はアフリカ西部の土人部落



る經線を零度とし、此處から東西に數へて、各百八十九度ある。緯線は東西に延びた横の線で、赤道を零度とし、此處から南北に數へて各九十度ある。

地球には、大小六十餘の國家があり、其等は文化強弱等の程度が著しく違つてゐる。近年國際間の關係が極めて密接となり、世界の一角に起つた事變も、その影響は忽ち全般に波及するやうになつた。我等は廣く外國の地理を學んで、世界に於ける日本の地位を知り、以て時代に善處する覺悟がなくてはならぬ。

面積 約九〇〇萬方呎
 人口 約八四〇萬

面積 約二一五〇方呎
 人口 約七萬
 (内邦人約一萬人)
 委任統治地は年報を國際聯盟に提出するのみでその他は本國の統治と異なる點はない

第一篇 大洋洲

Oceania

總說 (其一)

大洋洲は、オーストラリア大陸と、廣く太平洋上にある無數の島々とかから成り、通常オーストラリア・メラネシア・ミクロネシア・ポリネシアに大別するが、本書は便宜上、左の三部に分ける。

我が南洋諸島 (我が國に統治を委任された島々)
 太平洋諸島 (我が南洋諸島を除いた島々)
 オーストラリア聯邦 (オーストラリア大陸・タスマニア)

各說

第一章 我が南洋諸島

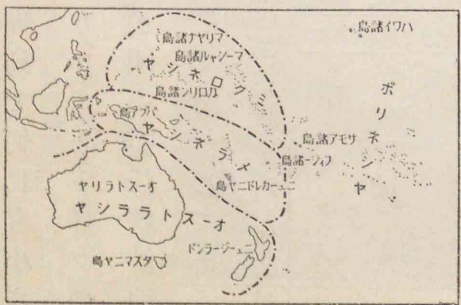
ミクロネシアの大部を占める六百餘の島嶼で、マリヤナ・パラオ・カロリン・マーシャル等の諸島

Marianne

Falan

Caroline

Marshall

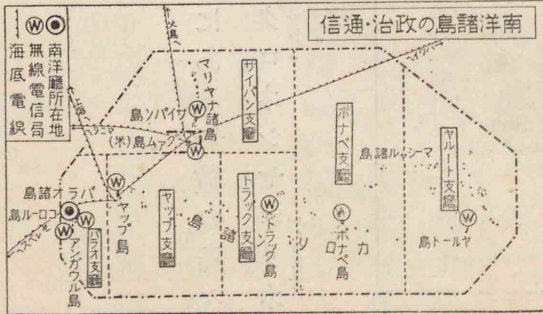


六支廳
 サイパン パラオ
 ヤップ トラック
 ボナベ ヤルート
 土人の一例
 サイパン島に住む者で
 男女共に裸體である
 チャモロはカナカ
 に比べると文化の
 程度が遙に高い

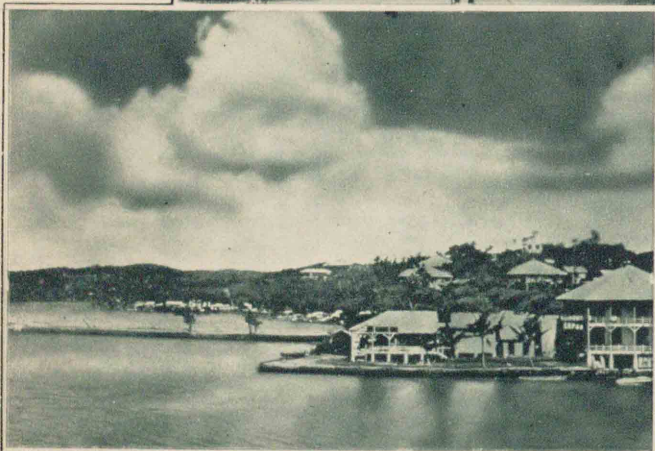


に分れる。多くは火山島又は珊瑚島で、何れも小さく、面積は沖繩の一縣にも足りない。もとドイツの領土であつたが、大戦の結果、我が國の委任統治地となり、南洋廳の下に六支廳を置いて治めてゐる。土人はミクロネシア族(チャモロカナ)であるが、風習は處によつて違つてゐる。

椰子樹、麩果樹、甘蔗、芋類等はよく生育し、殊に我が施政以來、産業が著しく發達して、砂糖、コブラ、燐礦等は主要の産物となり、貝殻、海參等の水産もある。航路は主要島嶼の連絡線と内地連絡線とがあり、海底電線、無線電信等も開けてゐる。



サイパン島のガラパン
 サイパン支廳の所在地で、
 圖中の
 人家は總て内地人の住宅



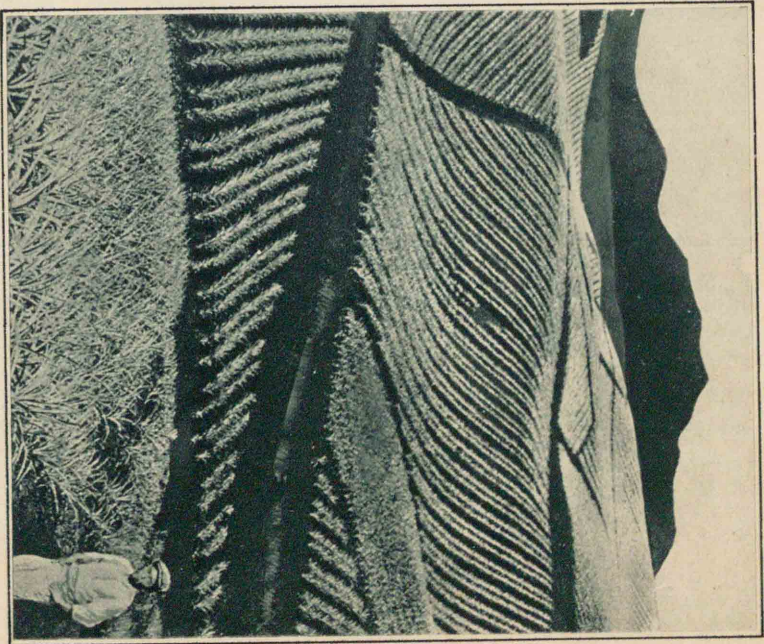
ヤップ島の海底電信所
 南洋諸島中海底電線の集點として
 最も主要な位置を占める



砂糖運搬用の鐵道
 サイパン島と共に砂糖の主産地
 あるチニヤン島の海岸



羊牧のボンラージーニ
む進てい續く長く如の蛇長を道るせ曲屈ひ徒に者牧は群の羊



園梨風のイフアン
るあで品出輸要主は詰籾のそれらせ培裁く廣もでま腹山陵丘は梨風

マリヤナ諸島は、富士火山帯の延長で、その多くは珊瑚礁に囲まれた火山島から成り、東側にマリヤナ海溝がある。サイパン島は附近の島と共に、甘蔗の栽培が行はれ、砂糖を産する。

パラオ諸島は、マレー諸島と地體上の關係があり、東側に深い海溝がある。コロール島は我が南洋統治の中心で、マ・ラ・カ・ル港があり、アン

ガウル島には燐礦の産が多い。

カロリン諸島は、多くの珊瑚島又は火山島から成り、その中のヤップ島は海底電線の要地で、土人は

石貨・貝貨を用ひる風習がある。トラック島は、廣い礁湖内に火山群島を包み、良港を作つてゐる。ポナペ島は東部の主島である。

燐礦横出

アンガウル島に於ける
光景

トラック島に嘗て我が南洋諸島防備隊が置かれたが今は南洋諸島を南洋海軍區とし、横須賀鎮守府の所屬になつてゐる

石貨と島民集會所

ヤップ島にあるもので集會所の前の圓形のものが石貨である

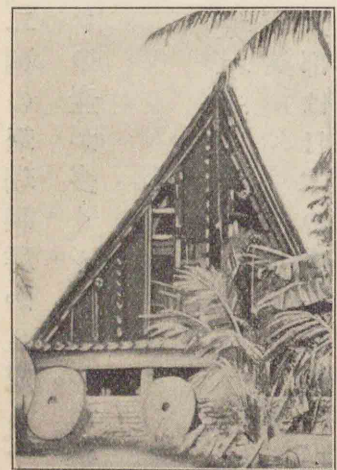
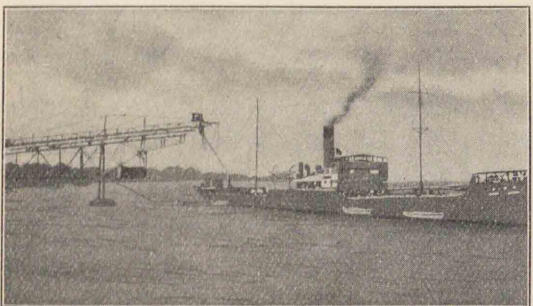


圖 日本人の鳳梨栽培
 ハワイ在留邦人が鳳梨の栽培に従事してゐる光景

マーシャル諸島は、二列の珊瑚礁群から成る。ヤ
 ルト島にはコブラの産が多く、ジャボールの舟
 泊地がある。

第二章 太平洋諸島

ミクロネシヤ 大部は日本の委任統治に屬してゐるが、赤道以南のナウル島は、英國の委任統治地となり、オーシャン島(英領)と共に燐礦の産が多い。グアム島は米國の太平洋に於ける活動の根據地で、海軍要港を設け、又海底電線の中繼所として名高い。

ポリネシヤ 太平洋の東部に散在する無数の島々で、その中米國に屬するハワイ諸島は、最も重要なものである。

ハワイ諸島
 面積 約一萬七千方軒
 人口 約三七萬

ハワイ諸島には八箇の大島がある。最大のハワイ島には、キラウエヤ火山があつて、その噴火口には常に灼熱した熔岩を湛へてゐる。海

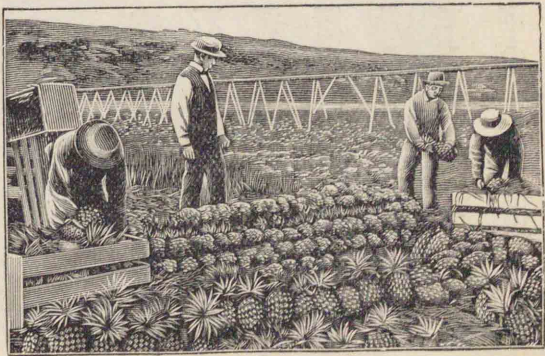
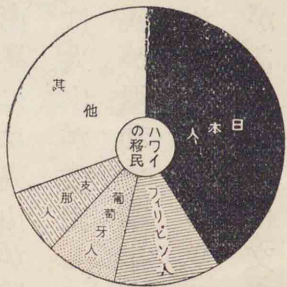
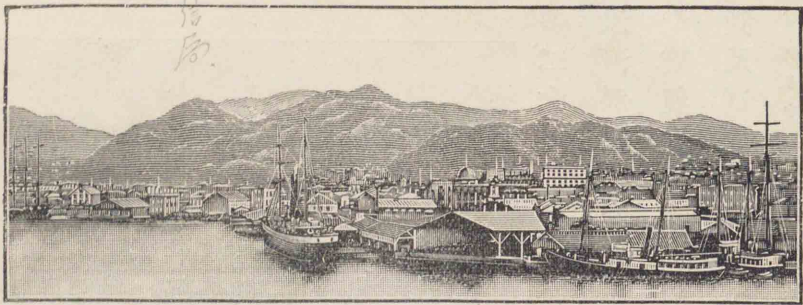


圖 Honolulu 埠頭
 太平洋の中央に位し各方面から航路が集る

ホノルル・横濱間は航路三千四百哩ある
 ホノルル附近の無線電信局は我が國と連絡してゐる

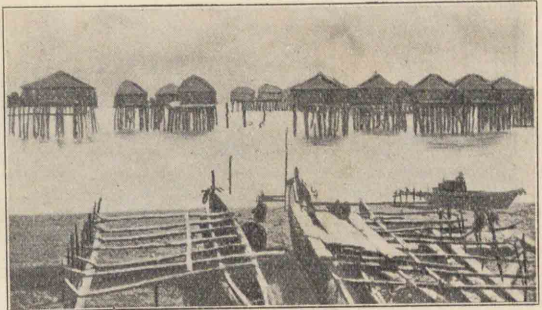


風が涼味を運ぶので、熱帯にありながら氣候が溫和で、降雨も多く、植物がよく繁茂し、甘蔗バナナ、米、鳳梨等の産物に富み、邦人の移住して農耕製糖等を營む者が多い。この地の土人は次第にその數を減じ、現住民の六分の五は移住民で、その中日本人は最も多く、人口の半近くを占める。オアフ島のホノルルは、この地の首都で、太平洋航路の要點に當り、砂糖の輸出が多く、附近のパールハーバーは、米國の海軍根據地である。

サモア諸島は米獨の二國に屬してゐたが、ドイツ領の部分は、ニュージラント政府の委任統治地となつた。アピヤはコブラの積出が多い。

パプア島の面積は
約七七萬方呎

【圖】水上の家屋
蘭領パプアの東北部海
岸に於ける光景

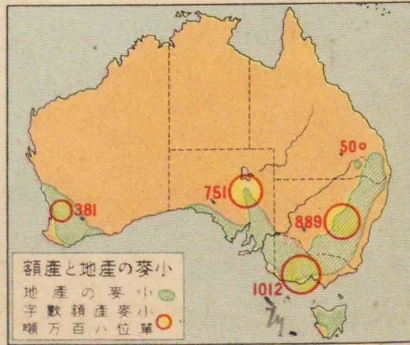
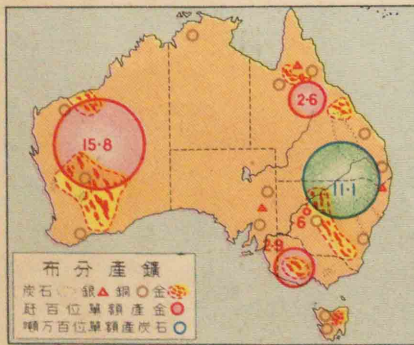
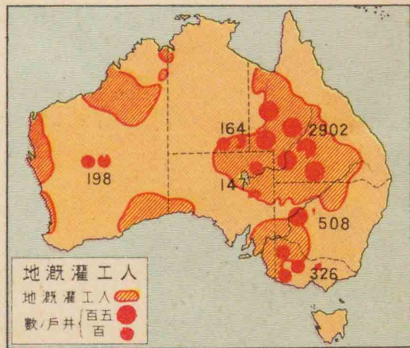
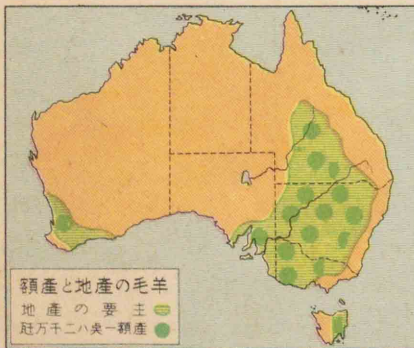
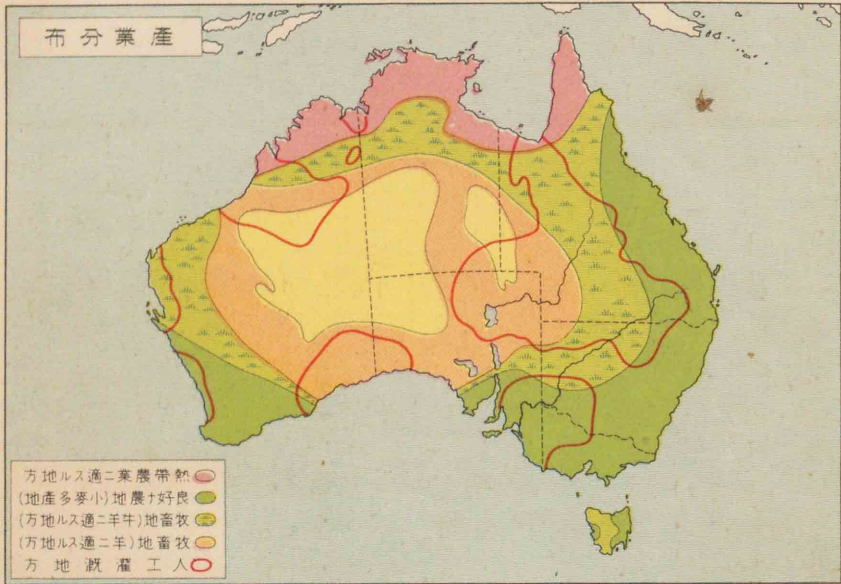
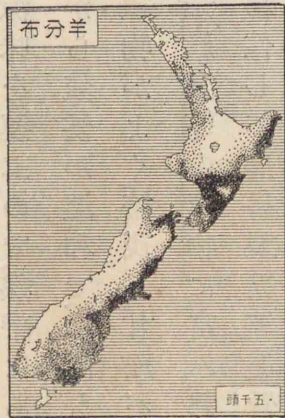


メラネシヤ 西部のパプア(ニューギネヤ)は、世界第二の大島であるが、濕熱な不健康地である上に、兇暴な土人が住み、開拓は進まず、熱帯林に被はれてゐる部分が廣く、風鳥の特産がある。もと英獨蘭の三國に分屬してゐたが、ドイツ領の部分は、オーストラリア政府の委任統治地となつた。ニューカレドニア(佛)はニッケルを出し、フィジー諸島(英)はコブラの産が甚だ多い。

ニューゼaland(新西蘭)は英國の自治植民地で、南北

ニッケルの産は一時世界第一であつたが今はカナダに及ばない
面積 約二六萬八千方
人口 約一四九萬
ニューゼalandの生物は特別な一區域をなしてゐる

の二大島に分れる。南島には高山が連つて氷河が懸り、北島には火山が噴出して温泉や噴氣孔が多い。氣候が溫和で、羊・牛等の牧養及び農業が行はれ、又金・石炭・カウリ護謨(リノリウムの原料となる)等の産がある。土人は文身で名



770
67.

気候 ー 温帯

雨量 山脈水本 ー 西

山脈水本 ー 西

羊毛 吐類
厚革 蹄類
肉類

王冠
金、石、木
カ、リ、石

ゆ、前、利、根
白、五、十、百
コ、オ、リ、旗

オークランド
ウエリントン

羊毛、吐類
集散地

南極探検船、出発地

オークランド 二二萬
ウエリントン 一四萬
圖マオリ人
顔面全體に更紗のやう
に文身をしてゐる



高いマオリ人で、割合に文化は進んでゐるが、その数は少い。北島のウエリントン、この地の首府で、オークランドは主要な港である。
Auckland

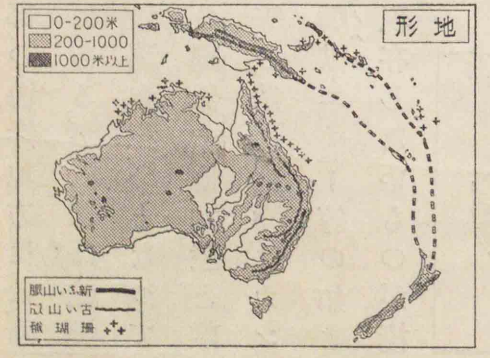
第三章 オーストラリア聯邦 Commonwealth of Australia

地形 オーストラリアは極めて單純な陸塊で、東南部に山脈の連

面積 約七七〇萬方
約六四七萬
右の内タスマニヤは
面積約六萬八千方
約六四七萬
人口約二二萬

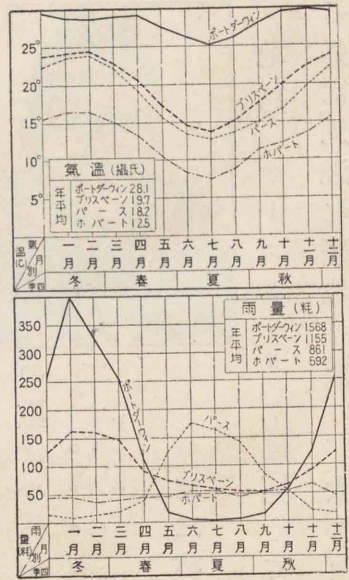
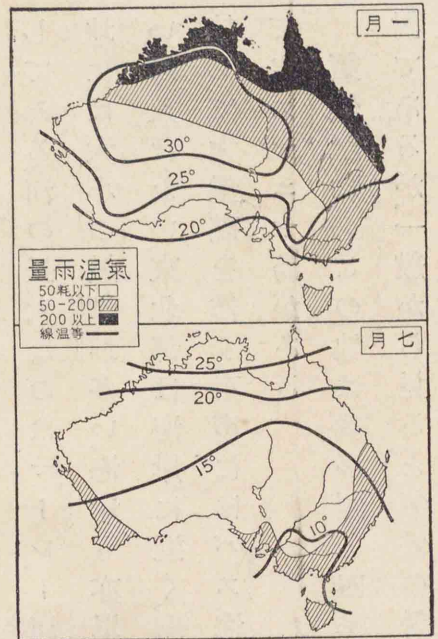
オーストラリア
聯邦

る外は、周邊に臺地が続いて、大きな盆地状をなしてゐる。河の長大なのはマレー河のみで、内地には大小の鹹湖が多い。海岸も亦單調で、著しい彎入はない。東北部は海岸に近く、珊瑚礁が斷續して大堡礁を作り、東南にはバス海峽を隔ててタスマニヤ島がある。
Tasmania



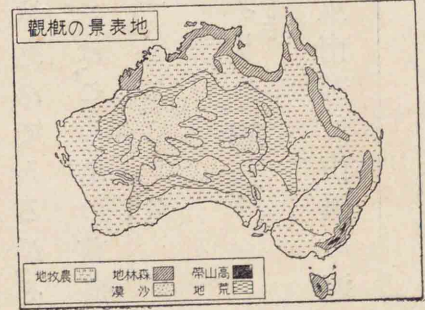
氣候生物 この地は我が國と四季が全く反對であるが、一般から見ると、氣候の暑い處が多

地形が單調で貿易
風帯に位しその齎
す水分は大部分東
部山地に遮られる
から大陸の三分の
二は年雨量二百五
十耗以下である



い。北部東部の海岸地方には、降
雨も相應にあるが、内部は乾燥
して廣い沙漠や荒野となつて
ゐる。氣候の關係や、他大陸と離
れてゐる等の爲に、生物はカン
ガル！鴨嘴獸・エミュー等の如き、
他地方に現存しないものが棲
んでゐる。

により、農牧が大いに發達して、東部南部には、小麥

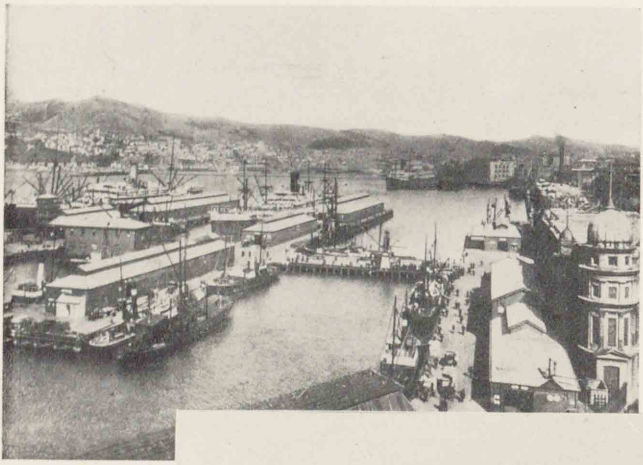


産業 固有

の生物は、經濟
的に價値のあ
るものは少い
が、移民の移植

ウエリントン

女王波止場といはれる部分で、多
數の船が碇泊してゐる



メルボルンの埠頭

フィリポ灣岸の良港で船の輻輳し
てゐる處はヤラ河

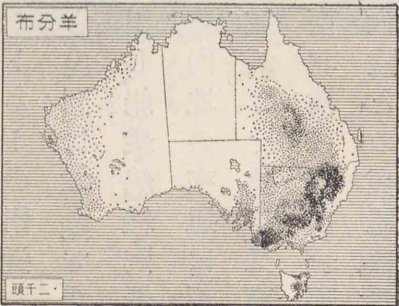
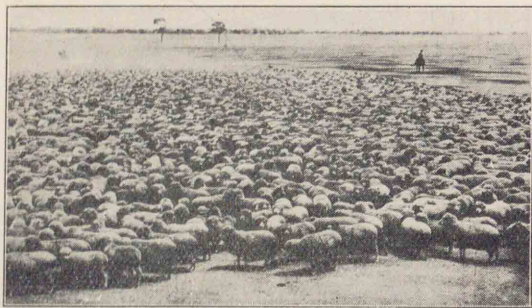


シドニーの展望

風曲の錯雜が圖の如く最近左右の
兩岸を連ねる橋が出来た

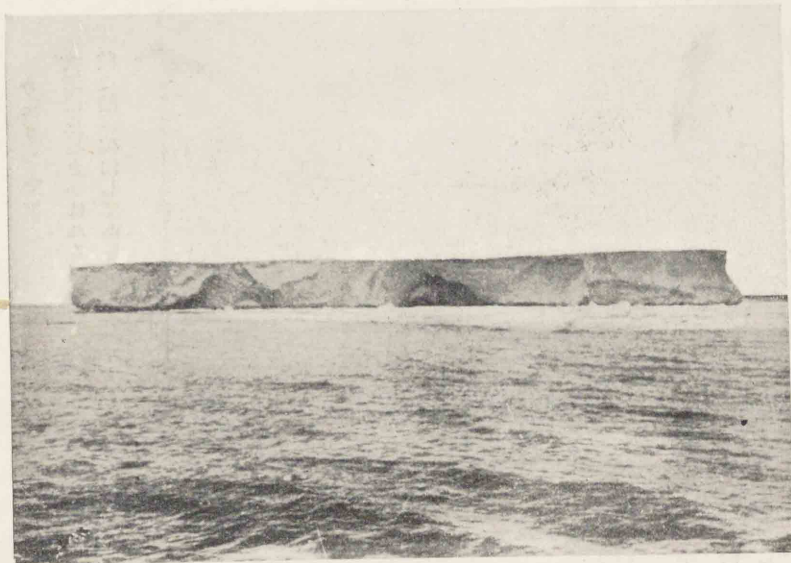
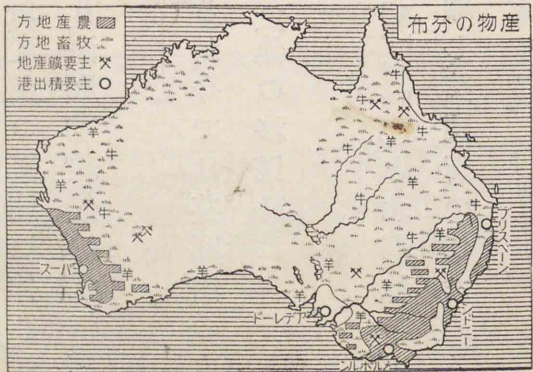


圖 羊牧場の光景
無数の羊が雲のやうに群がっている



燕麥・玉蜀黍等の産が多く、葡萄・柑橘等の栽培も行はれる。近年井戸や貯水池等による人工灌漑の設備が施されて、その産額は益々多くなつた。農産地帯からその内部にかけては、羊・牛等の牧畜が大規模に行はれ、羊毛の産額は世界第一で、牛肉・牛酪・皮革等の産額も多い。礦産も豊富

で、殊に金は、この地へ白人を招致した最大の原因となり、銀・銅・石炭等の産出も少くない。バララット(金)・クイーンズランド(銀)・ブロークヒル(鉛)等は有名な鑛山で、ニューカッスル



山氷大の方地極南
るあで有特の方地極南は山氷大ぶ浮く如の島大てしなを狀卓

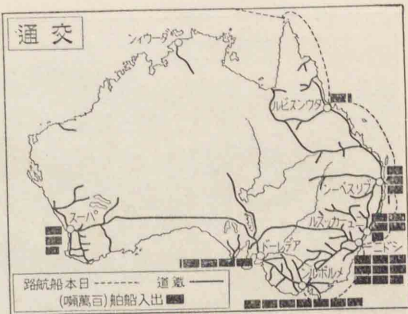


山スブレエ
るあで物名一の極南は鳥ンゲンペぶ遊れ群、山火活るえに聳上原氷

貿易は羊毛を最大輸出品とし肉類・酪製品・皮革等の畜産品・小麦・砂糖・礦物等が之に次ぎ輸入は織物・鐵・機械類等である

邦船も常にこの地に往復する

兩院制の議會や軍備もあつて本國との從屬關係が次第に薄らぎ殆ど獨立に近い姿である
カンベラとその附近とは首府區として自治州の外に立つてゐる



の通信機關も備つてゐる。

住民政治

土人はオーストラリア族であるが、今では英國出の白人が大部分を占める。この地は白濠主義を唱へ、他の移民殊に日支人の移住を固く拒絶してゐる。

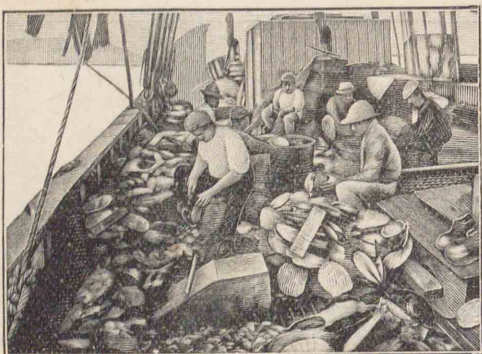
大陸は五つの自治州(ビクトリア・ニューサウスウェールズ・クイーンズランド・南オーストラリア・西オーストラリア)と北部地方とに分れ、之にタスマニア州を併せて聯邦を組織し、英國王の任命せる總督の管理下に自治を行ひ、カンベラを首府とする。

主要都邑

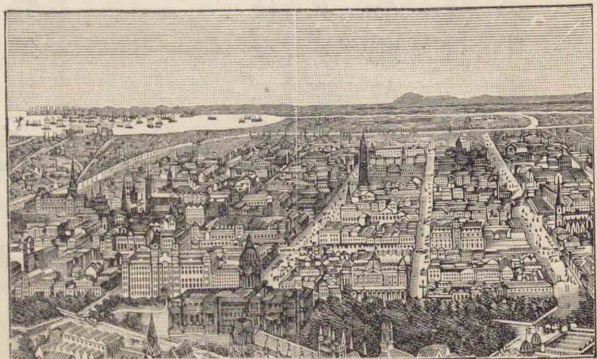
- 人口(萬)
- シドニー 一・二・三
- メルボルン 一・〇・一
- アデレード 三・三
- ブリスベーン 三・一

大觀
メルボルンの市街が端正で、その港に多數の船が集つてゐる

圖 眞珠貝の採集
海底から船中へ取上げた眞珠貝を處理してゐる



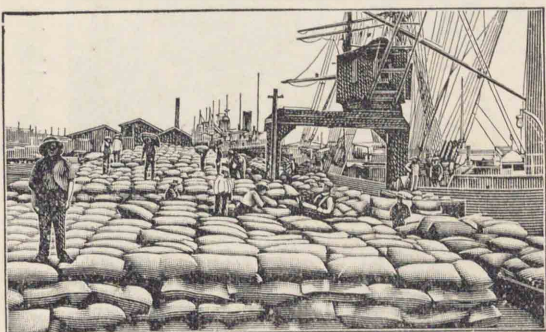
都邑 東部は大陸中で最もよく開けた處で、繁盛な港市が多い。メルボルンは我が濠洲航路の終點に當り、シドニーはポートジャクソンの良灣に臨み、聯邦第一の大都會で、共に主要な商港である。ニューカッスルは大炭田を控へて、石炭の輸出が多く、ブリスベーンは製糖業が行はれ、タウンズビルは畜産の輸出が多い。木曜島の附近は眞珠貝を産し、邦人の採集に従事してゐる者もある。



中部は荒地が多く、大部分は不毛であるが、東南部には小麦・銅等の産が多く、アデレードはこの地方の門戸である。西部は金産に富み、又近年農業が大いに開けた。パースはその中心地で、

タスマニヤ土人は
近年全く絶滅した

■**圖解**フリマントルの埠頭
麥粉を起重機で船に積込んである



この地の良港である。



リ・マン・トルは穀物の積出が盛である。タスマニヤは盛に羊を牧養し、又果樹を栽培する。ホバートは

周が行はれた後のことで、殊に十八世紀の後半、クック等の探検によつて、略その状態を明にするに至つた。従つて拓殖の進んだのは、新しいことであるが、今は歐米へ對する原料供給地として、主要な位置を占めてゐる。又島嶼中には、貯炭所給水地海底電線の中繼所等として、重視されるものが多い。

總 說 (其二)

土地産業

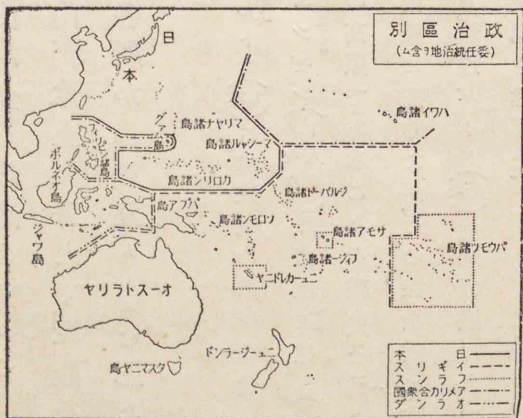
本洲の探検は、マゼランの世界第一

住民現勢

住民は點々と離れた廣い區域に住んでゐるから、民族が頗多く、風習も著しく異なつてゐるが、此等を總稱して海岸島嶼住民といひ、或は主要な一民族の名を採つて、マレー人種とも呼んでゐる。本洲には獨立國は一もなく、英國は濠洲大陸の外、多數の島嶼を領有して、その勢力は遙に他の諸國を凌ぎ、佛國・米國等の領土も處々に散在し、我が日本も亦、その一部の統治を委任されてゐる。

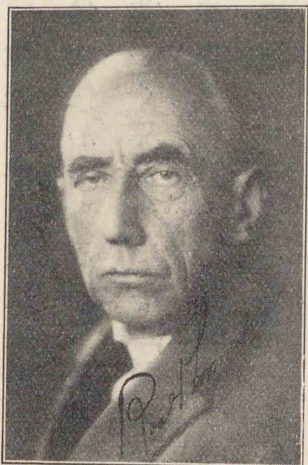
日本との關係

我が國とは距離が近く、歐米諸國よりも、通商上遙に便利な位置にあるから、商船の來往が繁く、更に近年、我が統治權が遠く赤道下に及んだので、關係は益々深くなつた。



第二篇 兩極地方

南極地方 オーストラリアの南方に陸地のあることは、クックの探検によつて知られてゐたが、十九世紀の後半以後、ウィルクスランド・南ビクトリアランド・エドワード七世ランド・グラハムランド等の陸地が發見された。其等の沿岸には卓状の大氷山が多く浮流して、ペンギン鳥が群棲し、又ロス島には、エレブス活火山が氷上に聳えて、壯觀を極めてゐる。此等の陸地は、一大陸の縁邊を各所から見たと認められ、この想像大陸を南極洲と呼ぶ。



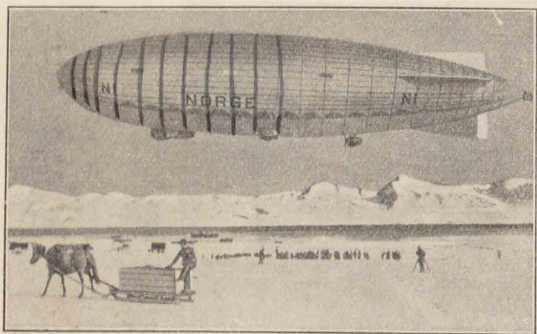
一九〇九年シヤクルトン(英)は地磁氣の南極を發見し、一九一一年アムンゼン(ノルウエ)は南極に達し、極地は三千米以上の高原であることを確め、スコット(英)も稍、後れて南極に達したが、その探検隊は吹雪の爲に全滅した。最近バード(米)は、飛行機によつて種々の研究や發見を遂げた。

圖解 アムンゼンの肖像

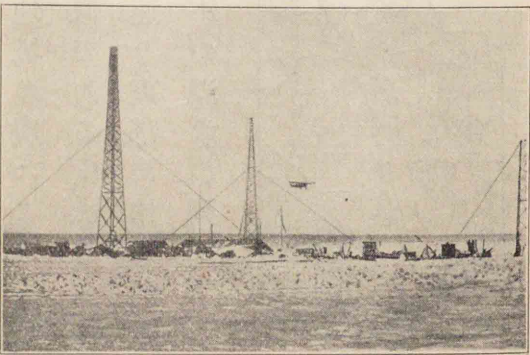
寫眞は氏が我が國へ來遊の際自著して編者に贈られたもの
アムンゼンが南極に到達したのは十二月十四日です。スコットが到達したのは翌年の一月十八日である。

圖解 小アメリカ村バードが南極探検の際その根據地として種々の設備を施した處

圖解 航空船ノルゲアムンゼンが北極の上空横斷に使用したものの



北極地方 北極地方の大部は、大西洋の一支灣である北極海の占める處で、大陸附近には島嶼が多く、スバルバード島(ノルウエ)には石炭を産し、又捕鯨が行はれる。北極は堅く凍結した深海であるが、海流等の關係から、地球の北極は、氣候の寒極ではなく、却つてシベリヤの東北部、北米の北部等よりも、溫度は高いといふ。



北極探検は、十九世紀の頃から、之を試みる者も少くなかつたが、ナンセン(ノルウエ)によつて大いに進み、一九〇九年、ペアリー(米)は終に北極に到達し、その後アムンゼンは、飛行船を利用して此處を横斷した。近年航空機による探検が大いに進み、將來北半球の文明國を連ねる最短の航空路が、この地方に實現されんとしてゐる。

北極航路

北西航路

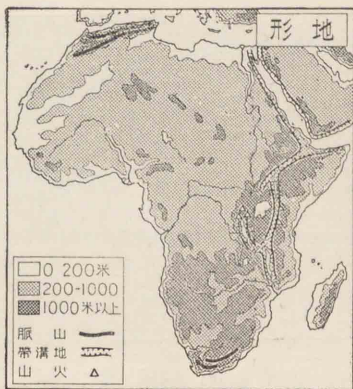
第三篇 アフリカ洲

Africa (アフリカ)

總説 (其一)

面積 約二九八〇萬方
 人口 約一三二〇〇萬

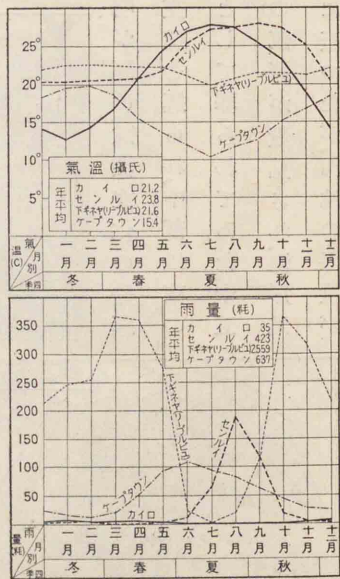
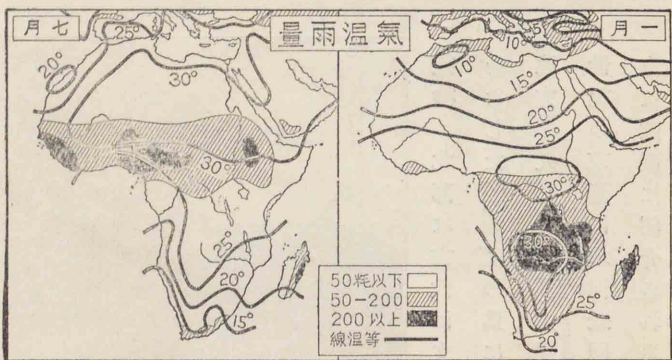
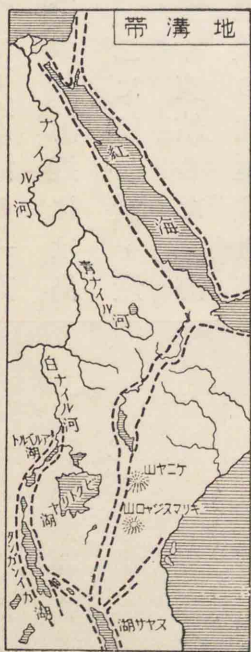
山脈の主要なのはアトラス山脈だけで海岸は北岸のガベス・シドラの二灣と西方ギネヤ灣の外には著しい屈曲がなくマンダロップの森林や絶壁の處もあつて船を近づけるに不便である



の地溝帯に沿つて、多くの火山が噴起してゐる。

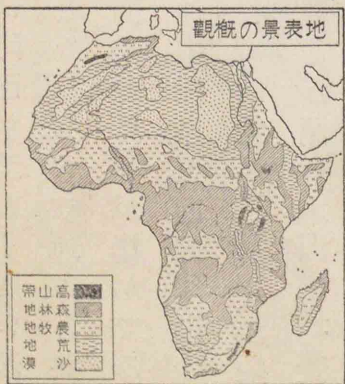
本洲にはナイル・ニジェール・コンゴ等の大河があり、水量も少くないが、地形の関係で、何

地形 アフリカは世界第二の大陸である。全體が殆ど一塊の臺地で、海岸の出入も少く、大部が熱帯にあつて、乾燥地域の廣いこと等が、總てオーストラリアと似てゐる。山脈は大陸の西北部と東南部に連り、東部には大地溝帯が略南北に互つて、大小の湖水が列び、又こ



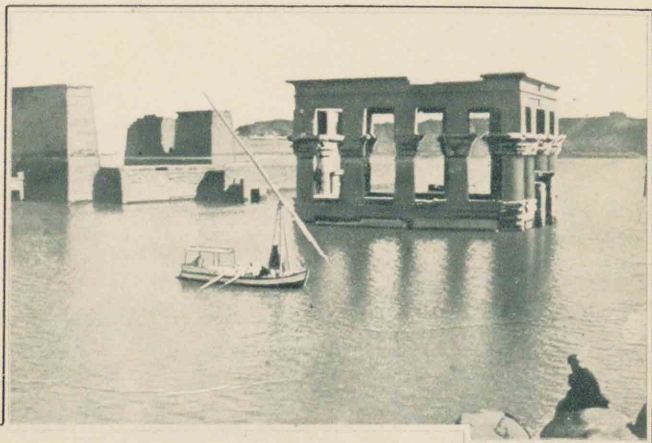
れも下流が急湍をなしてゐるから、之が爲に舟行を妨げられる。

んでゐる。その南と北とは雨が少いので、サバンナやステップとなつてゐる處が廣く、斑馬、シマウマ、羚羊等の草食獸が多い。兩回歸線の附近



氣候 大部は熱帯に屬して氣温が高く、一部は世界の最熱地である。赤道附近は、年二回の雨季があつて雨量が多く、熱帯性の密林に鎖されて、象、類人猿、河馬等が棲

増水期のナイル河
堰堤の爲に一大湖水となり舊時の
建物は水に浸されてゐる

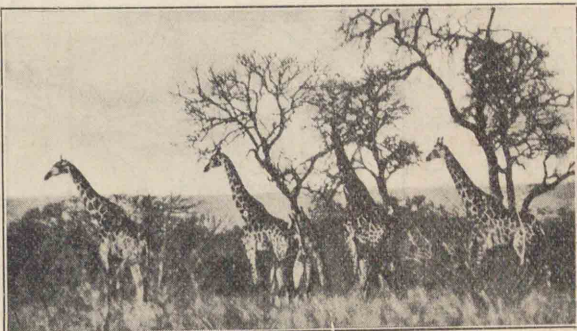


沙漠中の自動車
自動車運搬が開かれて陸商路も次
第に變つて行く

沙漠中の泉地
沙漠中の島といはれ陸商の港で多
数の駱駝隊が諸方から集つてゐる



圖解 ジラフと斑馬
叢中に立つ親子數匹の
ジラフ(上)と水邊に群
がる斑馬(下)



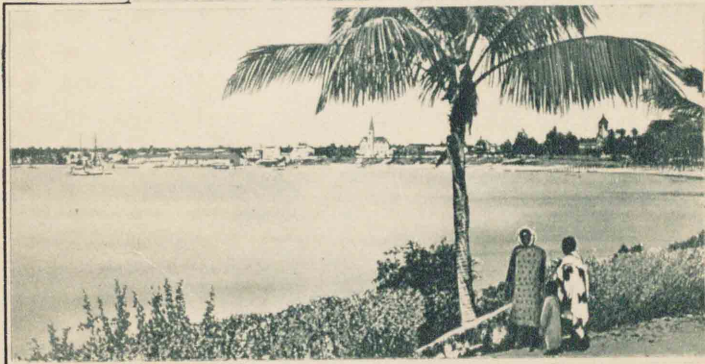
探検 北部は古代に文明が開け、歐洲文化の先驅をなしたが、沙漠の爲に交通を遮られ、中部以南の地方は、久しく暗黒大陸として葬られてゐた。十五世紀の末葉に、本洲迂回の航路が発見され、海岸地方は歐洲に紹介されるに至つたが、内地の探検が



には降雨が乏しく、廣い沙漠をなし、ステップ地方と共に、獅子、駝鳥等が棲んでゐる。地中海岸と南部海岸とは、冬に雨量が稍多く、温暖で産業が開け、本洲中最も發達した地方である。



アルジの遠望
丘陵の斜面に密集せる人家は強い
陽光に白く輝いて銀都と呼ばれる



ダルエスサレム
鐵道の起點で内部への重要な
門戸である



ケープタウンの市街
南阿の最大都で市の背後には著名なテーブル山
が聳え圖の左方にその半が見えてある

進んだのは、十九世紀の後半以後のことで、幾多の大探検が行はれ、中でもリビン
グ
ストーン(英)・スタンリー(英國生れ)の兩氏は、之に貢獻する所が最も著大であつた。
Livingstone

區分 探検の進むと共に、歐洲の列強は、競つて此處を占領し、今は
二三の微弱な獨立國を残す外、悉く他國の領土となつた。本書は之を
左の諸地方に分ける。

- | | | |
|--------|---------|-----------|
| 北部アフリカ | エジプト | バーバリ地方 |
| 西部アフリカ | 上ギネヤ | 下ギネヤ及びコンゴ |
| 東部アフリカ | ソマリ地方 | 東アフリカ |
| 南部アフリカ | 南アフリカ聯邦 | 内部地方 |

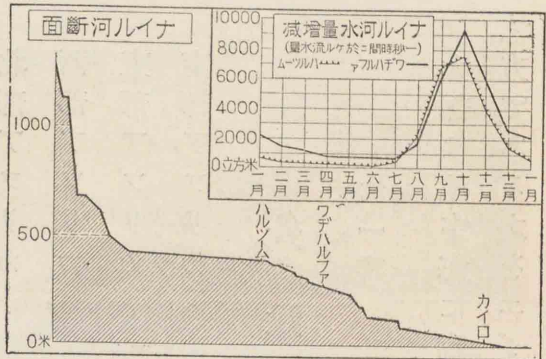
各説

第一章 北部アフリカ

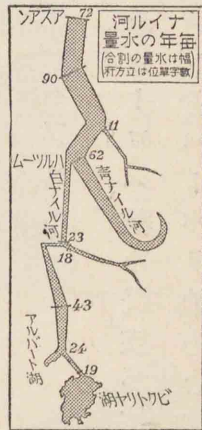
大部は地中海に臨み、ヨーロッパ種の民族が住み、文明の早く開けた
地方である。之をエジプトとバーバリ地方とに分ける。

面積
約九萬九千方
人
約一四五〇萬

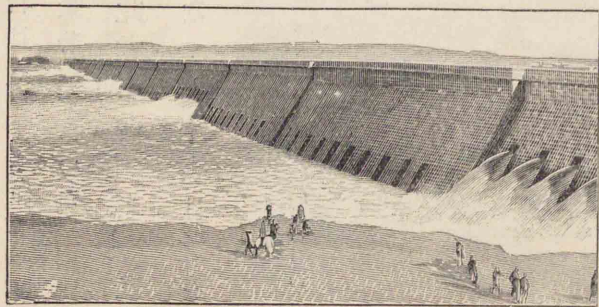
圖解 アスアンの堰
長さ一千八百米に及び
開門の数は百八十箇あ
る



ナイル河の上流は白ナイルと青
White Nile Blue Nile
ナイルとに分れる。青ナイルの上流地方では、夏季に豪雨が
あつて下流に氾濫を起し、沃土を沈積するので、早く農業が
發達して、古代文明の發祥地となつた。即ちエジプトの文明は
ナイルの賜といはれる所以である。洪水は殆ど定時に起るが、
多少の遲速はあり、水量にも増減があつて、農産の安定を缺
いたが、近年アスアンの堰を設けて、大貯水池を造り、河水
を調節して灌漑の區域を擴げた。



エジプト ナイル
河の下流を占め、面積
は廣いが、大部分は乾
燥不毛の沙漠をなし、

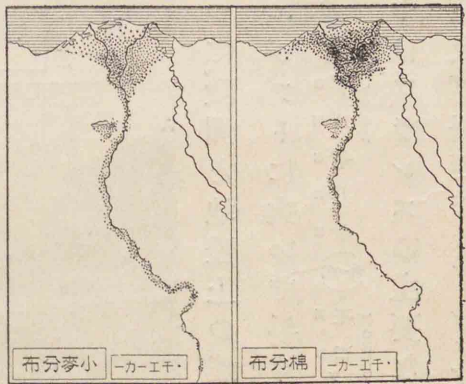


ナイル河下流の河
谷は世界中最も人
口の稠密な地方の
一(一千方四百人)
で住民はアラビヤ
族を主としエジプ
ト族も混住してゐ
る

カイロ 一〇六萬
アレキサンドリヤ
五七萬
圖解カイロの市街
大通の光景は歐米の都
市と殆ど變らな



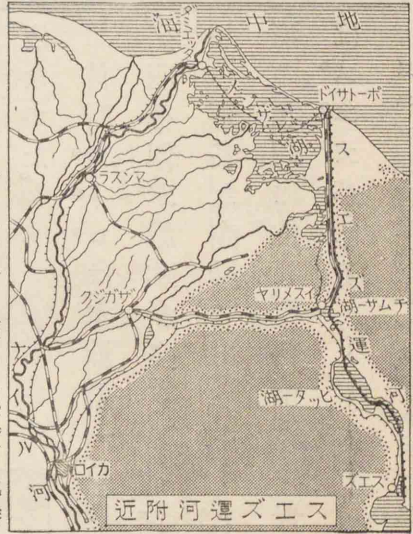
ナイル河の沿岸地方には、良質の綿・煙草等
を多く産し、甘蔗・小麦・玉蜀黍・米等の耕作も行
はれる。綿は本國輸出額の約十分の六を占め、
我が國へも輸出される。この地は近頃までト
ルコの屬國であつたが、大
戰中に英國の保護地とな
り、近年獨立して立憲王國
となつた。



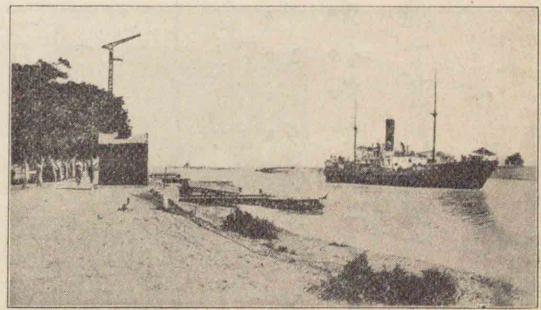
首府カイロは、本洲第一の都會で、附近に古代の
文明を偲ぶ遺跡が多く、アレキサンドリヤは古く
から著名な商港である。ポートサイドはスエズ運
河の北端に位し、燃料積込の要地で、運河の南端に
はスエズがある。

スエズ運河は佛人レセブスの手により、十年餘の歳月を費

圖 運河スエズ運河
 パナマと並稱される海
 洋運河で水陸式に開掘
 されてゐる



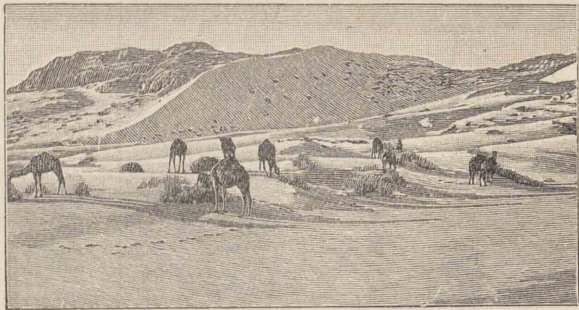
し、一八六九年に開
 通したもので、延長
 百六十軒之を通過
 するに普通十五時
 間を要する。この運
 河の開通は、世界の
 交通上に大變動を
 及ぼし、横濱・ロンド
 ン間に於いて、南阿
 迂廻よりも約三千六百哩・二十二日航程を縮めた。運河地帯
 は中立地であるが、運河會社の株式は、多く英國政府で所有
 してゐる。



バーバリとはこの
 地の原住民たるベ
 ルベル族から起つ
 たものであるが今
 はアラビヤ人が多
 く歐洲人も少くな
 る

圖 阿トラス山南
 の沙漠地
 一體に地味は不毛であ
 るが處々に自然的及び
 人工的の泉地があつて
 植物が繁殖する

サハラ沙漠は東西
 約四千七百軒南北
 約一千五百七十軒
 沙漠中にも時に降
 雨があつて河をな
 するが平時は水が涸
 れてリヂを作り、
 又晝夜の温度變化
 が著しく強猛な旋
 風の起ることもあ
 る



ばれる大沙漠で、大部は佛國の勢力範圍である。一般に高臺
 性の荒地であるが、處々に泉地があつて棗椰子が繁茂し、隊
 商は泉地から泉地を述つて、此處を往來する。佛國はこの地
 方の開拓に力を用ひ、鑿井を設けて農耕を進め、自動車輸送
 も試みられ、又此處を横斷する鐵道の計畫もある。



バーバリ地方 アトラス山脈が東西に連つて、歐洲と地體上の連
 絡があり、氣候も山北は南歐地方と似てゐる。エジプトに次いで早く
 開けた地方で、今は政治上トリポリ(領伊)・チュニス(護佛)・アルゼリヤ(領佛)・モロッ
 コ(大部は佛の保護地、一部はイスパニヤの勢力地)に分れ、中でもアルゼリヤはフランスの主要な
 領地である。山地は鐵その他の鑛物を藏し、高原及び斜面にはアルファ

草葡萄酒・コルク等を出し、又牧畜が行はれ、近海か
 らは海綿を産する。歐洲と對する爲連絡航路も多
 く、航空路も發達してゐる。
 トリポリは隊商取引の要地に當り、チュニスの附
 近には、古代に繁盛を極めたカルタゴの址がある。
 アルジェは歐洲のマルセトユと相對し、オランと
 共に主要な商港で、タンジエル
 は地中海西門の要地に位し、中
 立地となつてゐる。

佛領スダンは佛領の他の部分と共にフランス領西アフリカと呼ばれ總督はダカルに駐在する

リベリヤはアメリカ合衆國から解放された奴隷の建てた國で面積約九萬五千方呎、人口約二〇〇萬

ネグロと呼ばれる未開の土人が多く住み人口は割合に密である

住民はバンツ族が多く林中には一種の矮人種(身長一米三)が住んでゐる

圖 佛領コンゴ河
水量の如何にも豊富なことが知られる河畔には多数の土人が珍し氣に汽船を眺めてゐる

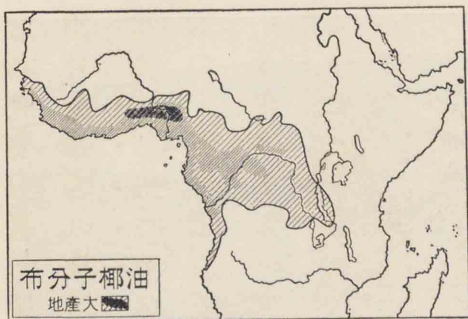
白領コンゴは面積約二三九萬方呎、人口約八五〇萬
カタンガのラヂウムはベルギー本國に送つて精製する

サハラ以南に位する一帯の地方をスダンといひ、大部は佛國の領土であるが、東部は英領エジプトスダンに屬し、西海岸にはイスパニヤポルトガル、イギリス等の領土がある。夏には雨量が稍多く、草原が廣いので牧畜を營み、南部では農業も行はれる。この地方の天産物は、多く隊商によつて地中海岸に送られ、その要路にチンブクツ(河上流)・クカ(湖附近)等の中心がある。又英領エジプトスダンは、ナイル河の堰堤工事完成によつて、綿、小麦等の栽培が盛になり、バルツームはその中心市場である。

第二章 西部アフリカ

ギネヤ灣岸とその奥地とで、細長い海岸平地の外は概臺地である。

上ギネヤ ギネヤ灣の北岸に沿ふ地方で、大部は英佛の兩國に屬してゐるが、リベリヤは黒人の建てた立憲共和國で、首府をモンロビアといふ。一帯に濕熱の不健康地であるが、熱帯性の森林が繁茂して椰子油・コブラ・護謨・象牙・金等の天産が多い。白人の努力によつて、近年開拓も次第に進み、カカ

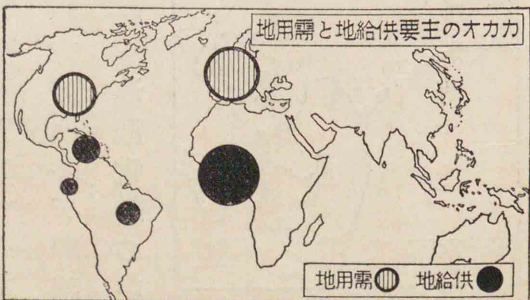
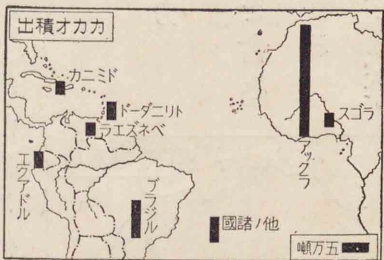


オの産額は世界第一となり、珈琲・綿・甘蔗・米等の栽培も漸く盛となつた。アック・ラ・ラ・ゴスはカカオ・椰子油の主要な積出港である。

下ギネヤ及びコンゴ

ギネヤ灣の東岸地方で、佛・白・葡・西等の諸國に分屬してゐる。

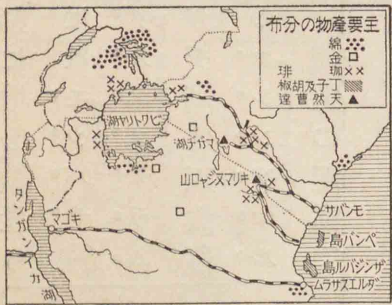
レオポルドビルに總督が駐在してゐる。氣候が濕熱で森林が繁茂し、護謨・象牙・椰子油等の産出が甚だ多い。近年開拓が次第に進んで、米・落花生・珈琲等の栽培が行はれる。鑛物の埋藏も多く、銅とラヂウムとは殊に名高い。



面積
約八〇萬方
人
約一五〇萬

アヂスアベバ 七萬
英國はケニヤ(主領)・
ウガンダ(護)・タン
ガンイカ(統)・ザン
ジバル(護)等を領
する

圖 薩イザル麻の
乾燥
イザル麻は福吉蘭の
纖維から採る



佛伊の三國に分屬し、佛領にはヂブチの要港がある。内部のアビシニヤ(エチオピア)は立憲制の王國で、住民は古くからキリスト教を奉じてゐる。暖帯性の森林が廣く、護謨象牙等の天産物があり、又綿麥類等の農産を出す。アヂスアベバはこの國の首府である。

東アフリカ 英獨葡の三國に分屬してゐたが、ドイツ領の大部分

は、英國(一部は)の委任統治地となつた。

狭い海岸平野の外、高原又は山地で、本洲最高の

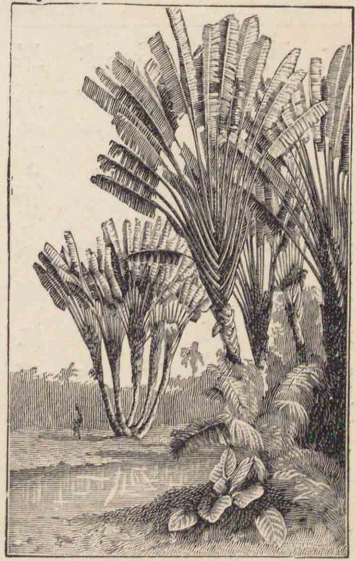
キリマヌジャロを始め、數多の峻峯が聳え、その間にビクトリア・タンガンイカ・ヌヤサ等の大湖が連つてゐる。一般に開拓は未だ進んでゐないが、コブラ椰子油・護謨等の天産物に富み、高原地方は綿・珈琲・砂糖・煙草・サイザ

我が國は主としてモンバサを経て綿・天然曹達を輸入し綿布を輸出する

圖 旅人木
芭蕉科に屬し葉柄には多数の澱液があつて旅人の飲料となるからこの名がある高さ約十米

マダガスカルは面積約六二萬方軒、人口約三六〇萬

ル草等の産出が次第に増し、鑛産も亦有望である。北部にはモンバサ(或對岸のキンザンジバルダルエスサラム Zanzibar Dar es Salaam)等の良港があり、マガヂ湖は天然曹達の産に富む。南部のロレンソマルケスは、ベイラと共に鐵道の起點で、南阿の關門に當る。



— 洲カリフア — 30

印度洋中のマダガスカル島(佛)は、世界第四の大島で、首府をタナナリボといふ。旅人木(狐猴類)等の珍奇な生物があり、住民も東部にはホバ族(マ種)が住む。近年米珈琲等の栽培が行はれ、又金・護謨等を出す。東方のモーリシヤス島(英)は、砂糖を出す。

第四章 南部アフリカ

南部は悉く英國の領土で、ドイツ領であつた南西アフリカも、今は

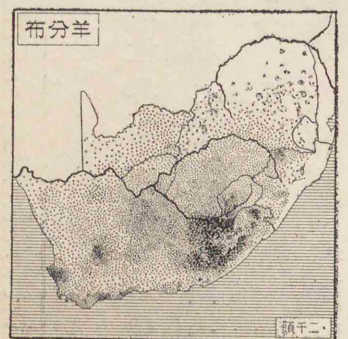
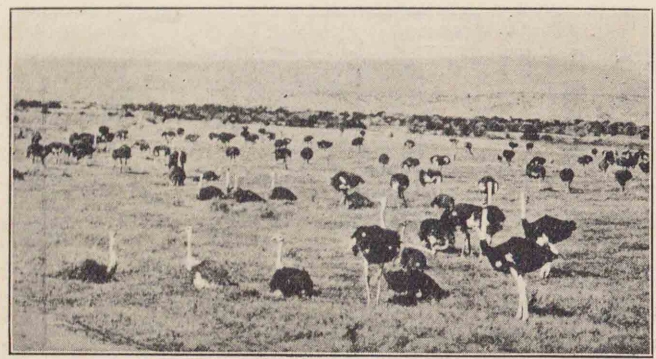
南アフリカ聯邦の委任統治地となつた。

南アフリカ聯邦

ケープ・ナタル、オレンジ自由州、トランスバール、四州から成る聯邦制の自治植民地で、聯邦行政廳をプレトリアに

兩院制の議會をケープタウンに置く。住民は土人(ト・ブッシュ・ホッテン等)の外、白人の數も多いが、英人の子孫と蘭人の子孫(ア)とは融和を缺き、土人は極端な差別待遇を受け、又有色人を排斥する等、人種問題が甚だ錯雜してゐる。

海岸地方は雨量も割合に多く、小麦・玉蜀黍・砂糖・煙草等を産し、果樹栽培も行はれるが、内部は乾燥して草原が廣く、牧畜を主業として、多く羊毛を産し、又駝



布分羊 各

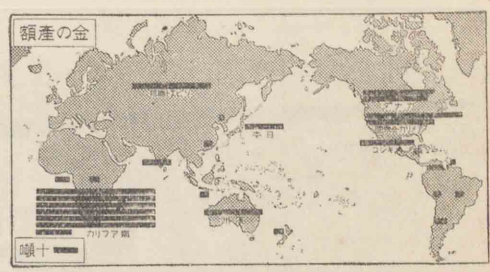
面積
約一二二萬方軒
約六九〇萬

聯邦の地域中に括まつてバスターランド・スワジランドがある共に英國の直轄植民地であるも、蘭人の建てた二共和国があり、英人の爲に滅されたが言語は今でも英語と蘭語とが公用語になつてゐる

圖 鴉片飼養場
鴉片の羽毛はこの地の重要輸出品の一である

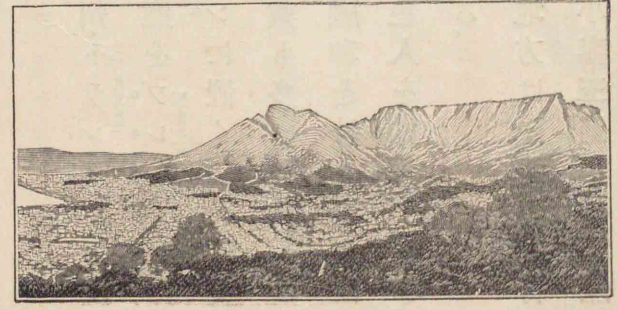
羊毛買入の爲に我が國人の入國を許すに至つた
ヨハネスブルグ 二九萬
ケープタウン 二二萬

ケープタウンとテーブル山とイブル山の市後の卓状をなすはテ



な門戸で、我が商船の寄港地である。

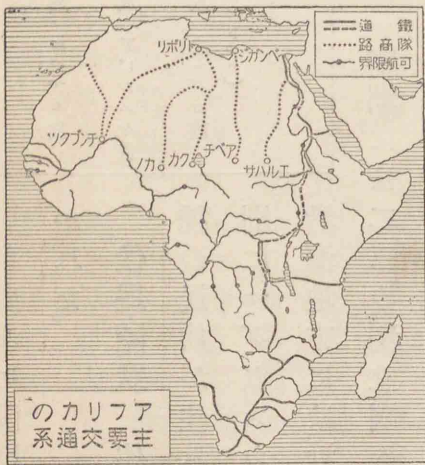
内部地方 南阿聯邦の北に接するベチアナランドは、カラハリ沙漠を主とし、南西アフリカも不毛の地が多く、共に見るべき産物はない。ローデシヤはセシルローズの經營した地方で、域内を貫流するザンベジ河に、ビクトリア瀑布がある。産業は未だ發達せず、牧畜を主業とし、又處々に金その他の鑛産地が發見された。



— 洲カリフア — 32

總説 (其二)

産業・交通 産業は北部と南部とに稍發達してゐる外、僅に護謨椰子油象牙等の天産物を數へるに過ぎないが、白人の努力によつて、着開拓の歩を進め、綿カカオ米等の産出も次第に増加した。



交通が不便で、従來物資の運搬に北部では駱駝、南部では牛車、中部では専ら土人の手によつてゐたが、海岸には鐵道も次第に開け、南北縦貫線の工事も大いに進んだ。近年歐米及び極東からの航路も開かれ、殊にスエズ運河の開通は、北部港市の隆盛を促した。その他海底電線無線電信

ヨーロッパ人種	ヨロップ人種
ハム派	ベルベル族 エジプト族
	ソマリ族
セム派	アラビヤ族 アビシニヤ族
アフリカ人種	ネグロ族 バンツ族 小ネグロ族
	(アッシュメン、ホツァントト)
マレー人種	マレー人種
ホバ族	ホバ族

局も處々に設けられ、北部には歐洲との定期航空路も開かれた。

住民國狀 住民は二大系統に分れ、北部にはヨーロッパの民族が住み、中部以南には、アフリカ種の黒人が多い。別にマダガスカル島の東部には、マレー種の民族が住み、沿海地方には、近年歐洲からの移民も少くない。

本洲には二三の獨立國もあるが、何れも強國の干渉を免れない。他の大部分は歐洲列強の植民地で、英佛の領土が殊に廣く、葡・白・伊・西等の領土がその間に介在してゐる。ドイツも二三の地を領してゐるが、大戰の結果、舉げて國際聯盟の管理に委ねた。

日本との關係 我が國は、近時までスエズ通航船の寄港するのと、エジプトから綿煙草等を輸入するとに過ぎなかつたが、今は東岸及び南岸の諸港とも航路を通じて、物資の取引も次第に多くなり、最近南阿との關係も好轉して、益、將來を有望ならしめるに至つた。

第四篇 南アメリカ洲

South America (南亞米利加)

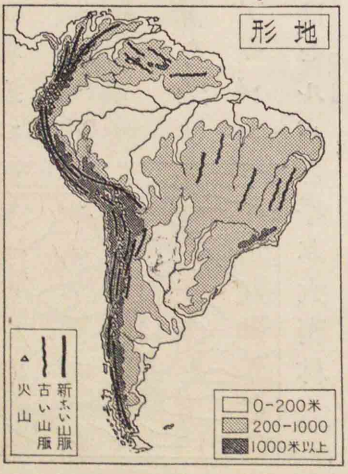
總說 (其一)

大陸發見 近古の初期から世界に對する思想が一變し、西歐人の中には、大膽な航海を試みる者が輩出した。その東に向つた者が、アフリカを迂回して印度に達したので、寧ろ西に進んで印度に到らんとしたコロンブスの冒險により、一四九二年、思はざる新大陸の發見となり、爾來探檢が頻りに行はれて、兩大洲の要部は、忽にして歐洲強國の植民地となつた。

地形 南米は新大陸の南半を占め、西部には雄大なアンデス山脈

が連り、火山帯が此處を通じて、數多の火山を噴起してゐる。東部にはブラジル・ギヤナ等の古い高地塊がある。東西兩高地の間は、殆ど一續きの平野で、アマゾン・オリノコラ・プラタ等の大河が此處を流れる。然し三流域の分水界には不明な處が

面積 約一八七〇萬方
 人口 約六五〇〇萬



圖解 駱馬
高原上に於ける駱馬の一群

シンコナの樹皮から規那を採る



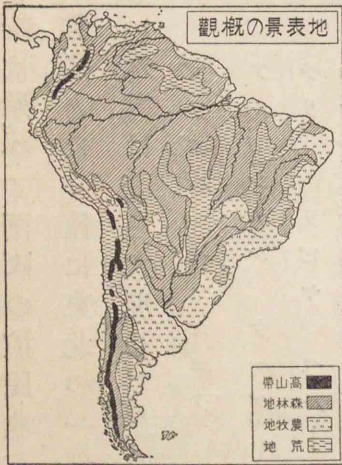
反し、寧ろ濕潤大陸で、西岸の一部に沙漠性の處がある外、概して雨量が多く、氣温もサハラの如き酷熱の地はない。

生物はジグアル・ピユマ 駱馬・羊駝

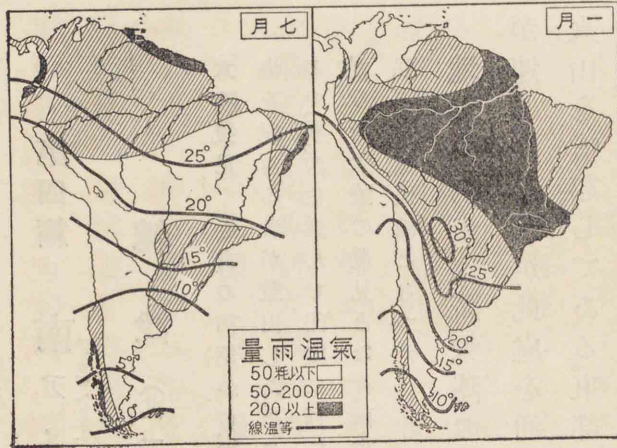
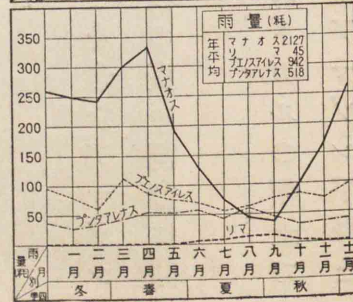
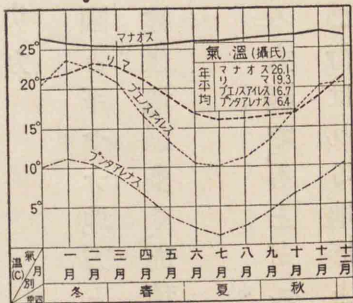
コンドル等

の特有動物が棲み、護謨・シンコナ・カカオ等の有用植物も本洲の原産であるが、今は他の大陸にも移植されて、經濟上重要なものとなつてゐる。

區分 本洲は最初ポルトガル人(東部)・イスパニヤ人(東部を除く)

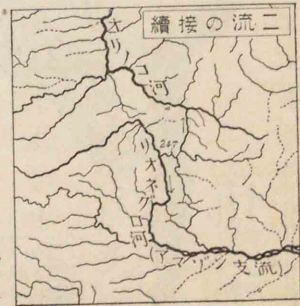


觀概の景表地



あり、アマゾン河とオリノコ河とは、支流が相連つてゐる。海岸線は西南岸の一部に、無数の峽灣や小島が錯雜してゐる外、著しい屈曲はない。

氣候 大部は熱帯に屬し、貿易風の影響を受けて降雨が多く、アマゾン河流域の大部は、セルバと呼ぶ大密林(ゴコンに相當する)に被はれてゐるが、北又は南するに從つて雨量を減じ、オリノコ河の流域はリヤノと呼ぶ熱帯草原(アフ리카のサバ)をなし、ラプラタ河の下流地方は、パンパと呼ぶ草原になつてゐる。アンデス山西の地方は乾燥するが、南部は偏西風の爲に、却つて山東地方よりも雨が多い。要するに本洲は、オーストラリア・アフリカが乾燥大陸であるに



面積
約八五二萬方
人
約四〇二四萬

全部)に征服されて、一時は殆ど全く兩國の植民地となつたが、次第に獨立して、今は十箇の共和國となり、僅に東北の一部と島嶼とに、歐洲の領土を残すに過ぎない。本書は之を大別して、左の諸地方に分ける。

東部南アメリカ
東南部南アメリカ
西部南アメリカ

ブラジル ベネズエラ ギャナ
アルゼンチン ウルグアイ パラグアイ
チリ ボリビア ベルギー エクアドル
コロンビア

各説

第一章 東部南アメリカ

ブラジル・ベネズエラの二共和國とギャナ地方とを含むアマゾン河がその中部を貫流し、濕熱の不健康地が多く、面積の廣い割合に、開拓されてゐる部分は少い。

ブラジル 本洲の殆ど半を占める大國でも、もとポルトガルの領土であつたから、今でもポルトガル語が行はれる。地形上アマゾン平野と

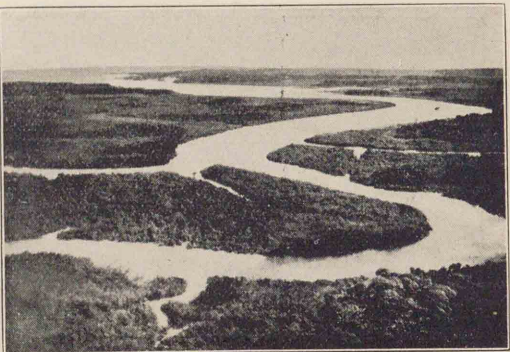
アマゾン河の支流にはトカンチンス・タバジヨス・マデイラ・ネグロ等の諸川がある

ブラジルの森林
密林の中を洋々と河が流れてゐる

咖啡園
咖啡は多く山丘の斜面に栽培され、植えて四年目から結實採取することが出来る

主要都邑 人口(萬)
リオデジャネーロ 一四六
サンパウロ 八八
ペルナンブコ 三四
サルヴァドール 三二
ブラジリア 二七

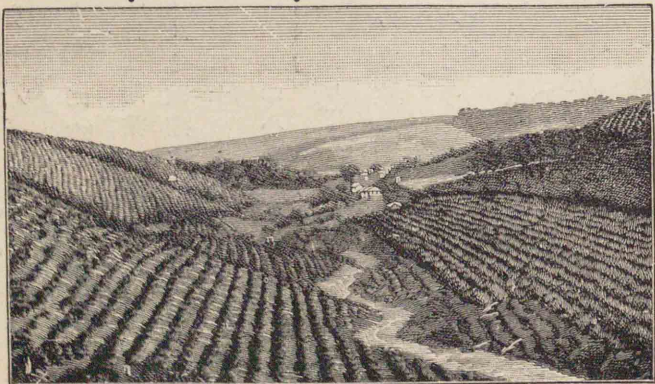
12
67 1852
182
138
57



アマゾン河は水量が極めて多く、中流までは洋航船の溯行も自由であるが、流域の大部は不健康地で、探検は未だ行はれてゐない。護謨・染料・藥材等は殆ど無盡藏といはれ、その野生護謨は、嘗て世界に於ける需要の過半を充したが、今は栽培護謨に販路を奪はれた。マナオスは護謨採取の中心で、パラはその積出港である。

ブラジル高地には、熱

帯性の草原が廣く、牧牛が處々に行はれ、又金・黒金剛石等を出す。高地の南部は最も重要な農業地帯で、咖啡の栽培が盛に行はれ、その産額は世界全産の七割餘を占める。近年綿・玉蜀黍・米等の耕作も次第に盛となつた。サンパウロは咖啡栽培の中心地。サントスはその輸出港

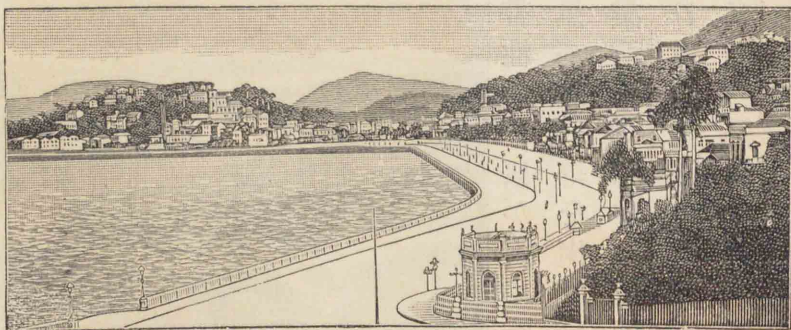


我が南米拓殖會社は最近アマゾン州に百萬町歩の土地を得て主として綿の栽培を始めた

【圖】リオデジャネイロの海岸

瀟洒な市街で汽船の出入頻繁な埠頭區の部分は此處に現れてゐない

ベネズエラは面積約一〇二萬方呎、人口約三〇〇萬



として榮えてゐる。首府リオデジャネイロも珈琲

商業の一中心に、天然の良灣に臨み、風光がよい。

珈琲は本國最大の資源で、政府は斯業の保護・獎勵に力を盡し、種々の便宜を與へて移民を歓迎するので、歐洲からの移住民が多く、我が移民も既に十萬人に達し、リベロン・プレト・パウリー等は、邦人移住の中心地である。

ブラジル高地の東部では、黒人を使役して農

耕を行ひ、甘蔗・煙草・綿・カカオ等の栽培が次第に盛となり、ペルナムブコ・バイヤ等は、その輸出港である。

Fernambuco Bahia

ベネズエラは牧畜農業

Venezuela

が行はれ、又石油の産がある。首府をカラカスと

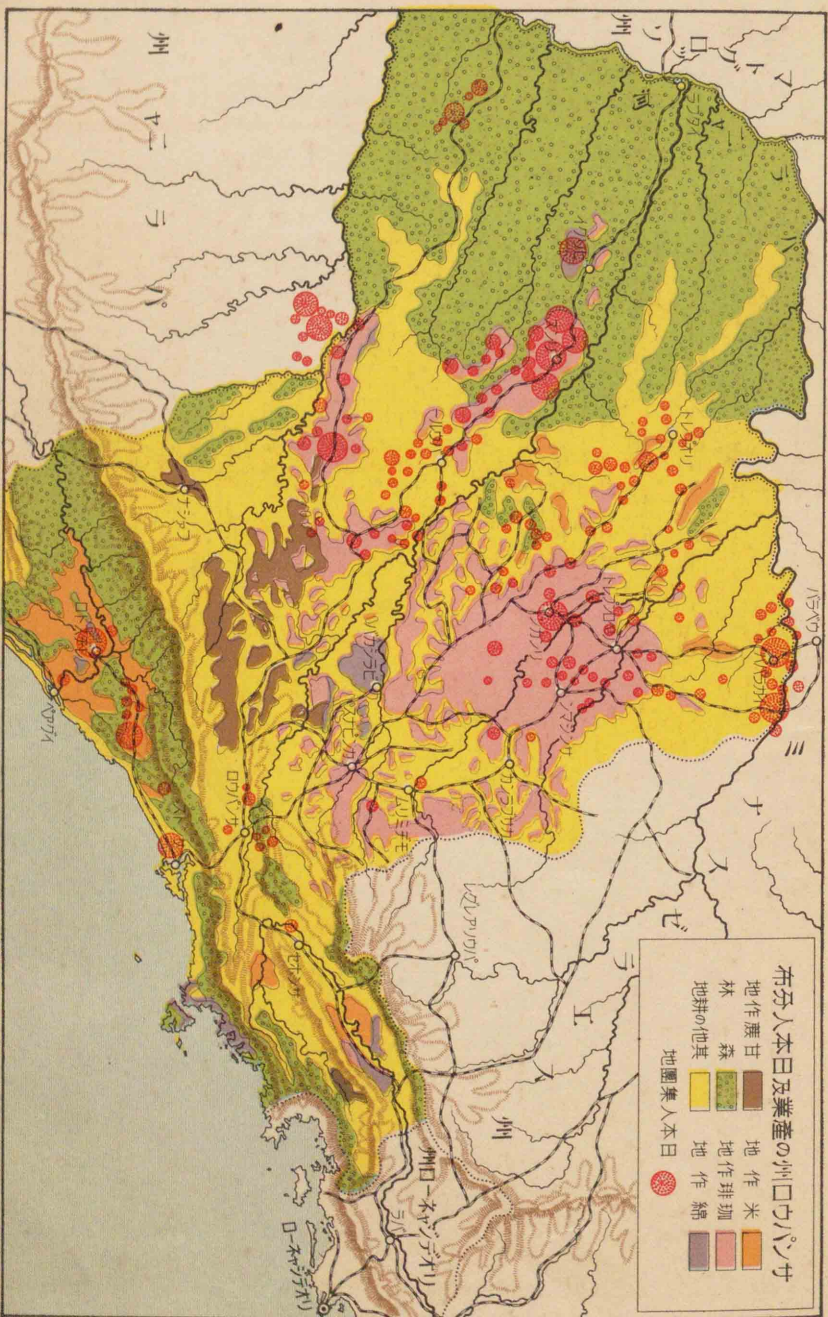
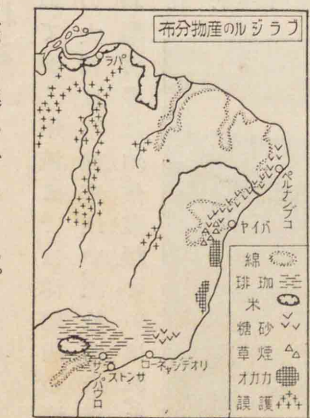
Caracas

いひ、迂回の甚しい鐵道で外港ラグアイラと通ず

Ia Guaira

る。ギヤナは英・蘭佛の三

國に分屬するが、一般に開拓は進んでゐない。





リオデジャネイロ
 奇異の丘陵に圍まれた世界的の美
 港で圖の左方に聳つはセントアン
 トニオ丘



ブエノスアイレス
 大建築が並び大街道が通じ南半球
 の最大都會たる面目と外觀とを具
 へてゐる



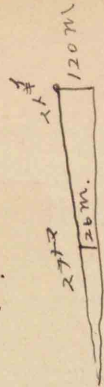
サンチヤゴ
 アンデスの麓に近くサントラルシヤ
 公園の丘陵を繞つて發達し丘上の
 眺が誠によい

伯刺西爾

日本十三港
 日本人十五萬人

地形

- 一、アマゾン平野
- 盛平ノ大森林
- アマゾン河東流
- アマゾン河
- 世界第一の大河
- 口際河川
- 二、ブラジルの地
- 油山の脈



高原的山脈

大西洋急傾
 アマゾン平野急傾

気候

アマゾン河地帯
 赤道
 東北風地帯

ブラジルの地

西熱帯地
 東南風地帯



邦人經營の珈琲園
ブラジルのイグアベ植民地に於ける邦人の努力を表現せる珈琲園



バナナの積出し
各地に産しブラジルでは珈琲の苗木を保護する副産物で、圖はサントスに於ける光景



アルゼンチンの牧場
牛は羊に次いで頭数が多く肉牛、乳牛の輸出が多い

第二章 東南部南アメリカ

アルゼンチン・パラグアイ・ウルグアイの三國を含み、地球上の位置が殆ど我が日本の背面に當り、氣候は概ね良好である。

アルゼンチン

南米第二の大國で、産業の發達、文化の進歩は南米第一である。

パンパの草地には、羊・牛・馬等の牧畜が盛んで、羊毛の産額は世界の第二位を占める。近年農業も大いに發達して、小麦・玉蜀黍・亞麻等の産が多く、小麦の大供給地となつた。西部の山麓には、人工灌溉によつて、葡萄

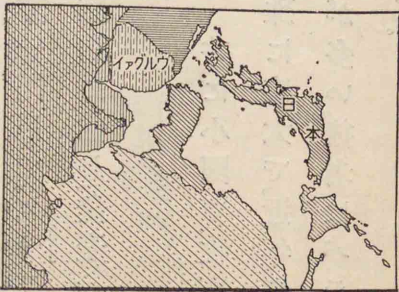
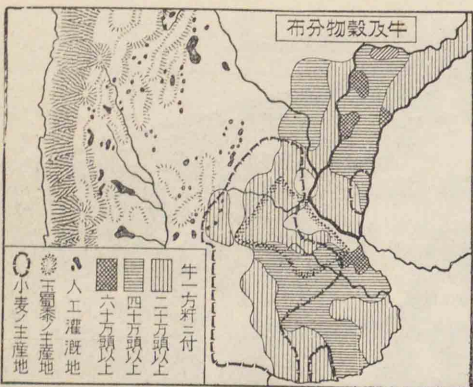


圖 東南部南アメリカの對蹠圖
ウルグアイ附近から地球上その裏側に當る地點を見たる想像圖

面積 約二九八萬方呎
人口 約一一一九萬

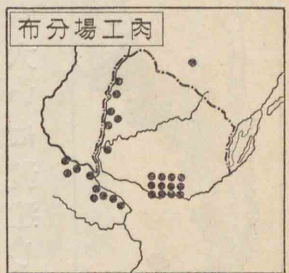


部 灌 漑 によつて、葡萄

ブエノスアイレス 二二二萬
ロサリオ 二六萬

【圖】ブエノスアイレス埠頭方面
空中から見た光景で無数の船が駁物着積處近くに列んでゐる

ウルグアイは面積約一八萬方軒、人口約一九〇萬
モンテビデオ 四六萬
パラグアイは面積約二五萬方軒、人口約八八萬



その他の果樹栽培が行はれる。首府ブエノスアイレスは、水陸交通の要地を占めて、其等の輸出が多く、南半球の最大都會である。アンデス横斷鐵道は此處に起り、我が南米東岸航路は此處を終點とする。バイヤブランカも亦一門戸で、ロサリオは海洋航行船の終航點に位し、農産物の大市場である。

業も發達し、首府モンテビデオは畜産穀類の積出が多い。後者はパラグアイ茶の特産を出し、アシションはその首府である。

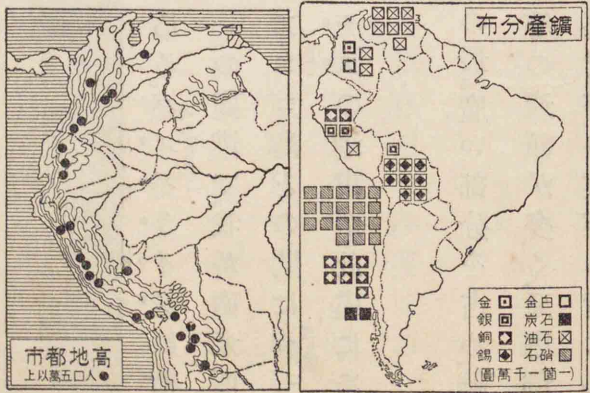
ウルグアイ、パラグアイ共に小國で、牧畜を主業とする。前者は殊に盛大で、近年農

第三章 西部南アメリカ

チリ・ボリビア・ペルー・エクアドル・コロンビアの五國を含み、地形上アンデス山地・山東低地及び海岸低地に分れる。

アンデスは世界最長の褶曲山脈で、此處を通ずる火山帯には、コトパクス(エクア)、イリマニ(ボリ)、アコンカグア(チリの境界に近)、等の大火山が聳えてゐる。この山脈中には鑛産が甚だ多い。山地の北部は、高度の關係上氣候がよく、中には永久の春を誇る處もあり、港市以外の都邑は多く此處に集り、熱帯地方唯一の文化地帯を作つてゐる。中部は廣い高原を挾んで寒暑の差が著しく、且乾燥する。南部は氣候が寒冷に過ぎ、人類の居住には適しない。

チリ極めて細長い國で、北部は高温乾燥の爲に一部はアタカマ沙漠をなしてゐるが、この乾燥地帯から出る硝石、グアノ等は、本國の重要産物で、イキケはその積出港である。その他山地には、銅、銀等の鑛産



市都地高
上以萬五口

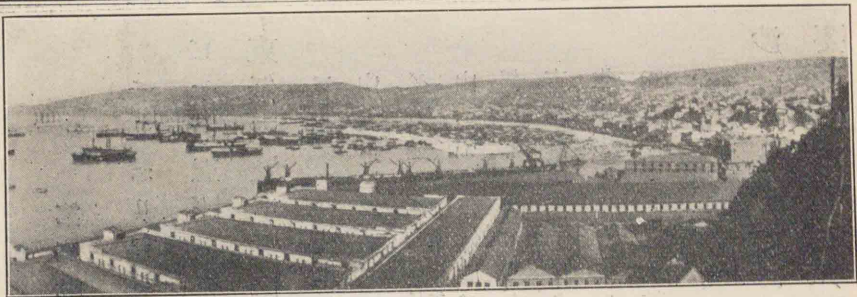
面積 約七五萬方軒
人口 約四二八萬
硝石は主に肥料に供するが、藥品、火藥の原料にも用ひ

バルパライソ
近長に幾棟となく並ぶのは税関倉庫である

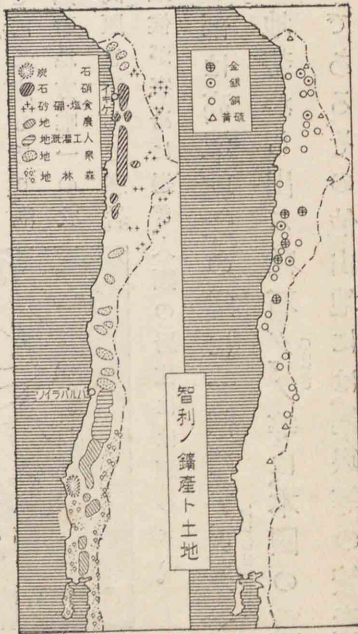
サンチャゴ 七〇萬
バルパライソから
ブエノスアイレス
まで汽車で約三十
二時間を要する

フエゴ島の東北に
あるフォークラン
D諸島は英領で牧
羊が行はれ漁業の
中心がある

面積
約一三三萬方
人
約二九〇萬



が多い。中部は
小麥葡萄等の
農産を出し、工
業も稍發達し
て、住民の大部
分は此處に住
み、首府サンチ
ヤゴも此處にあ
る。断鐵道の一
端に當り、西岸
第一の商港で、
我が南米西岸航
路の終點である。
南端はフエゴ島
との間にマゼラン
海峡を挟み、プ
ンタアレナスの
港市が此處にあ
る。



ボリビヤ
Bolivia
アンデス山地の最廣い部分を占め、鑛
産を第一の富源とし、錫・銀・銅等の産額が多く、又珈琲
護謨・コカ規那等を出し、羊駝・駱馬等の牧畜も行はれ

ラパス 一四萬

湖チチカカ湖の
蘆舟
土人は之をバルサスと
呼び草を集めて造る

面積
約一三八萬方
人
約六一四萬



る。スケレはこの國の首府であるが、今はチチカ
カ湖に近いラパスに政府がある。ポトシは名高
い鑛業市である。

ペルー
Peru(秘魯)
沿海地方は高熱寡雨の沙漠である
が、山上の融雪に養はれる細流が多く、その沿岸
には、人工灌漑によつて綿・甘蔗・珈琲・米等の耕作
が行はれ、邦人の此處で勞働してゐる者も少く
ない。銅・金・銀・石油等の鑛産もあり、牧畜も亦行は
れ、沿岸の島嶼からはグアノを出す。首府リマはイ

リマ 二六萬
ペルーには昔イン
ディアン族の建てた
インカ國があつた
が十六世紀にイス
パニヤ人ビサロに
よつて征服された

スバニヤ風の倂を残す都會で、カリヤオはその外港
である。東部の森林は護謨・規那・コカ等を出し、イキ
トスはアマゾン河航の要地である。
エクアドル
Ecuador
赤道直下の國で、カカオの産が頗る
多く、又パナマ帽の特産がある。首府キトは約三



パナマ帽はパナマ商人の手で多く販賣されるのでこの名がある

製法
パナマ帽子の

棕櫚科に属する灌木の葉柄から採取した纖維を原料として編む

面積
約一二八萬方呎

人口
約八〇〇萬

ボゴタ 二四萬



千米の高原にあつて、氣候が常に春の如く、グアヤキルはその外港である。

コロンビヤ

(Columbia)

甘蔗・珈琲等の栽培が行はれ、白金・石油等の鑛産がある。首府ボゴタは高原上に位し、バランキリヤは、商業上の要地である。

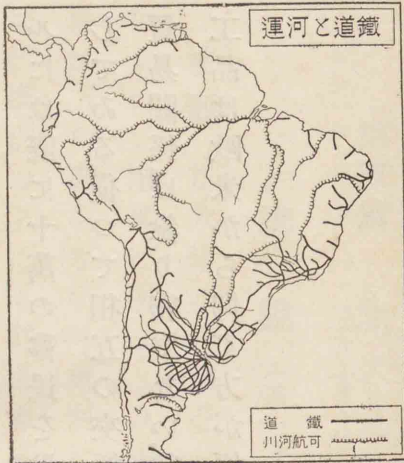
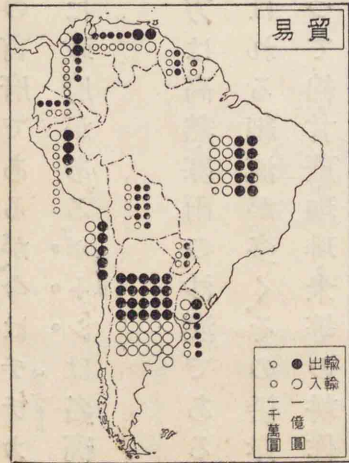
Barranquilla

總説 (其二)

産業交通

亞熱帶地方は植栽業が盛で、珈琲

カカオ等の大産地である。温帯地方の穀物・畜産品等も亦盛に輸出され、歐洲に對する重要な食糧庫である。鑛産も甚だ豊富であるが、石炭に乏しいので、工業國となる望が少い。要するに本洲産業上の缺陷は、勞力及び資本の乏しいことで、移民



の吸収と、外資の輸入とで之を補つてゐる。

産業の發達した地方には、鐵道網も稍、整つてゐるが、アンデス山地はその發達を妨げ、大河の水運も利用は少く、海上交通が本洲の交通幹線で、鐵道がその涵養線となつてゐる。米國及び歐洲との往復

が最も盛に行はれ、我が國からもこの地へ航路を通じてゐる。

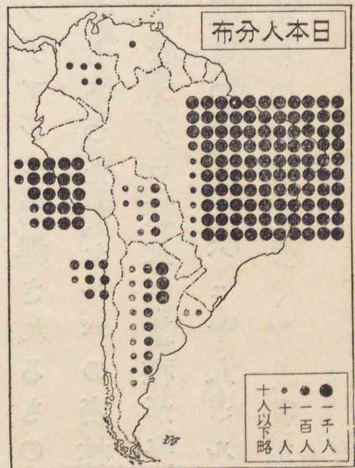
住民國狀

本洲の土人は、アメリカインディアンと總稱されるもの

で、高原上には、嘗て立派な文化を有した者もあつたが、セルバの密林中には、最も原始的な民族もある。熱帶地方には、ネグロ族及び雜種が多く、温帯地方にあつて政治・經濟の實權を握るのは、イスパニヤ人・ポルトガル人等の子孫である。近年歐洲諸國からの移民が多くなり、我が國民の移住も益々増加した。

本洲の諸國は何れも建國が新しく、且一時は内亂外寇が續いたので、財政状態の健全でないものが多い。諸國の中、アルゼンチンは國勢が最も盛で、ブラジル・チリが之に次ぎ、南米のABC三國と呼ばれる。

日本との關係 近年我が國人の南米に移住する者が多く、ブラジルには既に十萬の移民を送り、ペルーも亦我等に活動の天地を提供してゐる。従つて相互の交通は益便を加へて來たが、距離が遠いので貿易關係は餘り密でない。即ち原料品は、我が國に近い處からも産し、加工品は歐米から仰ぐ方が便宜な爲である。



— 洲カリメア南 — 48

第五篇 北アメリカ洲

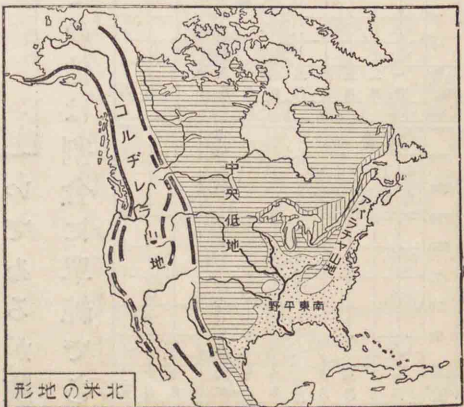
North America (北亞米利加)

總說 (其一)

地形 新大陸の北部を占め、パナマ地峽によつて南米に連る。この兩大陸は、共に地形が三角形をなす外、東西に高地があつて、地體構造の上にも似てゐる點が多い。

西部高地は、新しい褶曲のロッキー山脈を主軸として、コルデレラ山系をなし、火山帯が此處を通じてゐることは、南米に於けるアンデスの如く、東部に古い地塊のアパラチャ山地が連ることは、南米のブラジル高地と似てゐる。東西の兩高地間は廣い平野で、世界第一の長流ミシシッピ河を始め、セントローレンス・マッケンジー等の河川が、三方に分流することも、亦南米とその趣が似てゐる。

この平野の北部は、地質時代に氷蝕を受け



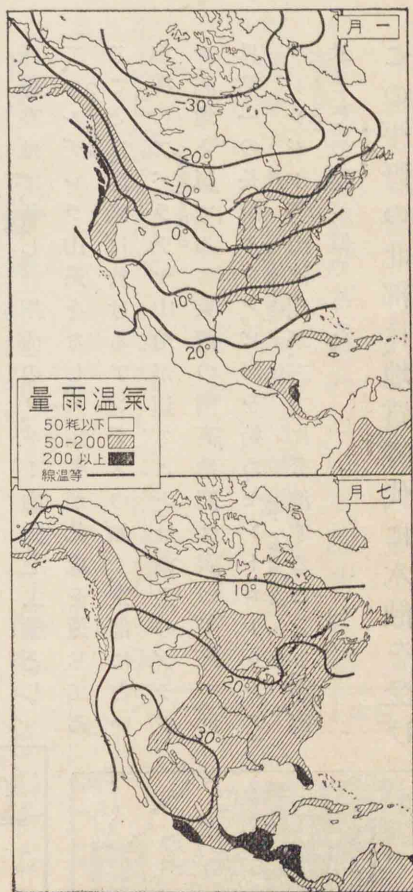
49 — 說 總 —

面積 約二、七〇萬方
人口 約一、四四〇〇萬

圖解 地質時代に氷河に被はれた地方

太平洋面にはアラ
スカ・カリフォルニ
ヤの兩半島大西洋
面にはユカタン・
フロリダ・ラブラ
ドル等の半島を見
るのみであるが北
部には島嶼が多く
又ハドソン灣は深
く灣入して南方の
メキシコ灣に對し
てある

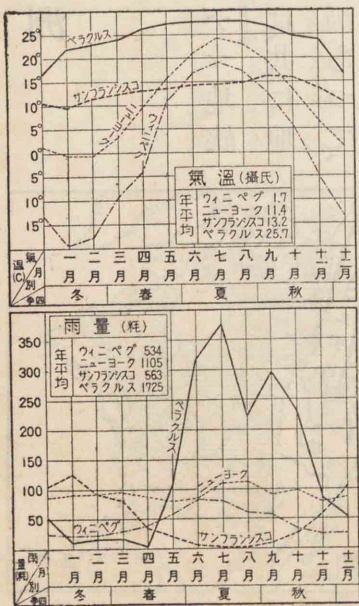
東岸にはメキシコ
灣流・ラブラドル
海流が流れ西岸は
日本海流に洗はれ
る



た處で、之によ
る大小の湖水
が多く散在し
てゐる。
海岸線の發
達は、歐洲に次
いでゐるが、肢

節の最も多い北部は、酷寒の爲に利用が少く、その他は割合に單純であるが、東西兩岸の中部以北は沈降性で、水の深い良港が多い。

氣候 大部は溫帶に屬してゐるが、地勢海流等の關係から、氣候は處により著しく違つてゐる。南部では、西岸よりも東岸の氣温が



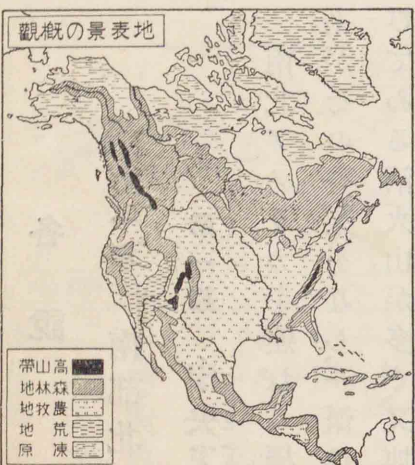
高く、北部では、西岸よりも東岸の方が低い。メキシコ灣岸は、熱帶性で雨がが多く、内部は大陸性で、山脈に圍まれた地方は、乾燥して沙漠となつてゐる處もある。北部は寒氣が強く、不毛の凍原である。

植物は寒帶性から熱帶性のもので網羅し、動物には、ヒマ・野牛・ブレイリー・犬・響尾蛇・海狸等の特有のものが棲み、有用植物の煙草・玉蜀黍・馬鈴薯・仙人掌等は、本大陸の原産である。

區分

この地は土人の住地であつたが、今は悉く歐洲人の勢力に屬して、南部にはラテン族が多く、小國を建て、中部以北はチユートン族の活動地で、文化が大いに進んでゐる。本書は之を左の諸地方に分ける。

- 南部北アメリカ
- 中央アメリカ及び西印度メキシコ
- アメリカ合衆國
- 北部北アメリカ



1	面積約二萬二千方	人口約五
2	面積約一萬方	人口約二〇
3	面積約一萬方	人口約七〇
4	面積約三萬四千	人口約一
5	面積約一三萬方	人口約七〇
6	面積約六萬方	人口約四萬
7	面積約八萬五千	人口約四萬

分區の内域

パ7	コ6	ニ5	サ4	ホ3	グ2	ホ1
スタ	カ	ル	ル	ン	ア	ン
リ	ラ	バ	バ	デ	テ	デ
カ	カ	ド	ド	マ	マ	リ
マ	マ	ル	ル	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス
		ス	ス	ラ	ラ	ラ
		ラ	ラ	マ	マ	マ
		マ	マ	ス	ス	ス

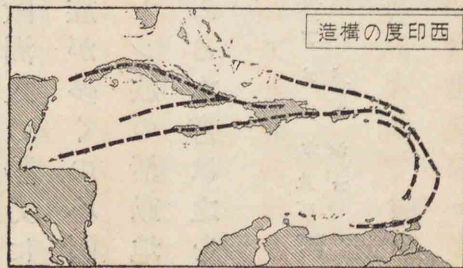
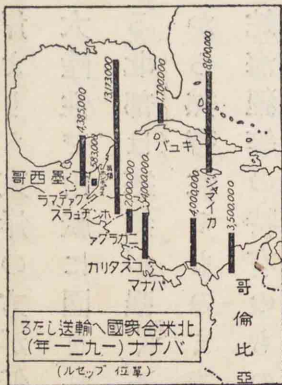
各説

第一章 南部北アメリカ

第一節 中央アメリカ及び西印度

南北アメリカを連ねる橋梁部に當り、一帯の高地系がその脊梁をなし、一派は分れて西印度諸島に延びてゐる。活火山が多く、又地震が屢起る。氣候は概して暑く、甘蔗、バナナ、煙草、珈琲等の栽培が盛である。中央アメリカは、一部が英國に屬し、他は六共和國に分れる。この地方は幅が狭い爲、嘗てニカラ

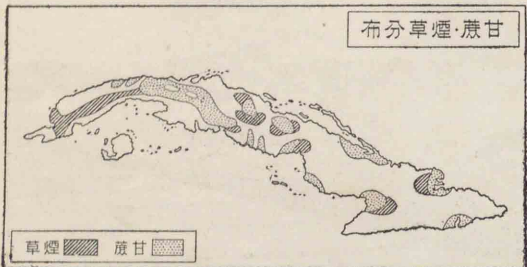
グア運河の開鑿を企てたことがあつたが、近年パナマ運河が開けて、世界の交通産業軍事等に大影響を與へた。



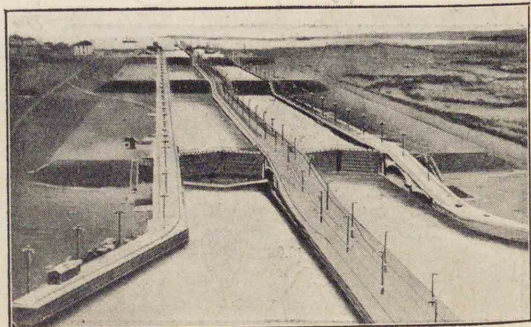
西印度の度構

圖 運河パナマ運河
長 三六〇萬

キニバは面積約一
一萬方、人口約
三六〇萬



パナマ運河は、最初佛人レセップスの計畫により着手され、たが、その後米國の手に移り、一九一四年に開通した。運河は、パナマ・コロン間の地、約八十料を開鑿したもので、チャグレス河に堰堤を設けて、ガツン湖を作り、東西に閘門を設けて、船を二十六米の高さに上下せしめる装置で、之を通過するには通常七八時間を要する。米國は運河の兩端にクリストバル・バルボアの兩港を設けたので、在來の二港は、之が爲に著しく衰へた。この運河の開通により、南米迂回の不便が除かれ、世界の交通上に、大變動を及ぼすに至つた。



西印度は大アンチル・小アンチル・バハマの三諸島に分れ、カリブ海を抱いてゐる。諸島中には三箇の小獨立國があり、その他は英米佛蘭の諸國に分屬する。大アンチル諸島のキニバは、獨立の共和國で、甘蔗、煙草、珈琲等を産し、殊に砂糖の産額は世界第一で

ハバナ 五八萬

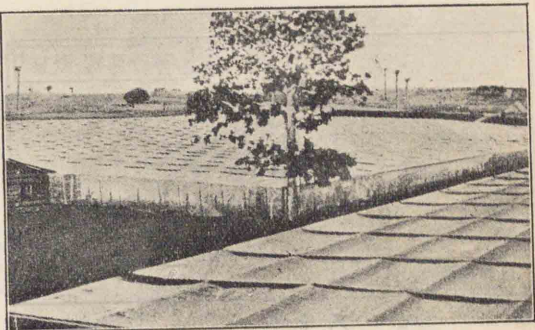
ハイチは面積約二
萬六千方料、人口
約二三〇萬

煙草畑
キューバの煙草畑で一面
に日覆をしたのは葉巻
煙草の色を濃くしない
為である

サントドミンゴは
面積約五萬方料、
人口約九〇萬

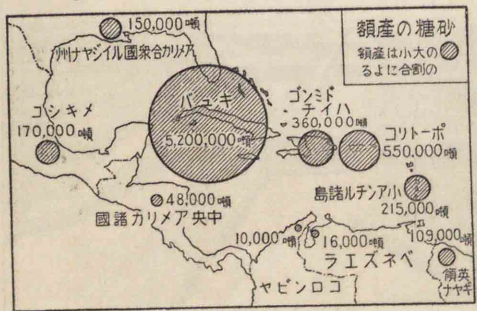
ポートープランス
一〇萬
サントドミンゴ
三萬

マルチニク島の
ペレー山は明治三
十五年大破裂をし
て沿岸の市街を破
壊した



バハマ諸島(領英)は、數多の珊瑚島から成り、その中
のサンサルバドル(領英)島は、コロンブスが最初
に到達した處と傳へられてゐる。
San Salvador
ベルムダ諸島(領英)は、ニューヨークの東南海上にある珊瑚島で、
Bermudas
英國の海軍根據地である。氣候がよく、保養にも適する。

ある。首府ハバナは、西印度諸島の最大都會で、粗
糖の積出が多く、又葉巻煙草の良品を出す。ハイ
チ島には、黒人の建てたハイチ(首府ポント)サント
ドミンゴ(首府サント)の二共和國があつて、共に砂
糖珈琲等を産し、ジャマイカ島は英國に屬する。
小アンチル諸島は概ね火山性で、マルチニク島
(領佛)は、近年大噴火があつたの
で名高く、トリニダード島(領英)
は、地瀝青、石油等を出す。
Trinidad
Martinique



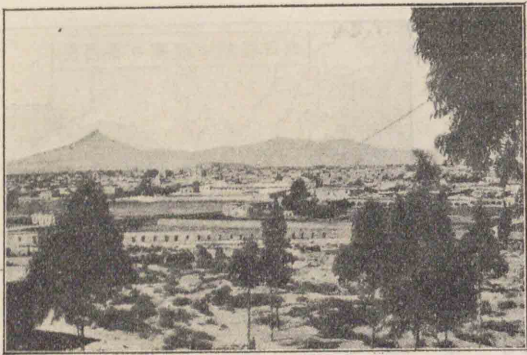
面積
約一九七萬方料
人口
約一六四〇萬

メキシコ人の
家屋と風俗

茅屋、銅製の帽子、騎馬
の人、鬚をたる樹林此
等は直に吾人の目に映
ずるメキシコの光景で
ある

住民の多數を占め
るは白人とインヂ
アンのとの雜種で之
をメスチゾといふ

ポポカテペトル山とメキシコ市
海拔五千四百米を越え
る雄大な火山を背景と
して高原上に發達した
メキシコ市は氣候も眺
望も共に爽快である



第二節

メキシコ

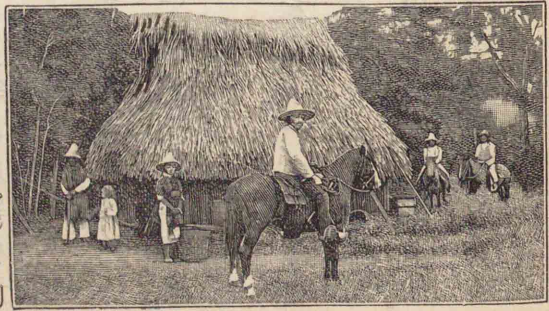
Mexico (墨西哥)

新大陸の中、最も早くイスパニヤに征服せられ、後
に獨立して共和國となつたが、政治上、經濟上に勢
力を占めるのは、イスパニヤ人の子孫で、言語は主
としてイスパニヤ語を用ひ

る。我が國との關係は甚だ古
く、嘗て徳川家康の交通せし
めたノビスパニヤはこの地
Neuva España

のことで、住民は一般に親日の風があり、現に約
四千の邦人が移住し、農業に従事してゐる。

シエラマドレ山脈は、東西の二派となつて高
原を抱き、ポポカテペトル山を始め、數多の火山
がこの中に聳え、僅に海岸に狭い低地がある。海



メキシコ 九六萬
金・銀・銅等は之を
貨幣に鑄造して輸
出することが多い



して、仙人掌・龍舌蘭等が自生し、又人工灌漑によつて、玉蜀黍・小麥・煙草等を作り、山地の斜面には珈琲を産する。

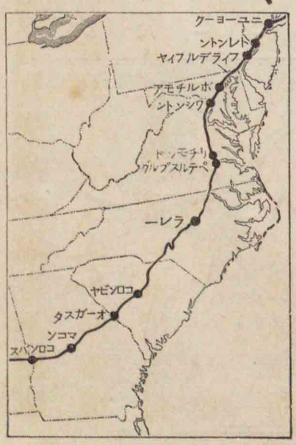
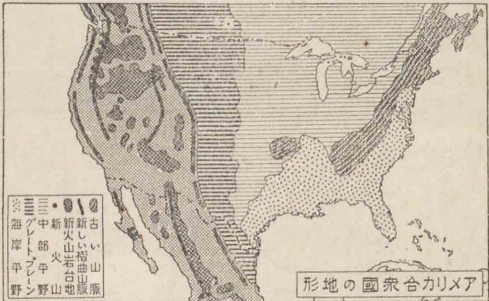
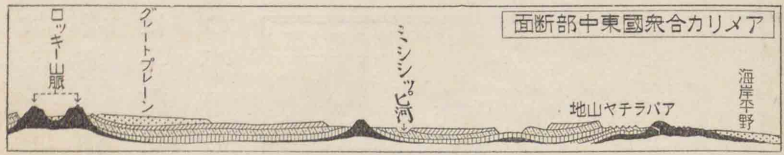
高原地方は氣候がよく、礦物の埋藏も多いから、本國第一の開化地帯をなし、首府メキシコ(海拔二千三百米)を始め、多くの都邑があり、人口が最も密である。礦物は本國第一の富源で、金・銀・銅・寶石等を出し、銀の産額は世界第一である。東岸には油田もあつて、タンピコはその輸出港であるが、近年産額を減じた。

第二章 アメリカ合衆國
The United States of America

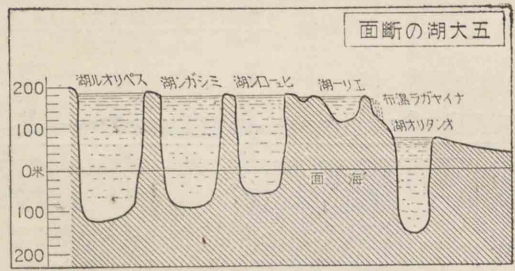
地形 我が内地の約二十倍に當る大國で、東部と西部とでは、標準時に四時間の差がある。地形上から東部高地・中央平野及び西部高地の三區に分れる。東部高地は、アパラチヤ山地とその西に續く廣い臺地とから成り、概して低く、東南は山麓臺地を経て海岸平野に終る。此處を流れる數多の河川は臺地を離れる處に瀑布を懸け、所謂瀑線を作つて水力利用の便を興へ、多くの工業都市が發達してゐる。北部は沈降海岸で、河口が深く良港となつてゐる。

面積 約七七〇萬方呎
(アラスカ・ハワイを含む)
人口 約一二〇〇萬

瀑線 瀑布の水力利用の爲に工業市が列をなしてゐる



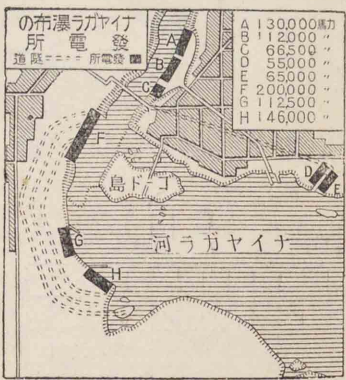
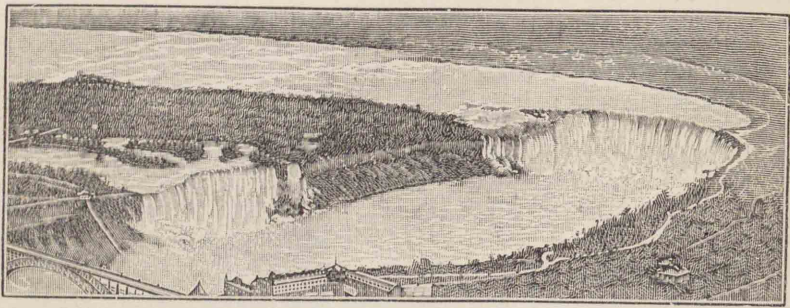
(2) 中央平野は概ねミシシッピ河の流域に属する。ミシシッピ河は、ミズーリ・オハイオ等の大支流を有し、河口に鳥趾状の大三角洲を作る。海岸は、低平で、砂嘴が発達し、良港は少い。この平野の北半は、古代に著しく氷蝕を受けた處で、北境にはその爲に出来たスペリオル・ミシガン・ヒューロン・オンタリオの五大湖があり、セントローレンス河に連る。其等の湖水面は高度を異にし、オンタリオ湖とエリー湖との間には、壯絶なナイアガラ瀑布がある。豊富な水力を供給して、附近に工業市を勃興せしめた。



五大湖は世界最大の淡水湖群で、水運の便が甚だ多く、淡水地中海と呼ばれる。各湖面の高度が異なる爲、ソーセンマリー運河やウランド運河(カナダ)を鑿つて、その不便を補ひ、一萬噸級の船は自由に往來してゐる。然し自然の口はカナダに開くので、米國ではエリー湖とハドソン河とを運河で連ね、五湖とニューヨークとを連絡したが、今は鐵道の利用に壓されてゐる。

平野の大部はプレイリイと呼ばれ、草野をなしてゐた處で、西部はグレート

右方の彎曲せる分は馬蹄灣左の分はアメリカト島で左方の橋は米國とカナダとを連絡する



プレイン(ハインプ)と呼ぶ高い平坦地である。

(3) 西部高地は、コルデラ山系の最も廣い部分を占め、ロッキー・カスケード・シエラネバダ及び海岸山脈が、廣い高原盆地帯と、一條の低地帯とを挟んで三列に並ぶ。高原盆地帯は、コロンビヤ高原(廣い熔岩臺)・大盆地(大鹹湖を瀉)・コロラド高原(大峽谷)に分れ、低地帯は細長いカリフォルニアの谷をなしてゐる。コルデラ山系には、多くの火山が噴起し、その中には

【圖解】コロラド河の峡谷
峡谷の延長は八十餘軒に達し、総厚の高さ一千米に及ぶ處がある

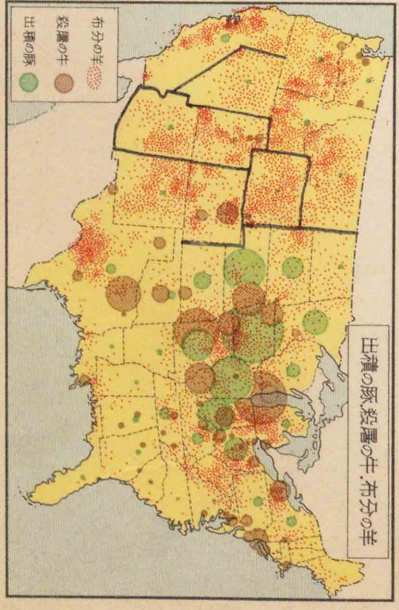
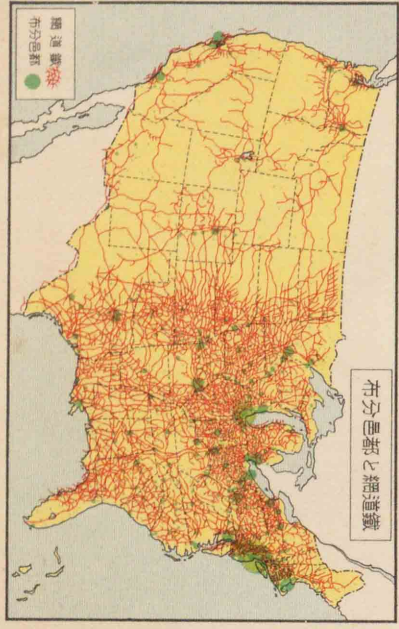
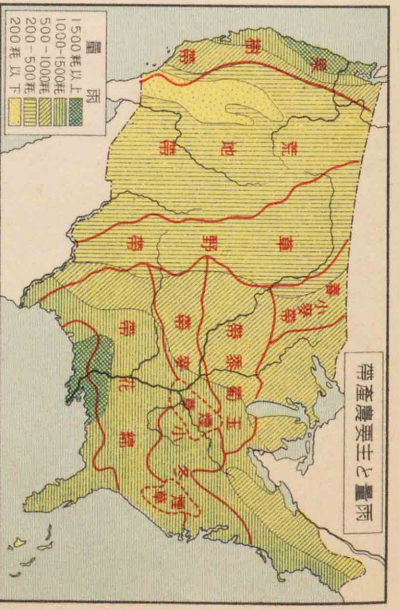
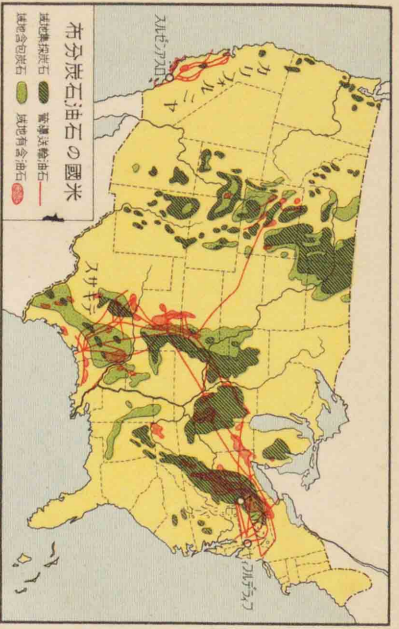
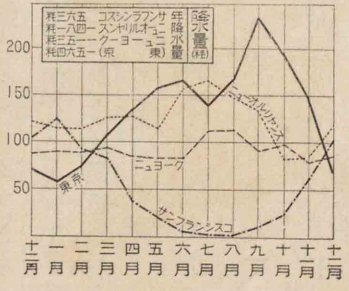
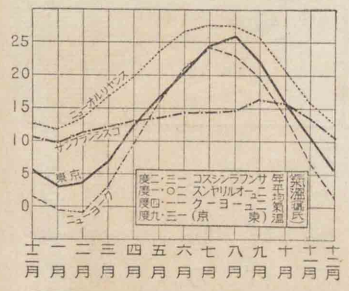


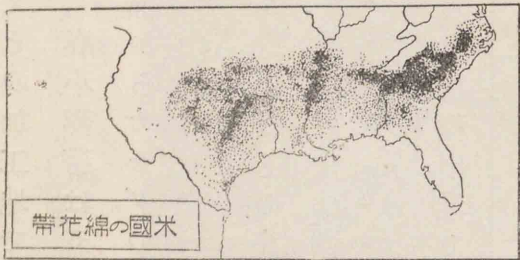
間歇泉に富むエローストロン公園、氷蝕に成れるヨセミテ谷の如き、勝景の地が少くない。海岸は單調で、北にピューゼットサウンド、中部にサンフランシスコ灣があるに過ぎない。

フロリダ半島は有名な避寒地でアラチャ山脈の北部は避暑の適地

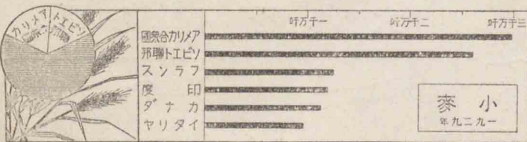
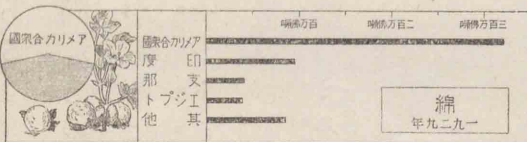
ロッキー山脈は氣候の大境界をなしている

氣候 地形の變化に伴ひ、氣候區も數多に分れ、東岸の北部は溫帶性であるが、南部及びメキシコ灣岸は、多濕で亞熱帶性である。中央平野は概して大陸性で雨が少く、グレートプレーンはステップ状をなしてゐる。西部高地は乾燥して、山脈間には、沙漠狀をなす處がある。太平洋岸は溫暖で、北部は夏に雨が多く、南部は冬に多い。





帯花綿の國米



産業 面積が廣く、天産に恵まれ、資源も豊富であるから、各種の産業が大いに起り、經濟上世界に雄飛するに至つた。

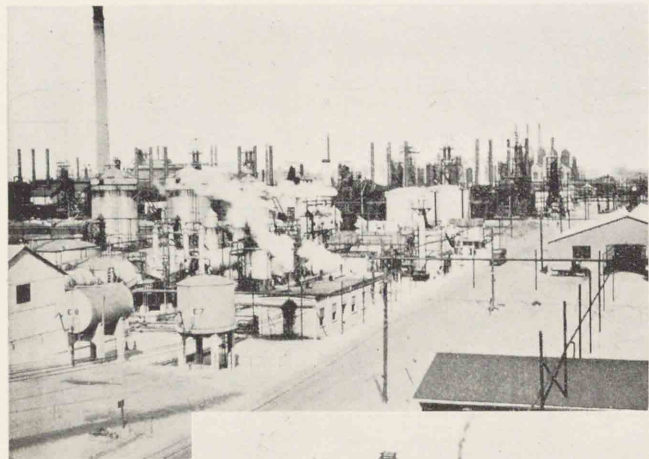
中央平野は綿、小麥、煙草、玉蜀黍等の耕作が甚だ盛で、何れも産額が世界第一である。此等の主産地は、略、帶狀をなして南北に列ぶ。綿はメキシコ灣に沿ふ地帯に最も多く、ニール、オルリヤ、スガル、ベストン等は

その積出港である。

棉花帶の北には冬小麥帶があつて、煙草産地がこの中に挟まれ、リッチモンド、ルイスビルは主要の煙草市場である。玉蜀黍帶には、玉蜀黍の外、大麥、燕麥等を産し、又此等を飼料として盛に家畜を飼養し、シカゴ、セントルイス、シンナチ等は、穀物、肉類の大市場であり、

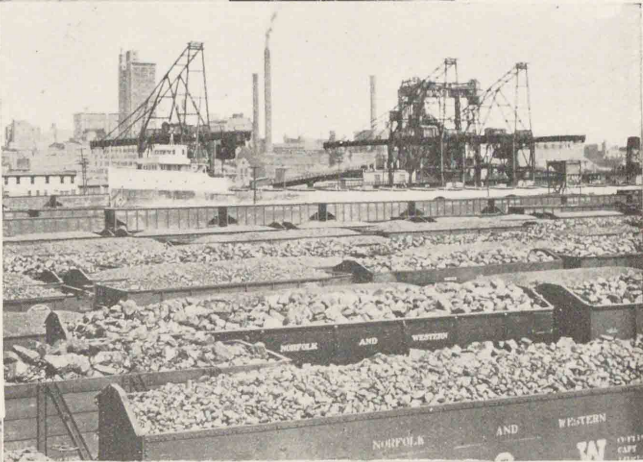
製油所

イリノイス製油所で、中央平原その他から石油を鐵管で此處に運ぶ



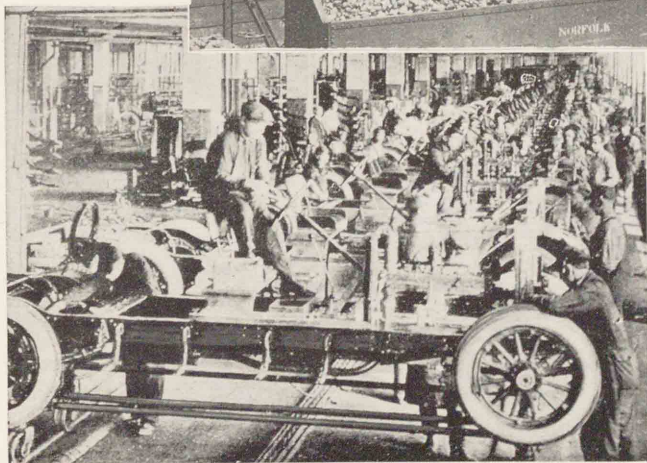
石炭積出

石炭集散の多いことが世界第一といはれるエリー湖畔の光景



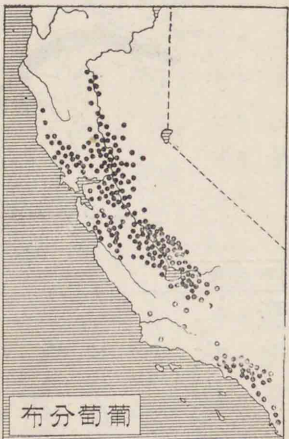
自動車工場

デトロイトにある工場で一日の製造数は八千臺といはれる



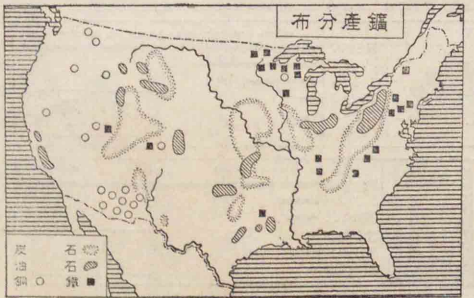
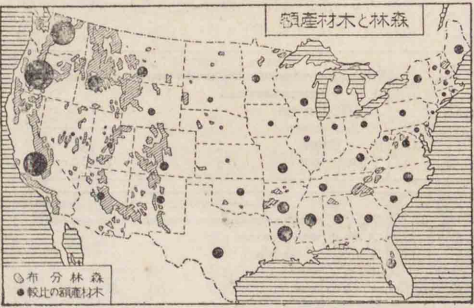
カリフォルニア地方の巨木には千年を超え幹の直径十三米に餘るものがある今はその伐採を禁止した

巨木の切株を應用した住屋
傍に立つ人と比較して大きさを推知することが出来る



は有名な巨木がある。東北部の沿海及び西部の河川(鱒)には、漁業に従事する者が多い。

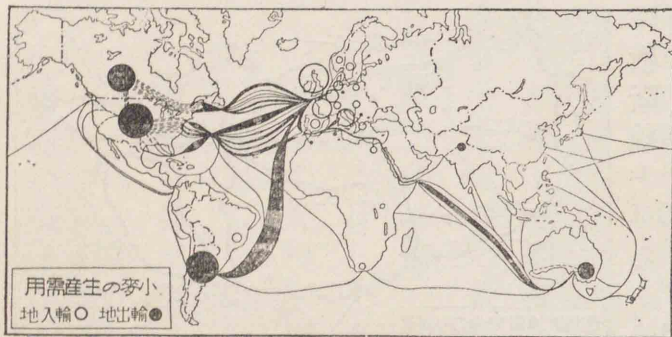
銅・鐵・石炭・石油・鉛・亜鉛・アルミニウム等の實用鑛



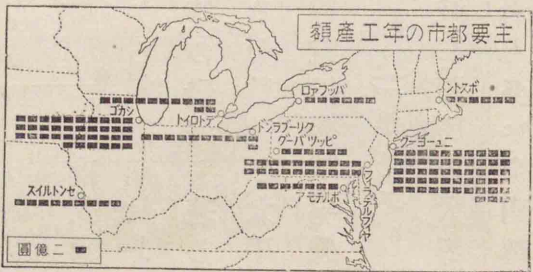
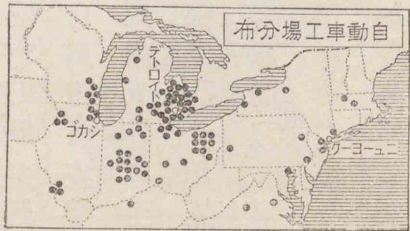
葡萄・柑橘・野菜等の産に富み、サクラメン
ト・フレズノ等はその中心である。

Freres Sacramento
牧畜は玉蜀黍帯の外、ロッキーの東麓及び五湖地方等に廣く行はれ、林業は東北部及び西部に盛で、カリフォルニア地方には、漁業が頗る

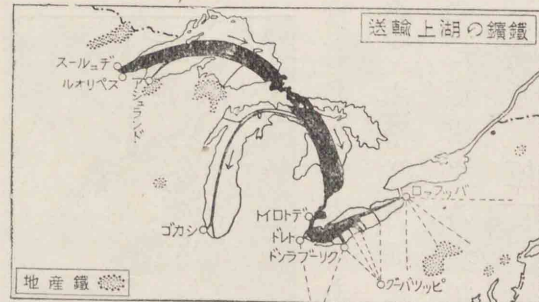
大戦中は主要な供給國となつて貿易額は世界第一位を占めてゐた



な爲、本國最大の工業地帯で、シカゴ(鐵製)・デトロイト(自動車)・ピッツバーグ(鐵製)・バッファロー(鐵製)の如き大商工都市が並び、鐵鋼機械車輛織品品護謨製品等の産出が甚だ多い。



貿易も甚だ盛大で、殊に輸出超過が著しい。綿穀物鐵及び鋼機械類銅石油等は何れも主要な輸出品で、生絲珈琲砂糖護謨等が主要な輸入品である。我が國は多く生絲羽二重茶等を賣つて、綿石油機械鐵等を買入れ、貿易上の關係が甚だ深い。

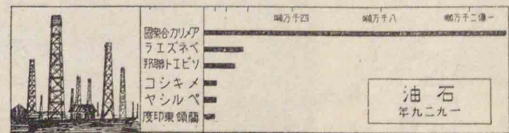
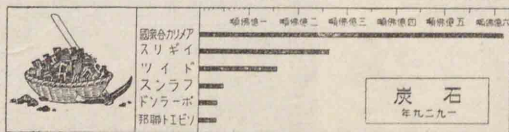
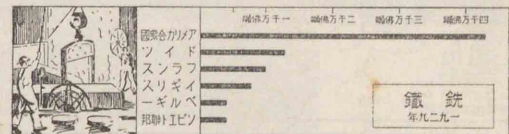
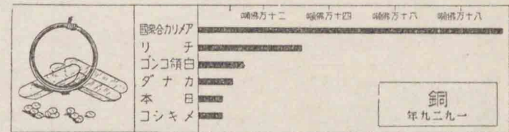


大湖地方から大西洋岸に達する地域は、原料の産地に近く、燃料礦物に富み、水力の利用にも便利

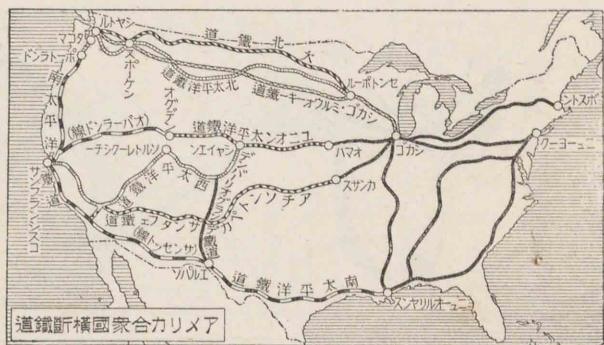
地及び中部平野の各地から多く産し、石油は東北部ミシシッピ下流及び西海岸の地方に最も多く、フライデル、フイヤ、ロスアンゼルスは、その精製積出が盛である。

物は、何れも世界第一の産額を有し、金銀も亦有數である。

銅はスベリオル湖邊が主産地であつたが、今は金銀等と共に、西部山地から多く出で、ピュートはその一中心である。鐵はアパラチヤ山地にも出るが、今は



米國に住むインディアン族の数は三十五萬餘に過ぎない。今は特別區を設けて保護を加へてゐる。



米カリメア合家國鐵道

横斷鐵道

- 大北鐵道 シカゴ—シヤトル
- シカゴミルウオキー鐵道 シカゴ—シヤトル—タコマ
- 北太平洋鐵道 セントポール—シヤトル
- ユニオン太平洋鐵道 オマハ—オグデン
- シカゴ—オマハ—中央太平洋鐵道
- オグデン—サンフランシスコ—南太平洋鐵道
- 西太平洋鐵道 シヤイエン—サンフランシスコ
- サンタフェ太平洋鐵道 カンサス—ロスアンゼルス
- 南太平洋鐵道 ニューオルリヤンズ—サンフランシスコ

世界全線の約三割を占め、大陸横斷線も七條に及んでゐる。商船は

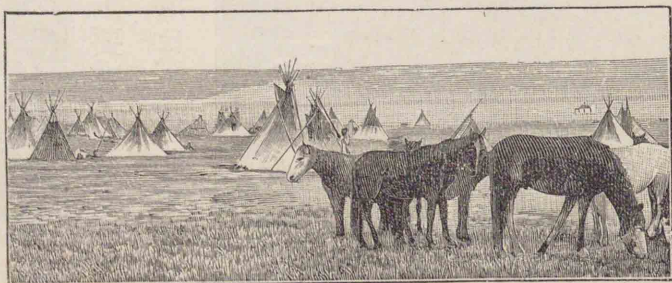
洋横斷線とがある。後者は我が國に支線を通ずる。無線電信も頗る完備し、西岸には我が國と直接通信を交換する局（ポリナス（送信）がある。住民政治 土人たるインディアンは年々その數を減じ、國民の大部分は英人の子孫であるが、他の歐洲諸國から移住した者も多い。東南部

圖 土人の部落
アメリカに最も多く住む土人はインディアンで、天幕は彼等の住居又土圍はその風俗で頭には鳥の羽毛製の裝飾品を戴き衣服は主として獸皮で造る。

ワシントン市の所在地域をコロンビヤ區といひ他の州に屬しない面積は約百六十万方呎ある。

主要領土	
アジヤ洲	フィリピン諸島
大洋洲	グアム島 サモア諸島
南北アメリカ洲	ポートルニコセントトーマス島 パナマ運河地帯

地方には多數の黒人が住み、西部地方にはアジヤからの移民が多く、我が邦人も十三萬に餘るが、今は東洋人の移住を禁止した。國民は自由平等を主義として、貴族の階級がなく、實利金權を尊び、富豪が甚だ多い。宗教は新教が最も廣く行はれ、教育はよく普及して、多くの大學がある。



この地は英國の植民地であつたが、一七八三年に獨立し、その後購求讓渡又は征服によつて、現在の境域となつた。政治は聯邦共和制で、一區（ピヤン）四十八州二地方（ラスカ）から成り、西印度及び太平洋上に廣い領土がある。陸軍は大戰中に著しくその數を増し、海軍の勢力は英國と並んでゐる。

主要都邑	人口(萬)
ニューヨーク	六九三
シカゴ	三三七
フィラデルフィア	一五五
デトロイト	一五五
ロサンゼルス	一三三
クリーブランド	九〇
セントルイス	八二
ボルチモア	八〇
ボストン	七八
ピッツバーグ	六六
サンフランシスコ	六三
バフアロ	五七
ミルウォーキー	五七
ワシントン	四八
ミネアポリス	四六
シンシナチ	四五
セントポール	四五
シヤトル	三七
ポートランド	三六
デニスビル	三〇
デンバー	二八

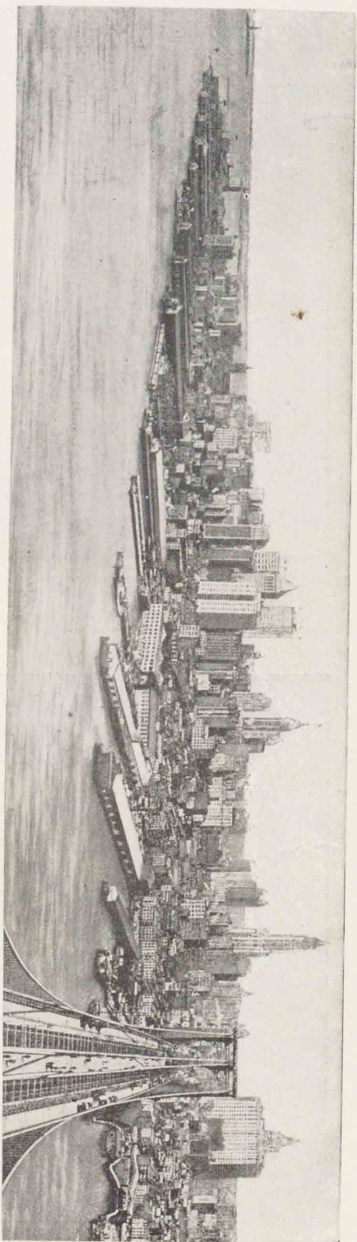
【圖解】ニューヨークの高層建築と街路
上圖は高層建築の一部を示し下圖は市中の交通が頻繁な有様を示す

都邑

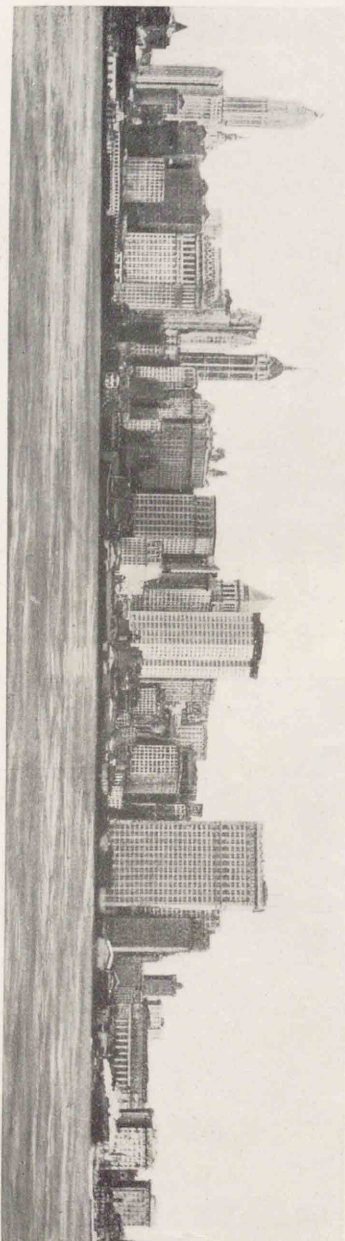
東部地方は最も早く開けた處で、商工業が発達し、繁盛な都邑が多い。ニューヨークはハドソン河の口に跨り、街路が正しく高層建築が多く、港灣が整備する等、何れから見ても本國の代表都市で、世界第一の大都會、世界第一の貿易港である。バタソンは絹織業が盛で、その原料は多く我が國から輸入される。ボストンは主要な商港で、日露講和條約の締結地として知られた。ポーツマス軍港は、その北方にある。フィラデルフィアは有数の商港で、名高い獨立閣がある。ワシントンはこの國の首府で、國會議事堂、大統領官舎(白聖)等があり、清楚な市街である。



中部地方には、ミシシッピ河が流れて、

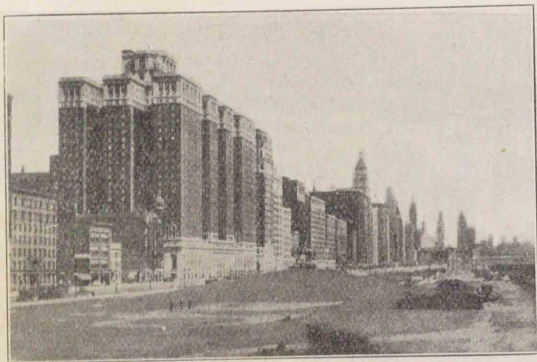


クーヨーエ見た見らから岸東
クンデルベヌーカウルーウがのる見えに左の橋ブリクアルアは橋で景光た見てて隔を河トヌーエ



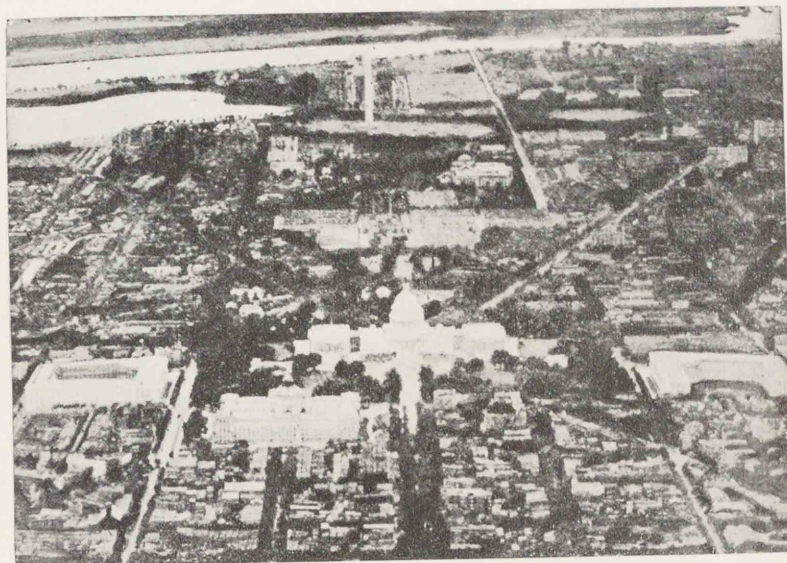
クーヨーエ見た見らから岸西
(米餘十四百二さ高)クンデルベヌーカウルーウがのる見えに端左で景光た見よて隔を河トヌーエ

シカゴの市街の誇りとするミシガン遊歩道の光景



その沿岸にニュー・オル・リヤン・ス・セント・ルイス・セント・ポール等の河港がある。何れも鐵道幹線の通過點に位し、商工業が發達してゐる。
 ミシガン湖畔のシカゴは、水陸交通の要點にあつて、各種の商工業が盛に行はれ、本國第二の大都會である。デトロイトは自動車の製造、ピッツバーグは製鐵、製鋼に於いて、何れも世界第一の工業市である。
 西岸のサンフランシスコは金門海峽を通じ、太平洋に對する交通の要地を占め、ロスアンゼルスLos Angelesの附近には、活動寫眞の撮影所が多い。シアトルSeattle、タコマTacomaは、共に重要な海陸の連絡地で、此等の諸港は、何れも我が航路を通じ、ポートランドPortlandは木材、小麥の集散が盛である。

日本との關係 幕末の際には、我が開國の指導者となり、日露戦役に當つては、調停の勞を取り、且我が文化の上にも負ふ所が多い。殊に兩國の貿易關係は極めて密接で、我が貿易額の三分の一は、この國との間に取引され、我が商



シロントンの下
 中央は聯邦議事堂、右左は院上と院下、稍前の左は圖書館



シカゴ大學生
 空中から下瞰した光景は如何にも然しと崇高な趣がある

セントローレンス河の凍結
河面は悉く凍結して遊
戯場となつてゐる

カナダ
面積
約九一九萬方
人
約一〇三七萬



船は常に往復し、西部海岸地方には、十三萬餘の我が移民があつて、富源の開発に努めたが、近年我が移民の渡航は禁止された。

第三章 北部北アメリカ

カナダの外、アラスカ、グリーンランド等を含む。この地方に最も早く植民したのはフランス人であるが、今はセントピエール・ミクロンSt. Pierre Miquelonの二小島に、當時の名残を留めるのみで、大部分を占めるカナダは英國に属し、アラスカはロシアの領土であつたが、米國に譲渡され、グリーンランドは、デンマークの統治を受けてゐる。

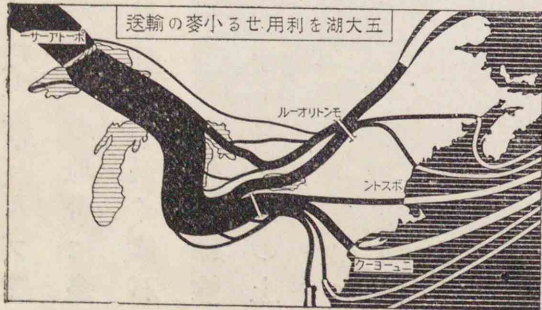
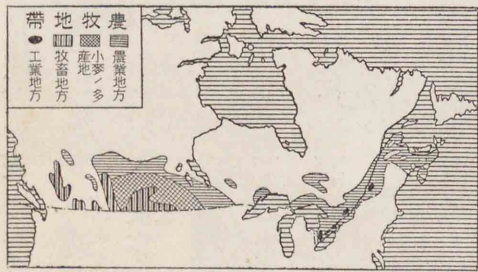
地形 カナダは米國と同じく東・中・西の三部

に分れる。東部は古い高臺が連つて、セントローレンス河が此處を貫流し、中部は低平で、五大湖を始め氷蝕による湖水が多く、マッケンジー河は多くの湖水を連ねて北流する。西部にはロッキー海岸の二山脈が並走して、廣い山地を作り、海岸山脈中には、壯大な火山が多い。この火山帯は、アレウト諸島を経てアジヤ洲の東岸を通ずる。

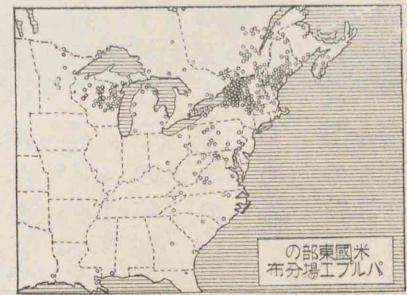
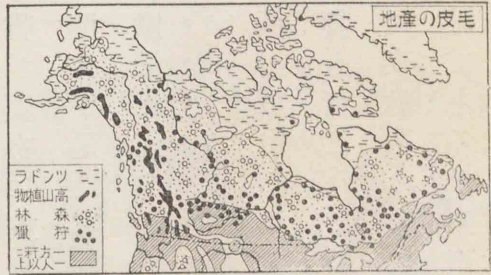
三面に海を控へてゐるが、北岸は酷寒の爲に利用が少い。セントローレンス灣は、重要な内陸水路に連つて、この地方の表口となつてゐるが、夏は霧が多く、冬は凍結の缺點がある。西岸は山勝ちであるが、良港もあつて、東亞南洋に對する門戸である。

氣候産業 海流の關係で、西岸は東岸よりも氣温が高く、雨量も多い。内地は大陸性で、南から北に草地、森林、凍原の諸帯が順次に並んでゐる。草地帯は開拓が進んで、春小麦の産が多く、歐洲に對する穀倉の一で、ウイニペグWinnipeg、ポートアーサー等はその集散積出の中心である。又牛、羊等の飼養も行はれて、酪業が盛である。

森林帯の大部は、毛皮獸の狩獵地であるが、東南部と西南部には、



カナダは我が國から北米を経て歐洲に至る最捷路で横濱からロンドンまで約二十三日で達する



伐木が盛に行はれ、木材・パルプ等の産が多い。鑛産もこの地帯に多く、ニッケル・銀等は殊に名高く、鐵石炭の埋藏も豊であるが、採掘は餘り進んでゐない。ユーコン河の上流には、有名な砂金の産地クローンダイクがあつて、ドーソン市の發達を促したが、近年産額が激減した。水産は極めて豊富で、西部の河川(フレザー)と、東部の海岸(鯨・鱈)とは、漁獲が殊に多く、大湖の白鱈も亦有名である。

交通はカナダ太平洋鐵道・カナダシヨナル鐵道があつて、東西の兩洋を連れ、西岸のバンクーバー・プリンスルパート、東部のモントリオール・ケベックは、その門戸に當り、ハリファクスは不凍港である。

住民政治 住民の大部分は、英國出の白人であるが、東部には佛國



ラブラドル地方
四隣寂しき積雪の上をエスキモー族が犬に橇を曳かせて行く



セントジョンの港
ニューファンドランドの漁業根據地で岸に積まれたのは獲得した海豹



カナダの伐材
河面を埋めてゐる多量の木材は春の解氷期を待つて流送される



グリーンランドの海岸
エスキモー民族が特有の船を泛べてある



ジュノーの市街
アラスカ南部の峽湾に臨む港市で
ユーコン上流地方への門戸である

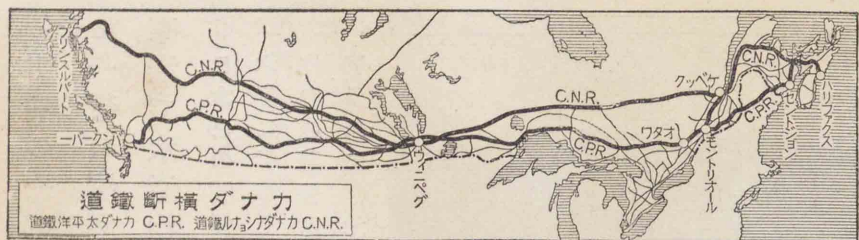


アラスカの下流地方に於ける馴鹿
鹿牧養の光景

主要都邑

都邑名	人口(萬)
モントリオール	八一
トロント	六九
ウィニペグ	三三
バンクーバー	二七
オタワ	一六
ケベック	一三

バンクーバーは横濱を距ること凡そ四千三百哩
エスキモー族の氷屋
エスキモーは夏季には多く遊遊するが冬は定住し氷片を巧に積んで住家を構成する



人の子孫が住み、西部には邦人の在住も少くない。その他エスキモー族インディアン族等の土人もあるが、その数は少い。この地は聯邦制の自治植民地であるが、政治上は本國と對等で、諸外國と大公使を交換してある。

都邑 西岸のバンクーバーは、東亞に對する要港で、對岸のビクトリアと共に、我が國と關係が深い。トロントは湖上交通の要地を占め、盛大な商工業市である。ケベックは早く開けた都邑であるが、モントリオールに繁盛を奪はれた。モントリオールはカナダ第一の都會で、オタワは政廳の所在地である。

ニューファンドランド Labrador



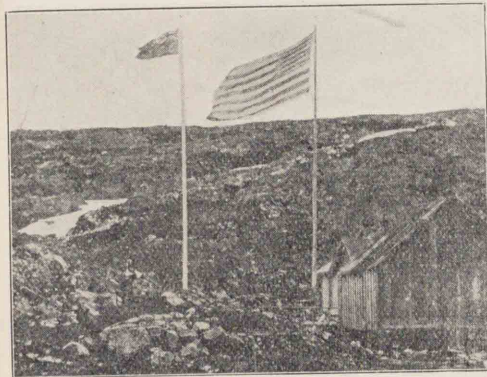
ル半島の一部と共に、別に一箇の自治植民地となつてゐる。島の南方に一帶の淺瀬があつて、鱈・鱒等の漁獲が多い。首府セント・ジョンズは不凍港で、水産物の取引が盛である。

日本との關係 新大陸中、我が國と海路が最近く、二萬餘の同胞が在住して漁業、伐木等に従事してゐるが、排日の風潮が盛で、今後の移住は困難である。貿易に、交通に、彼我の關係は益々密接を加へ、英國の領土ではあるが、公使を交換するに至つた。

アラスカ 米國の一地方で、ジュノーに知事が駐在する。土地は未だ開けないが、河川及び近海には魚族が多く、鑛産(金・銀・銅)もあり、又近年馴鹿の飼養に成績を擧げてゐる。プリビロフ島は臘納獸の群棲地で、アレウト諸島のダッチ・ハーバーは、軍事上の要地として注目されてゐる。

グリーンランド 世界第一の大島で、大部は氷原に被はれてゐるが、西南部にはエスキモー族が住み、デンマークの支配を受けてゐる。

圖解 アラスカの國境
或間隔に金屬製の柱を埋め其處に國旗が建てられてゐる



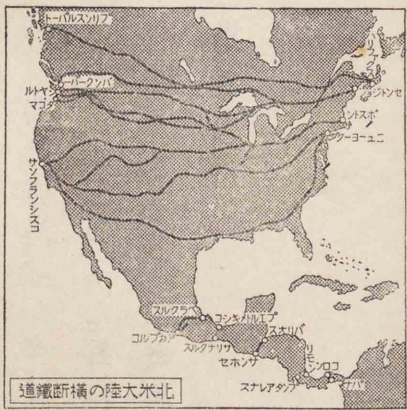
入總説 (其二)

産業交通 土地が廣く、人口が少い爲、機械を

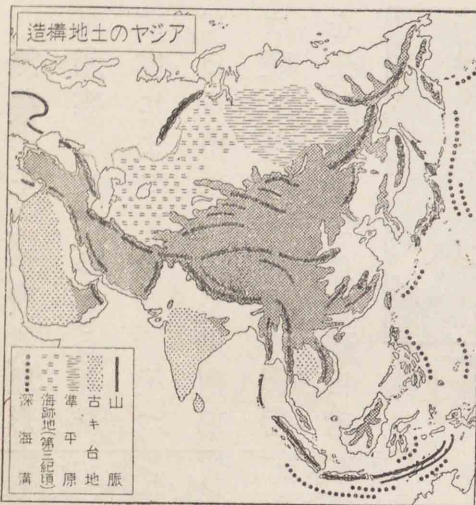
應用して大量生産を行ひ、殊に中央平野は大農牧地で、その産物は歐洲を養ひ、東西の高地は盛に木材を出し、鑛産・水産等も亦豊富な上に、資力も充實してゐるので、商工業の發展も目覺しい。

鐵道網は、米國の東半分からカナダの東南部にかけて最も發達し、河湖の水運と相待つて、内陸と海岸とを連絡し、大陸横斷の鐵道も大小十餘條を數へるに至つた。海運は歐洲との間に最も頻繁であるが、パナマ運河の開通は、本洲の東岸と東亞・濠洲との連絡を容易ならしめ、海底電線無線電信等の通信網も、殆ど完備に近づいてゐる。

住民國狀 固有の土人は、インヂアン族とエスキモー族とであるが、現住民の大部分は移住したヨーロッパ人種で、北部にはチウトン族、南部にはラテン族が多い。その他東南部には、黒人の子孫が住んで、經



面積 約四三七〇萬方
 人口 約一〇億
 (世界人口の二分の一)
 アジヤとヨーロッパとは一大陸をなしてゐるから之をユーラシヤと呼ぶことがある
 通常ウラル山脈・ウラル河・裏海・コーカサス山脈を歐・亞の境界とするが政治上の區劃は之と一致しない

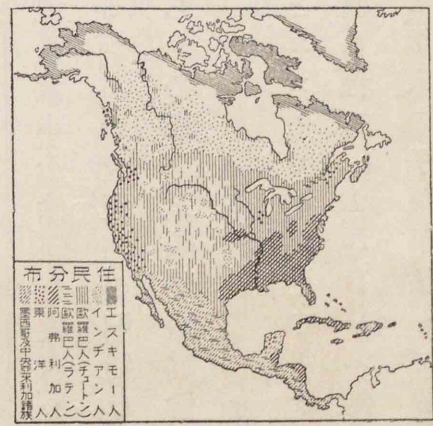


第六篇 アジヤ洲
 (Asiat(亞細亞))
 總說 (其一)

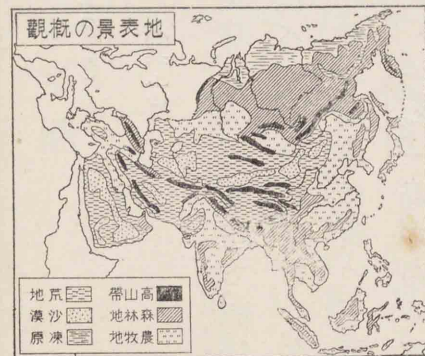
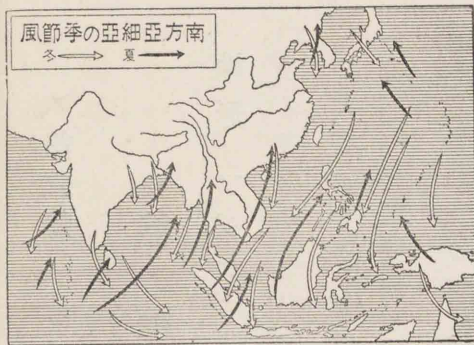
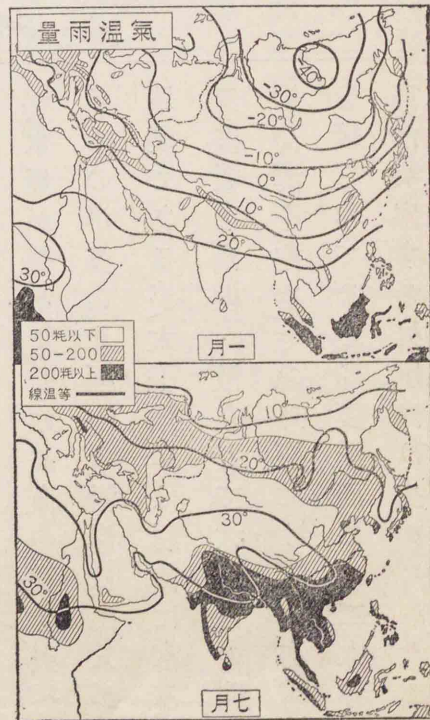
地形 アジヤは世界最大の大陸で、面積は全陸地の約三分の一を占める。洲の殆ど中央にパミル高原があり、多くの山脈が此處から四出して大高地帯を作り、その周邊に廣い平野や、古い地塊から成る大半

島がある。河川は主として三斜面に分れ、水量が豊富で、交通灌漑の利を與へるものが多い。北極海の沿岸は、出入が單調であるが、太平洋岸は屈曲に富み、又多數の島嶼が散在して、大陸との間に海灣を抱き、その外縁には、深い海溝を繞らしてゐる。印度洋面には、二大半島が突出する外、屬島は少い。

濟的に重要な位置を占め、西部の地方には、東洋からの移民も少くない。
 本洲はもと歐洲諸國の植民地であつたが、次第に母國から離れて獨立國となり、今はカナダ・西印度諸島の一部等が、他國の領土として残るのみである。中でもアメリカ合衆國は、國勢の進展が實に著しい。
 日本との關係 太平洋を隔てて相對し、我が航路の寄港地が多く、殊にパナマ運河の完成は、我が商品の輸送に多大の便を與へた。邦人の各地に在住する者は頗る多いが、處によつては、排斥の風潮が盛となり、或は全く禁止されるに至つたのは、遺憾に堪へない。



氣候 土地が廣く、地形が錯雜してゐるから、氣候は處によつて著しく違つてゐる。南部は暑く、東南部は暖で、共に季節風の影響を受け、雨量が多い。殊に南部に



は、世界の最多雨地があり、熱帶性森林が茂つて、象、犀、虎、鱷、大蛇等の巨大な動物の棲む處もある。内部は大陸性で、西南部に續く廣大な沙漠帯をなしてゐる。北部は寒氣が強く、極北の一

帯は凍原となり、東北の一部は世界寒極の一に數へられる。

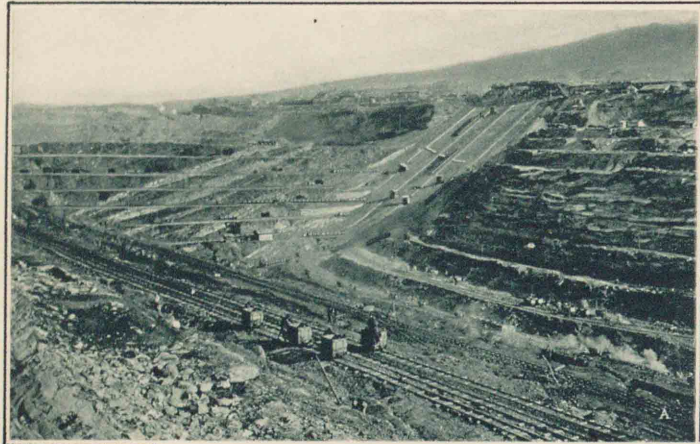
區分 本洲はアジア人種の本據地であるが、南部・西部にはヨーロッパ種の民族が多く、東南部にはマレー人種の住んでゐる處もある。原住民は概勢力が微弱で、我が國の外には完全な獨立國はなく、土地・人民の大部分は、歐米諸國の勢力に屬してゐる。本書は便宜上、之を左の諸地方に分ける。

- 東部アジア 滿洲國及び關東州 支那(中華民國)
- 南部アジア 印度支那 マレー諸島 印度及びセーロン島
- 西部アジア イラン地方 西部地方 アラビヤ半島
- 北部アジア シベリヤ 中央アジア及びコーカシヤ

各 說

第一章 東部アジア

滿洲國及び支那(中國)の地域で、日本と共に東亞の要部を占め、本洲



撫順炭田の露天掘
階段状に掘下げられ多数の運炭車
が頻繁に通つてゐる



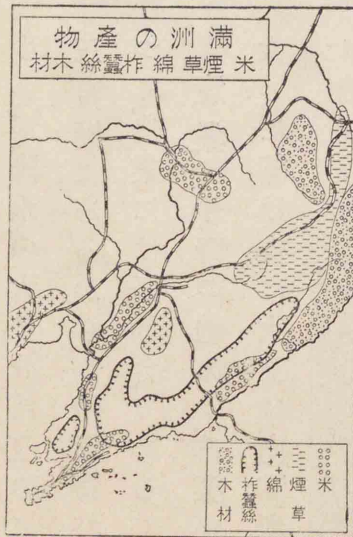
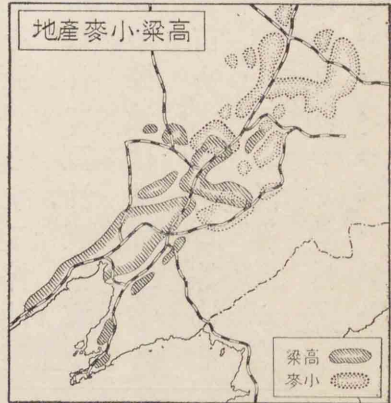
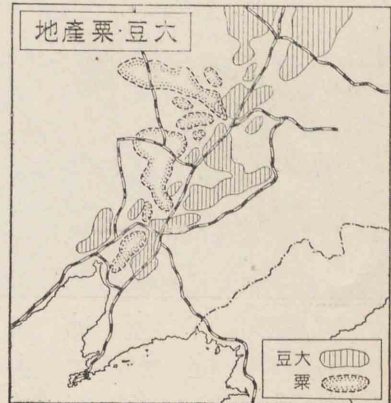
ダイナマイト充填作業
露天掘で夾石や炭層をダイナマイ
トを充填し破碎してゐる光景



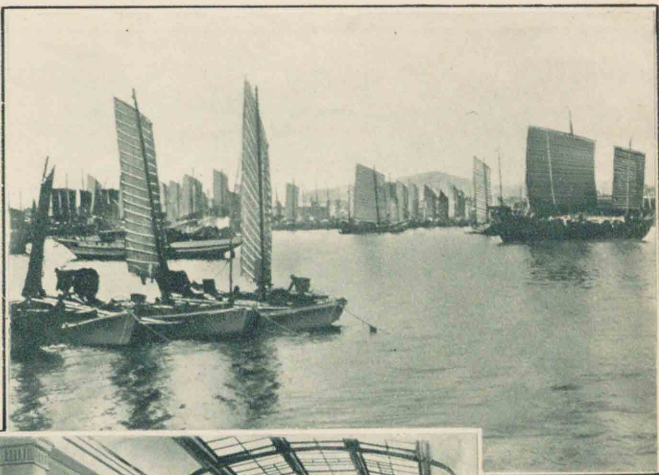
遼陽の白塔
世界的に名高い白塔で今は塔の附
近一帯が公園となつてゐる

興安嶺にも稍見
るべき林地がある

煙草・麻等を産し、遼東半島には、柞蠶絲の特産がある。滿洲人は家畜を
馴らすことに長じ、農家は、大抵副業として、豚・羊・馬・牛・驢等を飼ひ、西部には遊牧が行はれる。
鴨綠江・松花江等の流域には、廣い原生林があつて、多く木材を出し、安東・吉林はその集散の中心である。



天等にはその大工場がある。この他高粱・主蜀黍・粟等の産が多く、近年米の耕作が盛となり、甜菜の栽培も行はれる。又吉林地方からは、



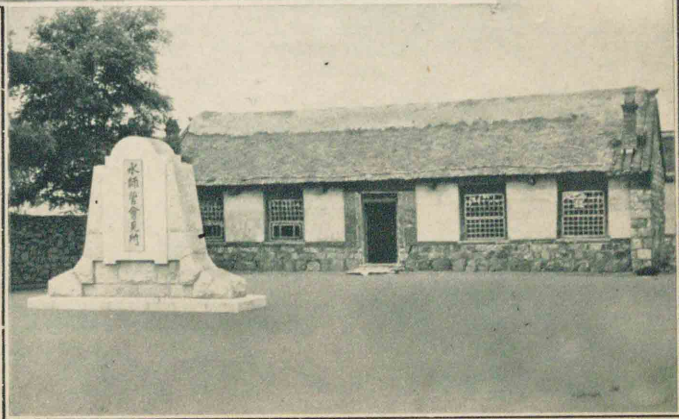
大連の大山埠頭

俗にロシア波止場といはれ常に多数の戎克が集り千楹林立の偉觀を呈してゐる



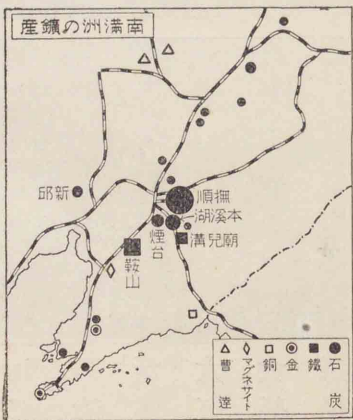
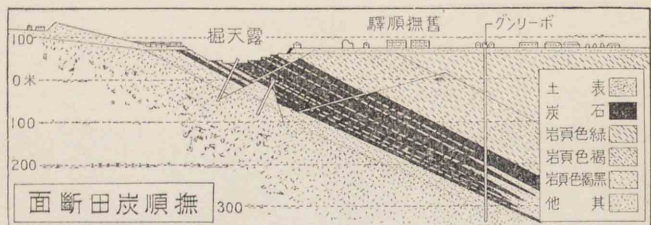
大連の待合所

船客待合所は五千人の收容能力を有する大規模なものでその施設は世界有數である



水師營の會見所

關東州の實權が我が國に屬した基はこの茅屋に於ける日露兩將の會見である



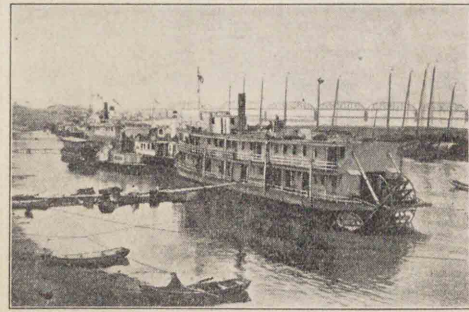
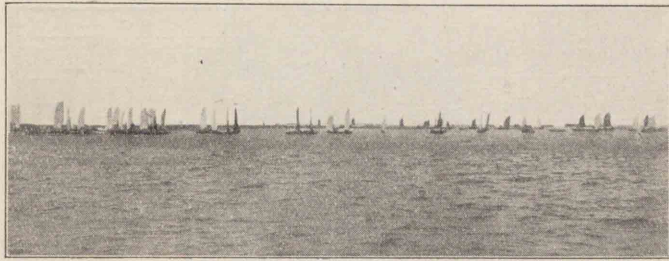
礦物の埋藏が甚だ多く、石炭はその首位を占めて、撫順、煙臺、本溪湖等から産し、中でも撫順は、世界屈指の大炭田で、露天掘に名高く、その炭層を被ふ油母頁岩からは石油を採る。鐵は鞍山、廟兒溝等から産し、鞍山の製鐵所は、撫順の製油所と共に、規模が壯大である。この他、鄭家屯附近の天然曹達、天寶山の銀銅等も著れてゐる。

工業は原料や石炭が豊富な上に、支那人の勞銀が安いので、搾油、製粉、製鐵及び化學工業等が著しく勃興した。貿易も次第に發達し、大連、營口、安東及びハルビン等は、その中心である。主要の輸出品は、穀物、豆粕、豆油、石炭、鐵材等で、輸入は綿絲、布、絹及び毛織、砂糖、機械類等が多く、取引は日本が第一である。

各
大連の待合所

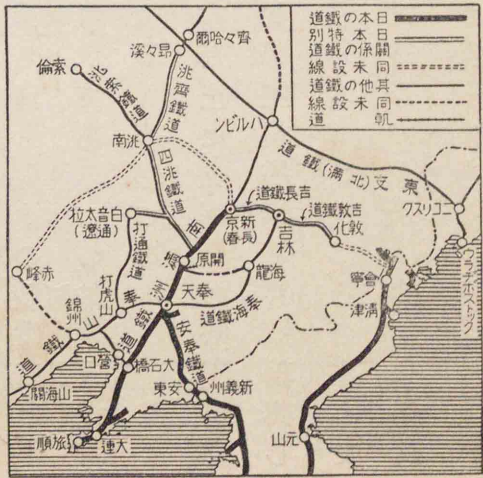
- 1 大連・新京間
- 2 滿洲里・ボグラ
- 3 ニチナヤ間
- 4 ハルビン・新京間
- 5 奉天・安東間
- 6 奉天・山海關間
- 7 四平街・洮南間
- 8 洮南・齊々哈爾
- 9 新齊・吉林間
- 10 吉林・敦化間
- 11 打虎山・通遼間
- 12 奉天・海龍間

圖 遼河の帆船
多數の支那船が風を食んで流れる光景



交通 鐵道の幹線は、南滿洲鐵道と東支(北)鐵道とで、奉天から分れる安奉線、奉山線等と共に、旅客郵便物の輸送上、世界幹線の一部となつてゐる。その他、四洮、洮齊、吉長、吉敦、打通、奉海等の鐵道

も敷設されて、交通は益、便になつた。



水運は松花江、遼河の二大水路がある。松花江はハルビン以下に大汽船を浮べ、遼河は河口が浅く、大船の出入は不可能であるが、支那船の上下が盛である。海上航路

圖 蒙古人の住居
北方の海拉爾附近にある部落

漢人の移住は年々五六十萬に達し朝鮮人の移住も少くない

興安省は他の省と異なり國務院に隸屬して興安總督がその行政を管掌する

は大連を大中心とし、營口、安東が之に次ぐ。

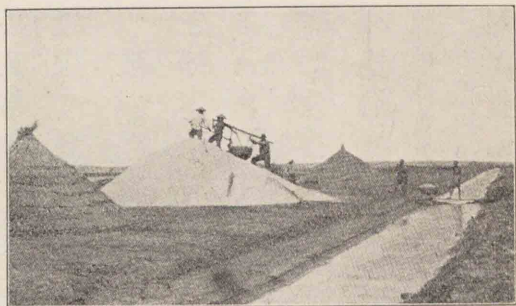
住民 この地の原住民は、嘗て清朝を興した滿洲族(ツング族)であるが、今は移住の漢人が大部分を占め、西部には蒙古族が住んでゐる。この他北部にはロシア人、南部には内地人、朝鮮人の在住が頗る多く、南滿洲鐵道の沿線には、日本人の市街が處々に建設せられ、各種の學校も出來てゐる。

政治 滿洲國は立憲共和制を採り、元首を執政と呼ぶ。政府の組織は立法院(會議)、國務院(府政)、法院(裁判)から成り、外に參議院(樞密院)に似てゐる。地方は奉天、吉林、黑龍江、熱河、興安の五省に分れて、各省に省長を置く。關東州は我が國の租借地で、關東長官の統治に屬する。



この地方は、嘗てロシアの勢力範圍となり、彼は遼東半島の一部を租借して、軍事上の根據地としたが、日露戦役の後、その租借權を我に譲り、南滿洲及び東部内蒙古に於ける我が國の特權を認め、北滿洲のみを勢力圏とするに至つた。我が國は關東州

鹽田
鹽を野積にしてある光景で鹽の丘の上には屋蓋を葺いて濕氣を避ける



を租借せる外、南滿洲鐵道の經營、鐵道附屬地の管理經營、鐵道、鑛山、森林への投資、土地の商租(地價)、居住往來の自由等、各種の利權を得てあるが、支那は之を無視して、横暴の振舞が多かつたので、終に滿洲事變が起り、滿洲國の獨立ともなつた。

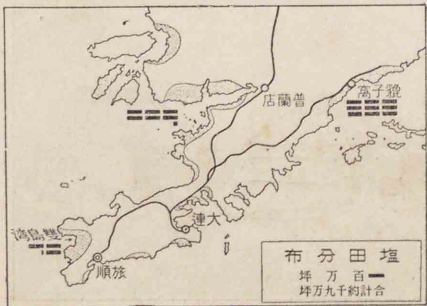
地方誌

關東州 遼東半島の南部を占め、滿洲平野の重要な門戸である。土地の殆ど全部が丘陵性で、農産は

住民の九割は漢人で内地人は十萬餘に過ぎない

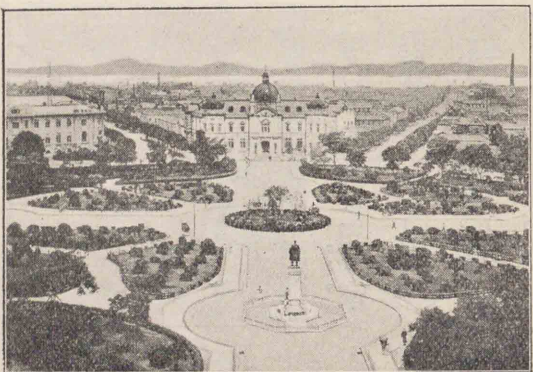
主要都邑 人口(萬)
大連 二二
旅順 三

鹽が盛で、貔子窩、普蘭店、雙島灣等には鹽田が多い。住民の大多數は漢人であるが、都會には内地人が多く、建築風も殆ど内地の市街と變らない。
大連市は壯大な近代的都市で、十條の街路が廣場を中心として射出し、港灣の施設も完備して、



大連・門司間の航通は約二晝夜を要する

大連の大廣場
大廣場から街路の射出してある光景



東洋屈指の商港である。搾油(油業)その他の工業も行はれ、又南滿洲鐵道の大工場(沙河)がある。旅順市は丘陵に囲まれた天然の良灣に臨み、關東廳工科大学等がある。この附近には、日清日露の著名な戦蹟が多い。金州は金福鐵道の分れる處である。

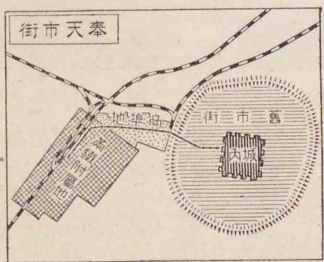
滿洲國(奉天省)

天は清

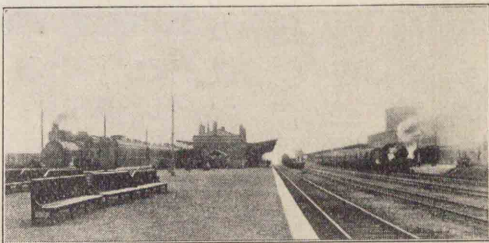
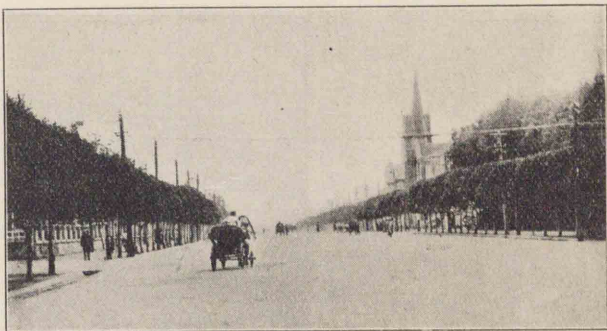
主要都邑 人口(萬)
奉天 四〇
ハルビン 三一
吉林 一九
安東 一四
新京 一三
營口 一一

奉天の市街
新市街の停車場前の光景で洋風の建築が堂々として列んでゐる

朝の舊都で、今は滿洲の最大都會である。市街は城内(舊市)商埠地、新市街から成り、交通、商工業の大中心で、貨物の集散が甚だ多く、我が滿洲醫科大學も此處



圖解 新京の市街と停車場
 上は新市街の壯觀を示し下は停車場に於ける南滿、東支の兩列車



ある遼陽には名高い白塔があり、營口は遼河の河口に臨む重要な商港である。錦州は支那に對する要地で、連山灣(葫蘆)には築港の計畫がある。安東は鴨綠江材の集散地で、柞蠶工業も行はれる。

その繁榮を奪はれた四平街、公主嶺は、共に交通の要地に發達した新市街で、鐵道の延長につれて、更に内部に鄭家屯、通遼(白拉魯)、洮南等の市街が新に勃興した。

〔吉林省〕 新京(長春)は新に滿洲國の首府と定められた處で、南滿、東支(北)、吉林は松花江材の集散地で、この東方の間島地方には、鮮人の住

圖解 ハルビン市の大觀
 埠頭區の光景で前方に松花江が流れてゐる

む者が多く、龍井、村局、子街はその中心で、琿春は國境の要地である。ハルビンは、ロシアの策源地として勃興した新市街で、商工業が盛に行はれ、伯都訥、三姓と共に、主要な河港である。

〔黑龍江省〕 齊齊哈爾は、嫩江舟運の便があつて農産、畜産を集散し、黑龍江畔の黑河は、シベリヤに對する要地である。

〔興安省〕 海拉爾の附近では處々に牧畜が行はれ、滿洲里は鐵道の要驛である。

〔熱河省〕 東部内蒙古に屬した地方で、熱河には清代の離宮や壯大な喇嘛廟があり、赤峰と共に農産、畜産の取引が行はれる。新邱には我が滿鐵で採掘權を有する炭山がある。



第二節 支那 (中華民國)

面積 約四〇〇萬方軒
人口 約四一〇〇〇萬

て、自治又は半獨立の姿をなし、本國の政令は全く行はれてゐない。支那の軍制では、國民政府が陸軍、海軍、空軍を統率することに定められてゐるが、實際は軍閥の私兵たるに過ぎない觀がある。陸軍の兵數は頗多いが、専ら内争の具に供せられ、海軍、空軍は何れも不振で、殆どその實を有してゐない。

區分 本書は便宜上舊來の區分により、支那本部と、蒙古、新疆、青海、西藏とに分ける。

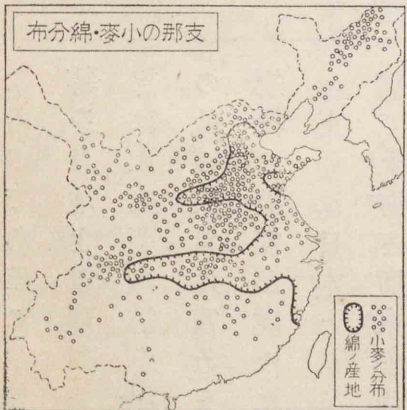
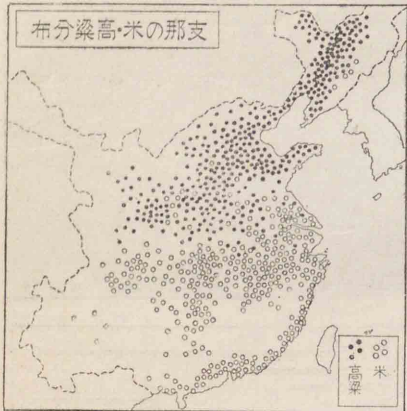
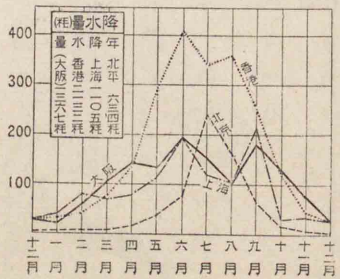
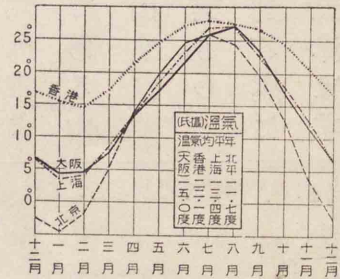
一 支那本部

土地 支那全土の約三分の一を占め、北嶺、南嶺の山地によつて、北部、中部、南部に分ける。海岸は北部に山東半島が出て、遼東半島と共に渤海灣を抱へ、東支那海南支那海の沿岸は、大屈曲に乏しいが、處々に良港を作つてゐる。

氣候 土地が廣いから、氣候は處によつて違つてゐる。南部の平地は、高温、多濕で熱帶植物がよく繁茂し、中部は最も溫和であるが、南部と共に屢々、大風に襲はれることがある。北部は大陸性で、寒暑の差が烈し

く、黄河以北の河川は、冬季悉く凍つて、人馬はその上を往來する。

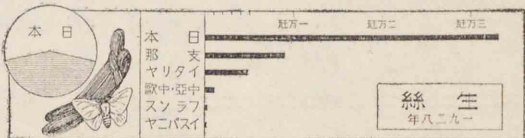
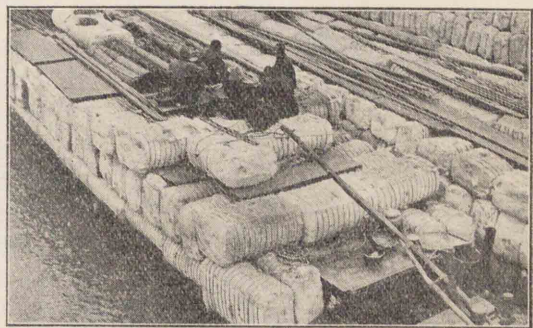
支那本部の大部は、季節風帯に位し、夏に雨が多く、冬は乾燥する。季節風の襲來が後れるか、又は雨を運ぶことが少いと、忽ち旱魃となり、又降雨が過大であれば、河水が氾濫して洪水を起す。黄河、揚子江の洪水は、古來この地方の住民を苦しめたもので、古代の名君が、治水を爲政の大業としたのもその爲である。



産業 住民は農を主業とし、産物の種類が甚だ多く、中でも中部、南部の米、茶、綿、北部の大豆、高粱、小麦、綿等は、最も主要

圖 蘇綿の輸送
天津港内に綿を積んだ民船の集つてゐる光景

四川省にも養蠶が盛である

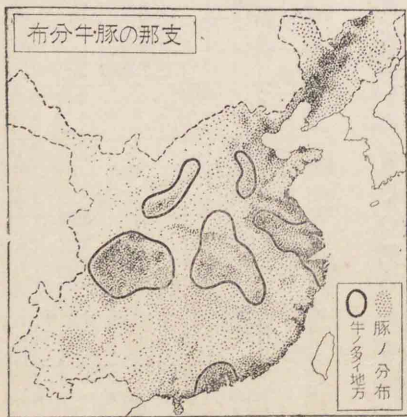


柞蠶絲は織物用として我が國へも来る

豚毛は刷毛用として我が國へも来る

り有名で、杭州はその重要な産地である。山東半島では、柞蠶を飼ひ、柞蠶絲を出す。牧畜は小規模ながら、農家の副業として行はれ、殊に豚は國民の嗜好食物で、到る處に養はれる。北部では羊、牛等を飼ひ、天津は羊

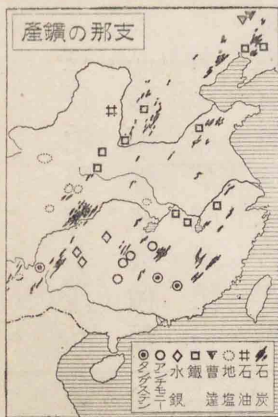
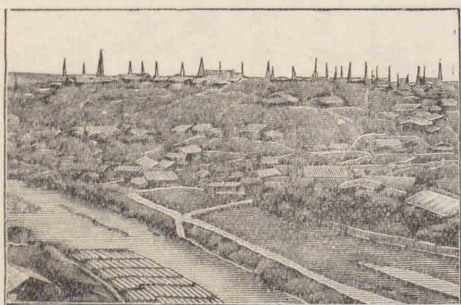
なものである。この他落花生、胡麻、粟、種等を各地より産して、搾油も行はれ、中部は大麻、苧麻等を出し、南部は柑橘その他の果實に富み、又甘蔗を植ゑて小規模の製糖が處々に行はれる。支那は日本と共に世界の二大養蠶國で、上海と廣東とは、生絲輸出の二大門戸である。絹織も古よ



鶏卵は生卵で輸出する外之を以て蛋粉を製する

石油も列國から注目されてゐる

圖 四川の鹽井
重慶・嘉定の地方には處々に鹽水の出る井が多



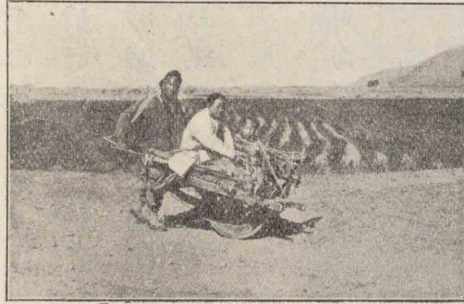
毛の輸出港で、山東牛は、青島から日本へ送られる。中部、北部では養鶏が行はれ、上海、天津から輸出される鶏卵は頗る多額に上る。鑛物の埋藏は多いが、採掘は未だ進まない。而もその多くは外國人の經營に屬してゐる。鐵は大冶(支)を始め、桃冲、鳳凰山(中)、上金嶺(支)等から産し、此等の鑛山は、我が國と特別の關係がある。石炭は開平、灤州、淄川(北)、萍鄉(支)等から採掘され、この他、錫、アンチモニー、水銀、亞鉛等の産も多く、西部山地は食鹽(井、地鹽及)を産する。

手工業は國人の長所で、各種の織物、陶器、漆器、紙等を出す。機械工業の發達は後れたが、近年上海を大中心として、長江沿岸及び天津、青島、廣東、香港(領)等には、紡績、製粉、造船等が行はれ、我が國人も其等の事業に對し、重要

原料供給國でありながら輸入超過が常態である

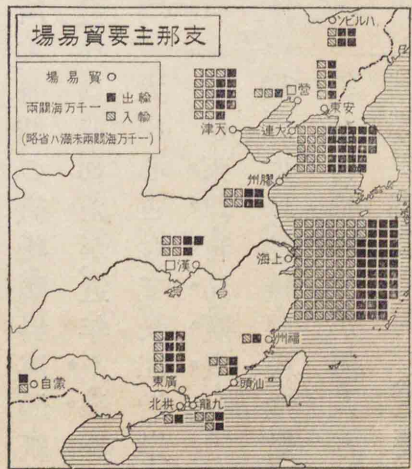
一輪車は中央に一箇の木製車輪をとりつけたもので小徑を行くに便利である

蒙古との間には駱駝が用ひられる



大豆・豆粕等を輸出する。上海と廣東とは貿易が最も盛で、香港を加へて三大中心とし、漢口・天津・青島等が之に次ぐ。この他海岸河岸等には、多數の貿易港があり、國境附近には處々に開市場がある。

交通 中部南部では、河湖の水運が便利な爲、古くから多く舟を用ひ、北部では馱獸を用ひたから、「南船北馬」の語がある。道路はよく通じてゐるが、甚



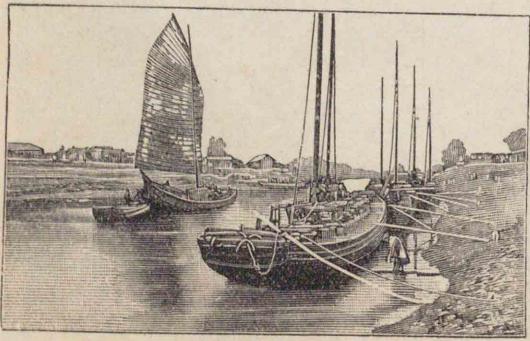
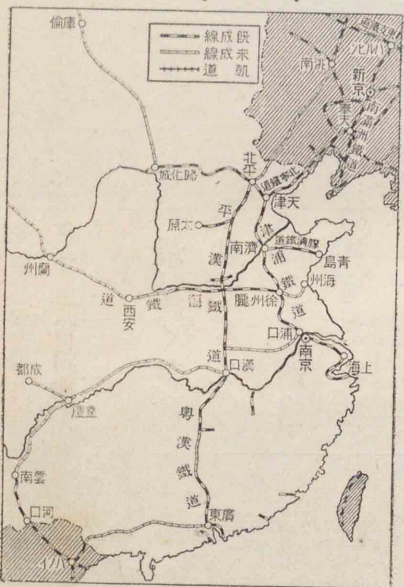
- 1 北平・山海關間
- 2 北平・漢口間
- 3 武昌・廣東間
- 4 天津・浦口間
- 5 青島・濟南間
- 6 北平・包頭鎮間
- 7 徐州・陝州間
- 8 上海・南京間
- 9 雲南・河口間

大運河の大部は隋の煬帝の開鑿した所である

しく荒廢して、多く轎・一輪車等を用ひ、自動車の使用も稍増して來た。鐵道は次第に發達したが、多く外國の資本によつてゐる。北平、平漢、津浦等の諸線は、南北に走る大幹線で、膠濟(東山)平綏、隴海、海、京滬等の諸線は、何れも東西に走り、又雲南(越滇)線は、印度支那の鐵道と連る。

河湖の水運は、揚子江系に最も盛で、珠江も南部の交通を助ける。白河は冬季凍結の缺點はあるが、下流は大船を入れ、又大運河によつて中部と連絡する。

大運河は天津に起つて、杭州に達し、長さ一千二百軒に及ぶ。永く水運の便を與へて、名高いものであるが修





北平の外壁
代表的城市の北平の外壁の高さ六米に餘る



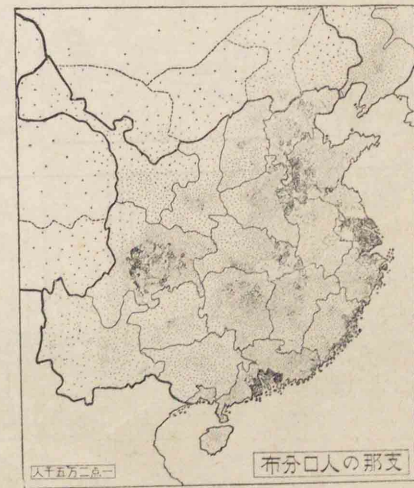
上海の江岸
中樞部のドンパと呼ばるれば方面の偉観であら

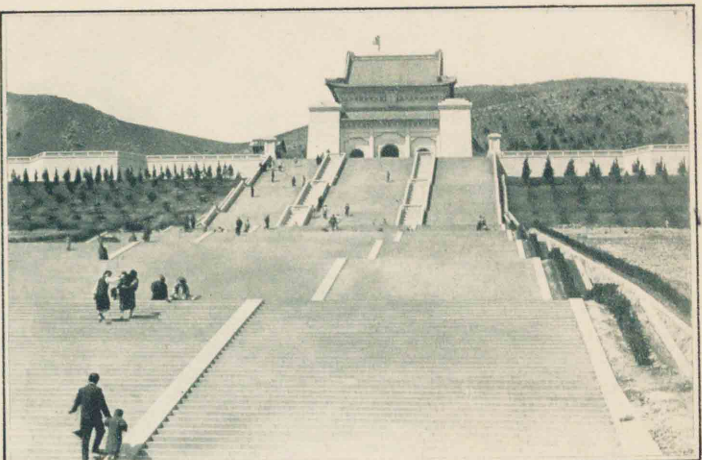
言語は違つても文字は漢族共通である

漢人の言語には方言が多く、標準としてある官話にも、尙數種がある。宗教は儒教・道教・佛教等が行はれ、孔子の教が専ら、道德の標準となつ

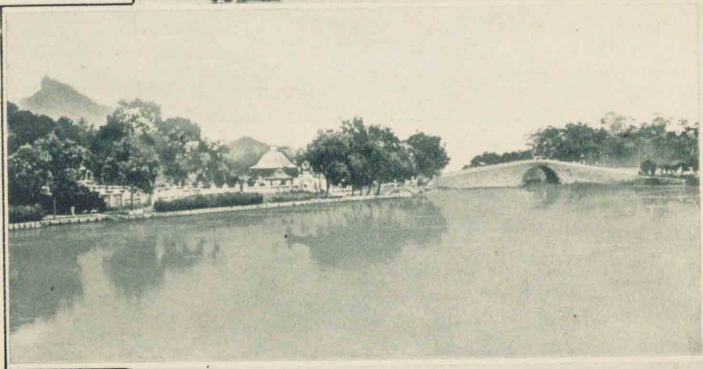
は、支那人の移住を禁じた處が多い。
漢族は性質が勤勉で、營利上の團結心に富み、海外に出稼する者が多く、その南洋地方に於ける者は、華僑と呼ばれ、經濟上に勢力を持つてゐる。厦門・汕頭・香港は、移民出船の盛な處である。然し支那移民の弊として、貨殖の爲には、如何なる職業も勞役も殆どせず、白人勞働者と競争の位置にあるから、彼等に嫌忌され、白人の植民地では、支那人の移住を禁じた處が多い。

少數の富豪の外、大多數は貧窮の農民である。
外國航路は、日英の船が最も多く就航し、上海・香港はその二大集點である。
住民 少數の原住民(苗族その他)が西南部に住む外は、大多數は漢族である。彼等は、現在支那の實權を握つてゐるが、少數の富豪の外、大多數は貧窮の農民である。





南京の中山陵
三民主義の始祖孫文の廟所で、墓は門の奥に半球状に築かれてある



西湖の西冷橋
湖中の小島孤山へ通ずる橋で、この邊の景趣は湖畔の最といはれる



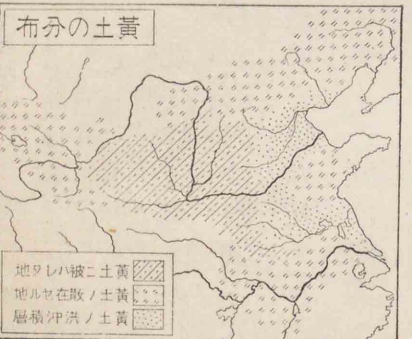
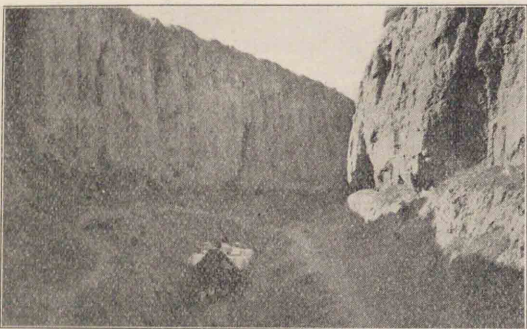
漢口の埠頭
漢江が長江と合する北岸を占め江畔第一の商港である

てゐる。學問は夙に發達したが、古聖の遺書を教へるのみで、科學研究は進んでゐない。近年文明國に模して、教育制度を改め、文化の開發を計つてゐる。古來の弊習である女子の纏足は次第に廢れて來たが、阿片吸飲は、尙容易に改らぬ。



處誌〔北部支那〕 主として黄河・白河の流域

黄土の堆積
堆積した黄土が浸蝕されて溝道を作り兩側は幾十丈の斷崖をなしてゐる



を占める六省(河北・山東・山西・河南・陝西・甘肅)の地で、之を地理的に分けると、北支那平野・山東半島・黄河中流の地方・西部山地の四區となる。
黄河は支那第二の大河で、その沿岸は支那文明の發祥地であるが、洪水の爲に古來屢、河道を變へ、水運の便は割合に少い。この流域には、黄土が堆積して厚

主要都邑

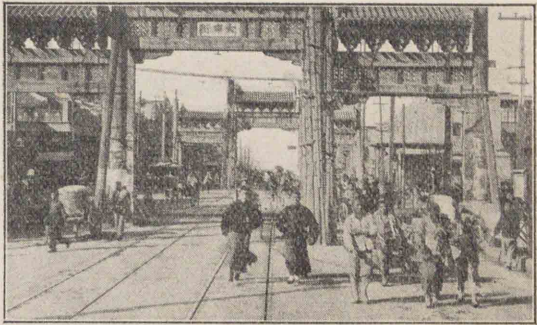
上海	漢口	北京	廣州	天津	寧波	長沙	武漢	蘇州	重慶	成都	安慶	南京	濟南	開封	無錫
一五〇	一四〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇

北平の大通

市中の最も盛んな繁華の光景である

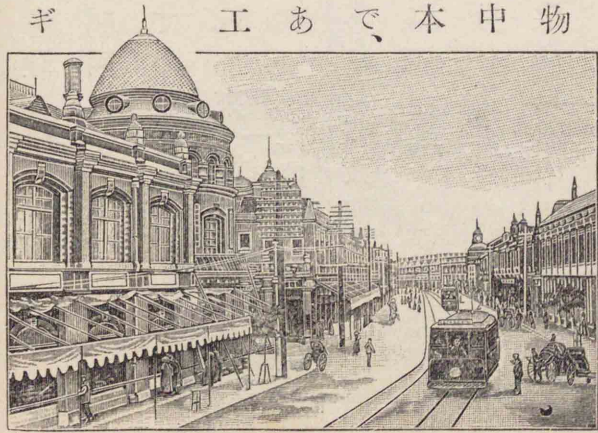
天津の新市街

日本租界旭街の盛況を示したものである



北郊に林苑殿閣の壯麗で名高い萬壽山がある。天津は北支那の門戸に當る商港で、新式工業も行はれ、秦皇島は渤海灣の不凍港で、開平炭の積出港である。

山東半島は形勝の位置を占めるから、イギリスは威海衛を、ドイツは膠州灣を租借してゐるが、今は何れも關係がなくなつた。北部の芝罘は、榨蠶工業の中心である。

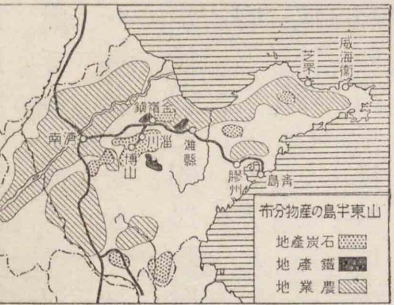


層をなし、河水が之を流す爲に、その水は常に黄濁し、又その浸蝕による峡谷は、交通路に利用され、潼關(西陝)函谷關(南)等の峽道は、その著しいものである。

北平は支那式の代表都會で、壯大な城壁を繞らし、廓内は内城と外城とに分れる。内城には舊皇城を始め壯大な建物が多く、外城は商業の中心となつてゐる。永く本國の首府であつた處で、

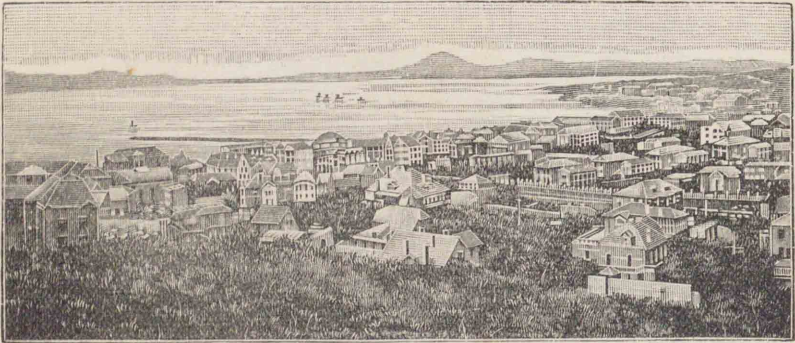
ドイツは膠州灣に青島の港市を經營して、東洋に於ける根據地となし、鐵道を敷設し、附近の鑛山を採掘する等、その勢力は殆ど半島の全部に及んでゐたが、大戰講和の結果、此等の利權は、悉く我が國に移つた。後に我が國は膠州灣を支那に還附し、英國も最近に威海衛を還附した。

青島は大連に比すべき大商港で、農産物の輸出が多く、此處に起る膠濟鐵道は、濰縣、周村等を連ねて濟南に至る。濟南は政治經濟の中心で、南方に古來著名な泰山や孔子廟のある曲阜がある。



青島は大連に比すべき大商港で、農産物の輸出が多く、此處に起る膠濟鐵道は、濰縣、周村等を連ねて濟南に至る。濟南は政治經濟の中心で、南方に古來著名な泰山や孔子廟のある曲阜がある。

青島の大觀

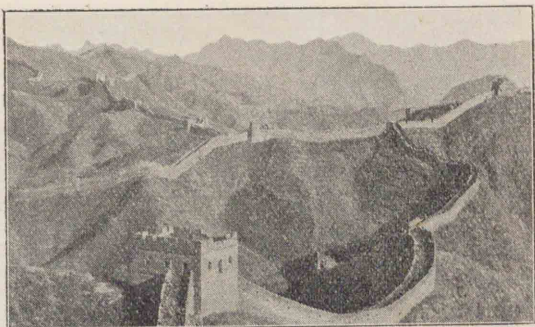


キヨクフ

開封

南京を首都、洛陽を行都、西安を陪都と呼ぶ

圖 萬里長城
秦の始皇帝の修築したものでその後も修繕増築が加へられた



は黄河の屈曲點にあつて、古來屢々水害を蒙つた處である。西方の河南は、一に洛陽といひ、西安は一名を長安といふ。何れもこの國の舊都であるが、最近に國民政府はこの兩市を南京と共に首府とすることにした。西部山地は、經濟上の價値は著しくないが、古來國防上重視した處で、名高い萬里長城は、渤海の沿岸(關山海)に起り、約三千料を距てた甘肅省の西部(關嶺)に達する。

〔中部支那〕 主として揚子江の流域に屬する八省(江蘇、浙江、安徽、江西、湖南、湖北、四川、西康)の地で、各種の産物に富み、經濟上の中樞となつてゐる。之を地理的に分けると、揚子江下流の平野、中流の諸盆地、四川盆地、西部山地の四區となる。

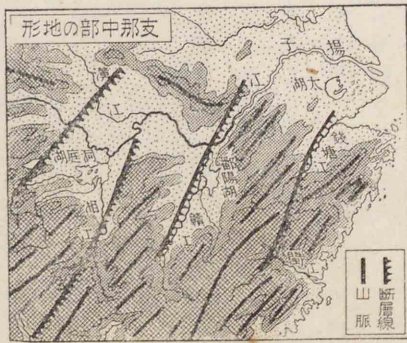
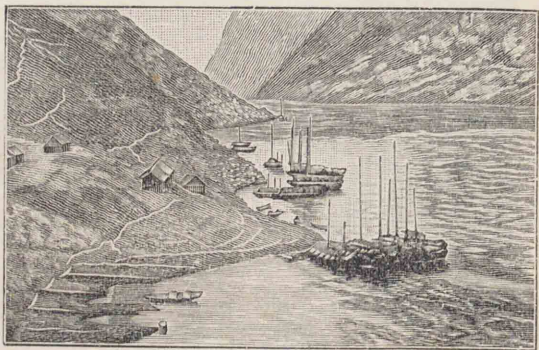


圖 揚子江の峽流
宜昌の上流にある峽流で民船の通航には多くの人が竹綱で曳く

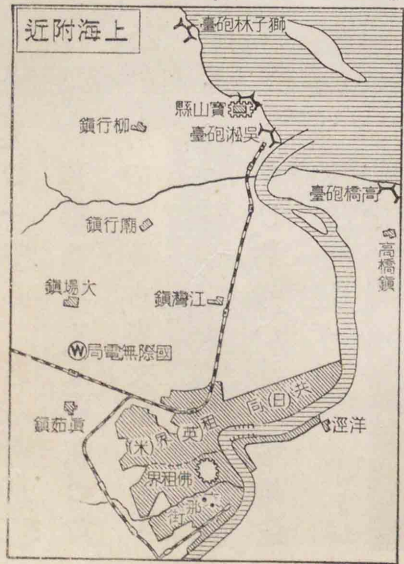


揚子江は支那第一、世界第四の大河である。漢江を始め大支流が多く、洞庭湖、鄱陽湖等の水も亦之と連る。流域は支那本部の半を占め、舟楫灌漑の便が多く、漢口(千五百里)までは洋航船も溯り、宜昌(四百六十里)までは一千噸の船が溯る。宜昌の上流には所謂三峡の嶮があつて、危険は多いが、五百噸の船は重慶、叙州(叙州は宜昌から九百六十里)に至り、民船は成都へも達する。この河系には上海、漢口を始め開港場が多く、我が日清汽船會社は、處々に定期航路を開いてゐる。

(1) 揚子江の口に近い上海は、水陸交通の要地を

占め、支那最大の商工都市で、生絲、皮革、茶、絹

織等の輸出が多く、各種の新式工業も盛に行はれる。吳淞は市の一部で、附近の廟行鎮は、我が三勇士の義烈に名高い處である。蘇州は附近に名勝が多く、無錫、鎮江等と共に、養蠶機



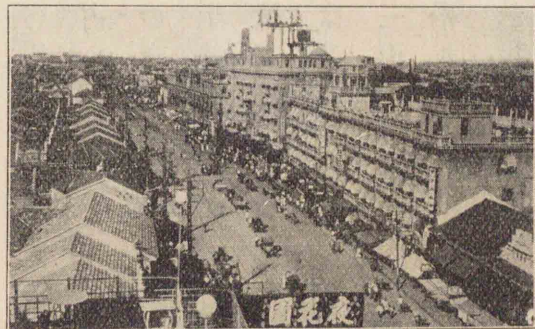
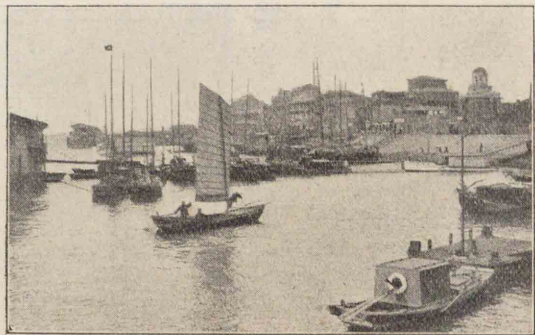
蘇州は吳の舊都で附近に楓橋・姑蘇山・寒山寺等の名地がある

南京は三國時代の
建業、明代の應天
府である

南京の埠頭
商業區である下關の光
景で揚子江を上下する
船の發着地である

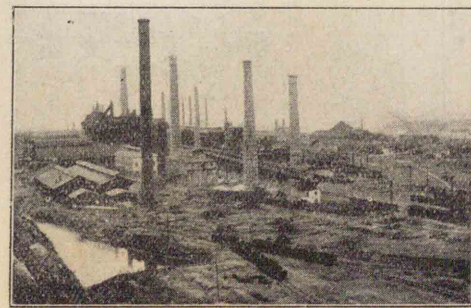
漢口の市街
新市街の光景で堂々た
る建築物が並んである
錢塘江の河口は海
嘯の奇觀で名高い
杭州の東南に當る
紹興は紹興酒の名
産地で南方の温州
は蜜柑の産がある

製鐵所
漢陽にある漢冶萍鐵
公司製鐵所の大觀



業の一中心である。南京（寧江）
は舊都の地で、又現在の首
府である。古來文雅の地と
して名高く、その港を下關
といひ、對岸の浦口と鐵道
連絡船を通ずる。

杭州
は勝景
で知ら



れた西湖を控へ、屈指の商工都市で、絹織物を多く
出し、寧波は昔時我が國と交通上の要地であつた。
揚子江と漢江との會流點は、軍事上交通上の要
地で、此處に漢口、漢陽、武昌の三市が鼎立し、江畔第
二の商工業區をなしてゐる。漢口は貨物の集散が



福州の船部落
南支には蛋族の水上生活を營む者
が多く圖はその一部の光景



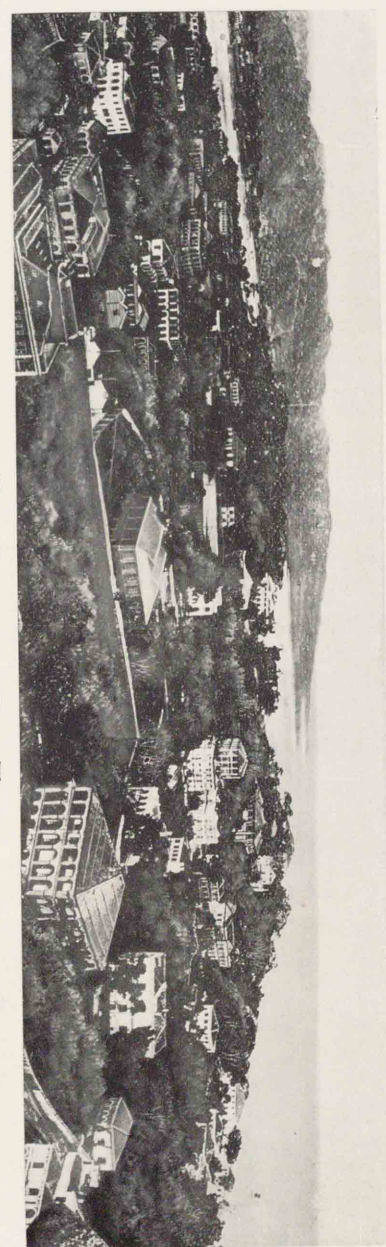
珠江と廣東
水面には多數の船が浮び、江岸には
大廈高樓が列んでゐる



雲南の市街
三千餘米の高原上にあつて市内は
廂の長い木造家屋が列んでゐる



觀 大 の 港 香
るあで島半龍九はのるえ見に透てて隔を海でヤリトクは街市い近



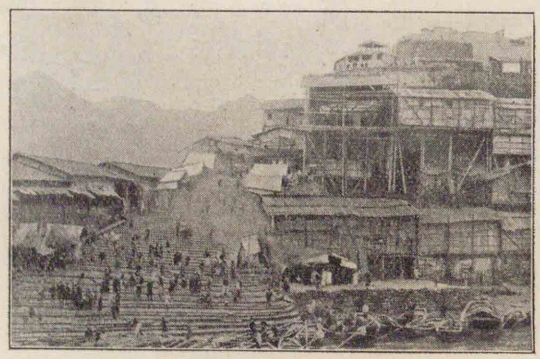
觀 景 の 門 厦
るあでし在點が館洋に中き深陸維で觀景の界相英るれはいと土築の支南

盛に行はれ、漢陽には製鐵所がある。九江は茶の輸出が多く、景德鎮は陶器の名産地である。岳州は洞庭湖に臨んで風景がよく、長沙と共に重要な港市で、この上流に沙市、宜昌等の商港がある。

③ 四川盆地は自ら別天地をなし、重慶はその門戸に當る。成都は清酒な市街で、絹織を出す。④ 西部山地の打箭爐は、西藏に入る要地である。

〔南部支那〕 大部は南嶺以南にある五省（福建、廣西、雲南、貴州）の地で、珠江、閩江等が此處を流れる。この地方を地理上から分けると、閩浙海岸、珠江流域及び雲貴高原の三區となる。

① 福州は東北の三都（汕頭、廈門、福州）の輸出が行はれ、又汕頭と共に、海外出稼人の輸出が行はれ、又汕頭と共に、海外出稼人



重慶の江岸
江水は季節によつて増減が著しいから江岸には幾百級の石段を設け之に適應せしめてゐる

廣東の江岸
河中の島は公園その周囲の船は華族の水村落である

ビクトリヤ 五五萬

佛國はワシントン會議の際廣州灣還附を聲明した



隊の根據地である。澳門はポルトガルの領土で、昔は繁盛を極めたところがある。廣州灣はフランスの租借地である。

二 西藏・青海・新疆・蒙古

西藏は世界第一の高原で、鎖國主義を採り、住民の多くは喇嘛教を

喇嘛牛
牛の一族で駄用とする
外肉は食用とし毛は織物とする

喇嘛の殿堂
拉薩の郊外にあつて
殿の外金色燦然たる
廟・佛殿・拜殿等が並ぶ

迪化は一に烏魯木齊とも呼ばれる

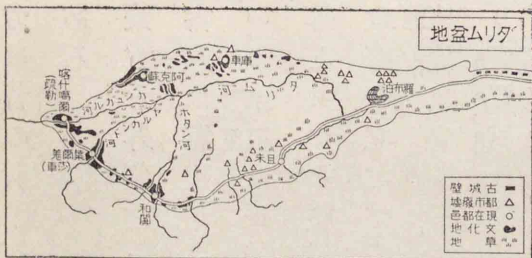
タリム盆地の聚落は多く山麓にある



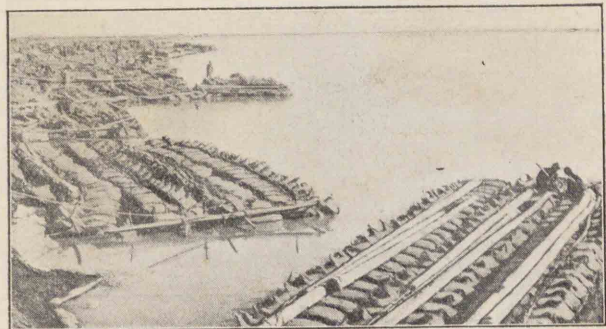
には農牧が稍行はれ、迪化伊犁等はその中心である。南部にはタリム盆地があつて、タクラマカン沙漠を抱き、山麓の河岸地方にのみ農牧が行はれ、西境に

信じ、犛牛羊等を遊牧する。喇嘛教主は英國の助を受けて、政教の權を握り、拉薩には喇嘛教の大殿堂がある。亞東は國境の市場である。青海も一帯に山地で、住民は多く遊牧を營む。近時支那の一省となつた。

新疆は天山山脈によつて南北に分れる。北部



庫倫はウランブト
ルハトと改稱した
獸皮の筏
牛又は羊を丸剥にした
皮囊を列ねた筏でこの
上に獸皮・獸毛を積ん
で運搬する



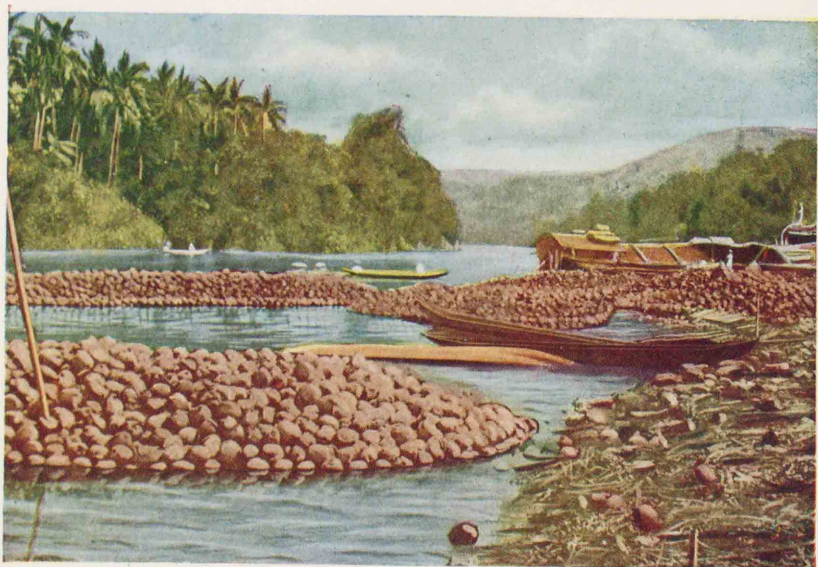
喀・什・噶・爾の要地がある。この地方は昔の所謂西域で、近年沙漠中から、
その舊址の發掘されたものがある。

蒙古は、ゴビ沙漠によつて、内蒙古と外蒙古とに分れ、内蒙古の移住
漢人は、農業を營んでゐるが、蒙古人は遊牧をこととし、羊毛・羊皮等の

産出が多い。張家口は長城の一通路に當り、歸化
城・包頭鎮等と共に、平綏鐵道の要驛である。外蒙
古は獨立政府を立てて、勞農ロシヤの勢力下に
ある。首府庫倫は、喇嘛教の一中心で、沙漠横斷の
要路に當り、賣買城は國境の市場である。

列強との關係 支那本部に領土又は租借地を有するの
は、英・佛・葡の三國で、經濟的に勢力のあるのは、日・英・米の諸
國である。列強は主要都市に、支那主權の及ばない租界を
持ち、又治外法權・關稅制限・内水航行權・駐軍權等、不平等の
利權を有してゐるので、近年國權回復の運動が盛になつ
て來た。

我が國とは、歴史的・文化的に關係の深いのは勿論である



子椰の島諸ンピリ、フ

景光ぶ運へ他し流に河てしと筏を之し集結を子椰のく多たし收採



岸河のクコンバ

るあて院寺の教佛は塔尖つ時く高、い多も屋家上水く繁が入出の船小

採收、椰子、流、運ぶ光景。

圖 佛寺院の壯觀
ビルマにある一寺院を
示したものでこの地方
には圖のやうに尖塔の
屹立した壯麗な寺院が
多い

面積
約七三萬方
人
約二〇〇〇萬

南京米と稱して我
が國に輸入される
外國米は概ねこの
地方に産する
圖 象の木材運搬
指揮者の命に従ひ木材
を運搬してゐる

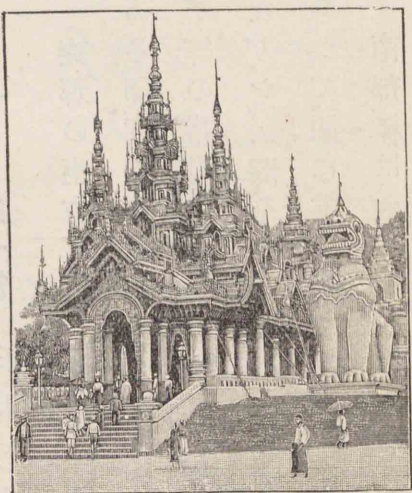
面積
約五二萬方
人
約一五〇萬

宗教上の關係から
白象は特に崇拜さ
れる
パンコク 九三萬

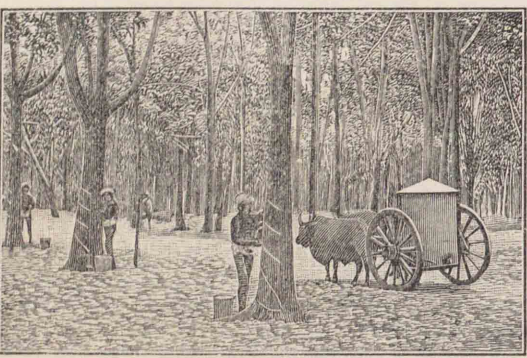
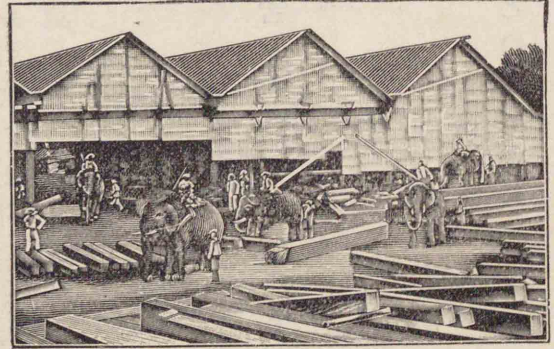
面積
約七四萬方
人
約一六五〇萬
ラングーン 九三萬

圖 保護液の採集
樹皮に切目をつけて護
膜液を採取する所で牛
の挽くのはその液の運
搬車である

シンガポール
三五萬



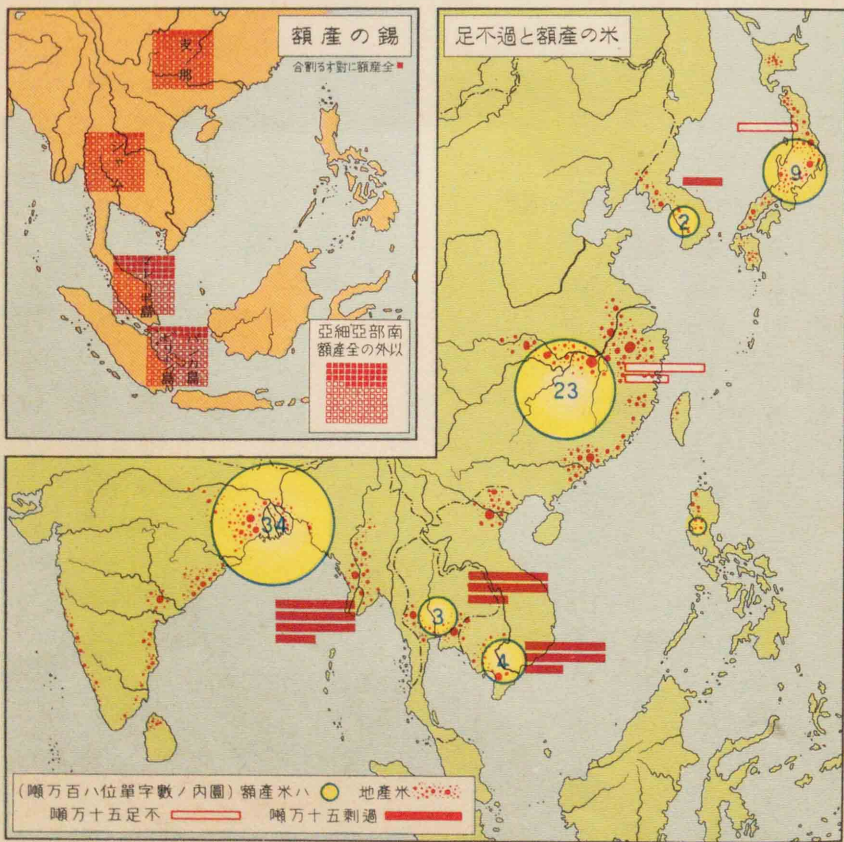
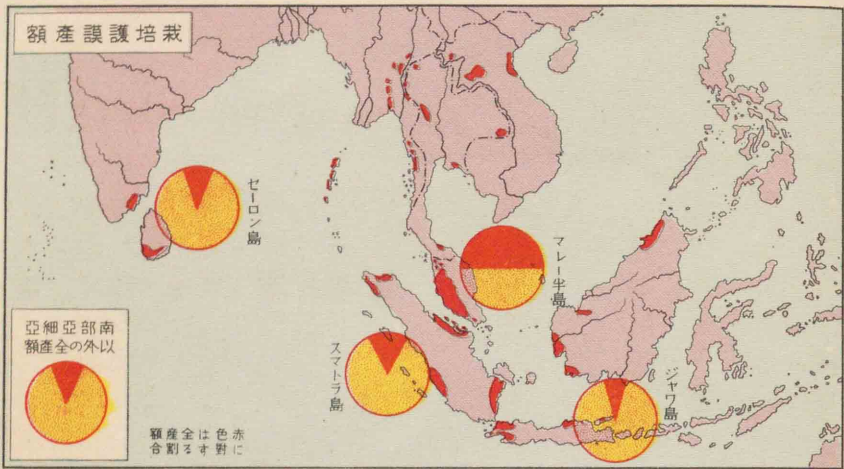
コイ河流域には、米の産が多く、ハノイは總督の
駐在地で、外港のハイフオンは、米の積出が盛であ
る。南部のサイゴン、ハインゴンは、米の輸出が多く、領内第一
の商港で、又佛國艦隊の根據地である。
シヤム (暹羅)
メナム河の流域は多く米を産し、北部
からはチーク材を出す。象は水牛と共に重要な
家畜で、運搬や耕作に使役される。この國は立憲



王制を採り、近年先進國の文明を容れて、諸般の改良に力を注いで
る。首府バンコクは、バクナムを外港として米の集散が多く、北方のキャ
ンマイは、チーク材取引の中心地である。
英領印度支那 ビルマ海峽植民地及びマレー聯合州等に分れる。
ビルマは政治上印度帝國の一部で、米チーク材等を産し、ラングーン
はその輸出が多く、マンダレーは舊都である。又
この地方からは、石油、紅玉等の産もある。マレー
半島は世界に於ける護謨及び錫の大供給地で、
我が邦人で、この地方
に護謨園を經營して
ゐる者も少くない。そ
の他コブラ、鐵鑛等を
産し、鐵鑛は我が國へ
も送られる。シンガポ
ール

シンガポールの住
民は種族が甚だ多
いが支那人が過半
を占めてゐる
ビナンの港市を
ジョージタウンと
いふ

規那は世界全産の
約三分の二を出す



●はマラッカ海峡の咽喉を扼し、東洋有數の大貿易港で、イギリスは此處に軍港の工事を進めてゐる。●も亦好錨地である。マレー半島の南部には、數多の酋長國があつて、英國の保護を受け、その中の數國は、マレー聯合州を組織してゐる。

第二節 マレー諸島

Malay Archipelago (馬來)

アジア大陸の東南に散在する島々で、東印度諸島ともいふ。印度支那及び臺灣から續く褶曲が、此處に交錯し、多くの火山が噴出してゐる。赤道直下に位し、雨量は多いが、海洋の調和により、氣温は割合に高くない。椰子樹・香料・籐等の熱帯植物が繁茂し、又護謨・砂糖・煙草・珈琲・規那等の大産地である。域内の大部分はオランダの領土であるが、ボルネオ島の北部はイギリスに、フィリピン諸島はアメリカ合衆國に、チモール島の東部はポルトガルに屬する。



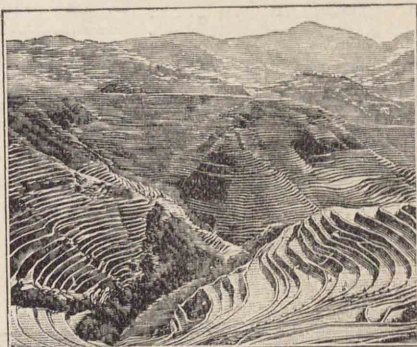
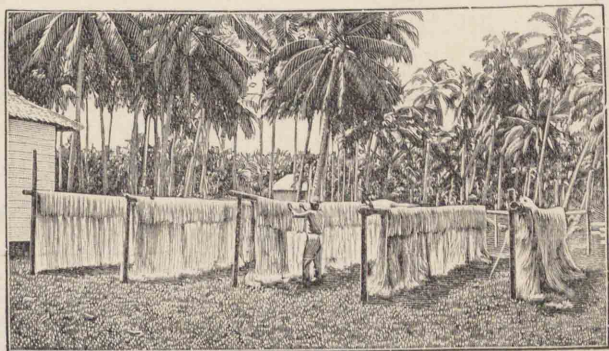
フィリピン諸島は面積約三〇萬方
 糶、人口約一〇〇萬

■ マニラ麻の乾燥
 アバカと呼ぶ芭蕉の葉柄から採る纖維で木柵に吊したものがそれである

■ ルソンの水田
 丘陵の傾斜地を利用して幾重となく階段をなしている

マニラ 三三三萬

フィリピン以外では支那人労働者の爲に邦人の労働は困難である



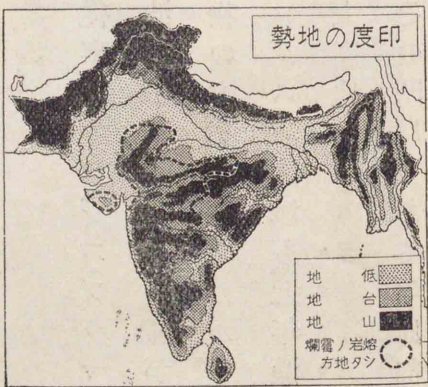
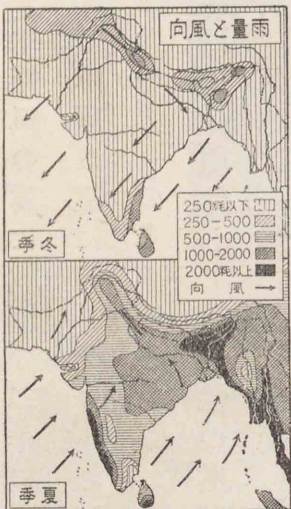
フィリピン諸島は多くの島々から成り、最大のルソン島は田園がよく開けて、米・砂糖・煙草等の産に富み、南部はコプラ・マニラ麻の大産地である。首都マニラは交通・商業の要地で、貿易が盛に行はれ、ミンダナオ島のダバオは、邦人の經營する栽培業の中心である。この群島は、種々の點で日本と關係が深い。

マレー地方と日本 マレー半島とマレー諸島とを併せて、マレー地方と呼ぶ。所謂南洋の主要部で、我が國との關係が深く、貿易は粗糖・マニラ麻・煙草・鐵礦等を我が國に輸入して綿製品・雜貨等を送り、取引額は少くない。又我が移民地として、現に約三萬の邦人が在留し、フィリピンでは主に労働に従事し、他は商業・交通業・農園經營等に當る者が多い。

面積 約四六八萬方糶
 人口 約三一九〇〇萬
 右の内ヒルマ及びベ
 ルチスタンの面積は
 約九五萬方糶人口は
 約一四〇〇萬

第三節 印度及びセーロン島

地形 地形上から北縁山地・ヒンドスタン平原及び半島部の三區に分ける。北境にはヒマラヤ山脈が連つて、世界の最高山エベレストを始め、高峯が多く並んで、四時白雪を戴き、壯大な氷河を懸けてゐる。ヒンドスタン平原は、ブラマプトラ河・ガンジス河及びインダス河等の流れる處で、大部分は地味も肥え、産物も多く、印度の寶庫と呼ばれる。半島部はデカンは廣い熔岩臺地をなす。全體の地形は略、三角形をなし、その周邊は急斜して、山脈狀をなしてゐる。



高臺と呼ばれる古い地塊で、西北部は廣い熔岩臺地をなす。全體の地形は略、三角形をなし、その周邊は急斜して、山脈狀をなしてゐる。

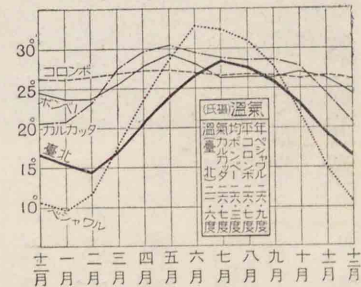
氣候産業 大部分は熱帶性氣候

悪疫は多く夏に流行するからこの季節には山地冷涼の地に移住する者が多い

【圖】ダージリンの市街
ヒマラヤ山腹の高地にあつて温度は夏季十八度に過ぎぬ

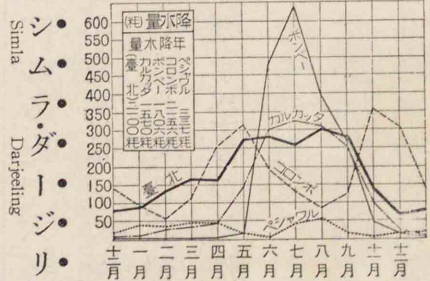


で、季節風の爲に乾濕の二季に分れる。降雨は夏に多く、アッサム地方は世界第一の多雨地といはれるが、西部は乾燥して沙漠性の處が廣い。低地は一般に暑く、悪疫も屢



流行するが、高地は冷涼で、ヒマラヤ山腹のシムラダージリ等は、著名な避暑地である。

住民の大部は農業に従事し、ガンジスブラマプトラの流域は、米・黄麻・油種子・茶・砂糖等の産が甚だ多く、パトナは農産物の大集散地で、カルカタはその門戸である。インダス河流域も、近年灌漑設備が進んで、小麦の大産地となり、ラホールはその中心で、カラチはその門戸である。半島部



シンガポールの中心街
商業的中樞地で、我が正金銀行・三井物産・三菱商事等の支店も此處にある



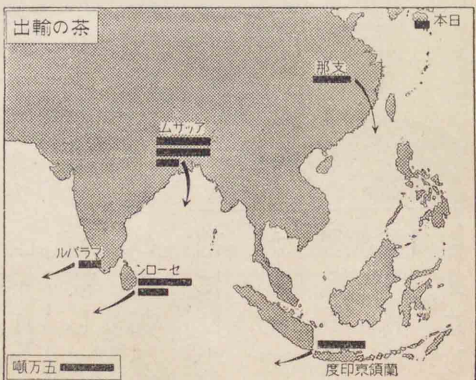
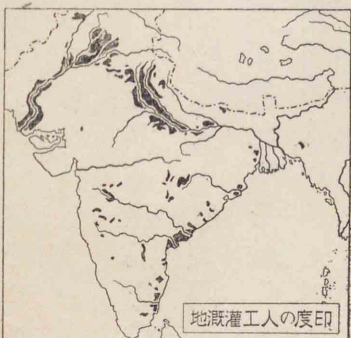
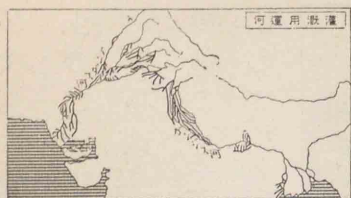
マレー地方の村落
マレー諸島に於ける村落の一例で路上には石を敷き人家がその兩側に列ぶ



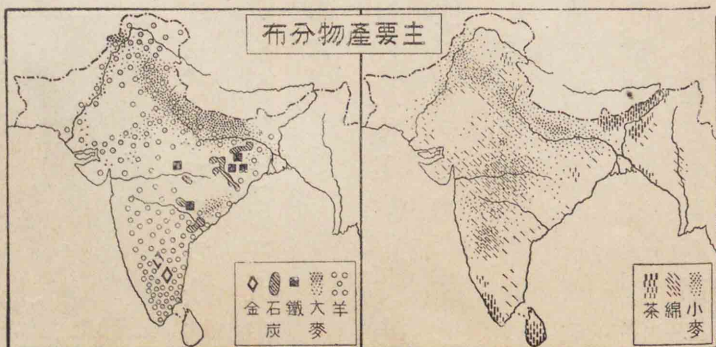
スラバヤの市街
蘭領東印度第一の貿易地で日本人もこの地の商業上に相應の勢力を持つてゐる

米・砂糖の産額は多いが国内の消費も大であるから殆ど輸出を見ない

の海岸地方は、米・砂糖・茶等を出し、内部は綿の大産地で、主としてボンベ
 1. から積出される。
 牧畜は盛んに山羊を飼ひ、西北部は羊毛及びカシミア織を出し、牛・水牛は運搬・耕耘に使用され



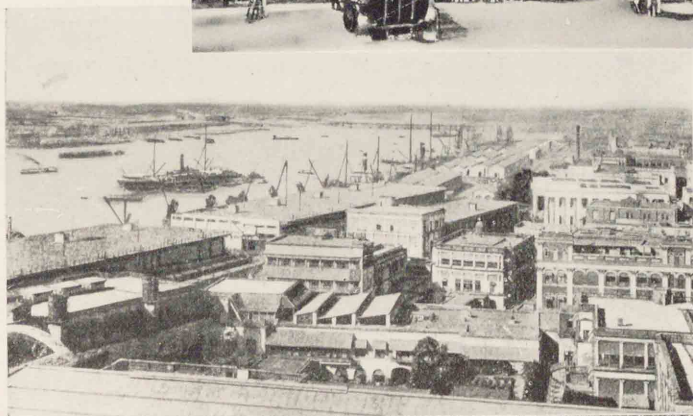
る。石炭・鐵等の埋藏も豊富で、又石油の産もある。
 工業は不振であつたが、近年綿・麻等の纖維工業及び搾油・製革・造船等



ボンベーの市街
 市廳前に於ける光景、左側の高塔は市廳、右側はビクトリヤ停車場



カルカッタの河岸
 フーグリ河に沿ひ農業地方の大門戸として船舶の出入が多い

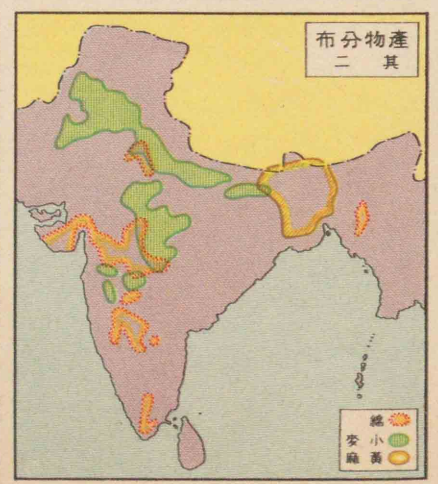
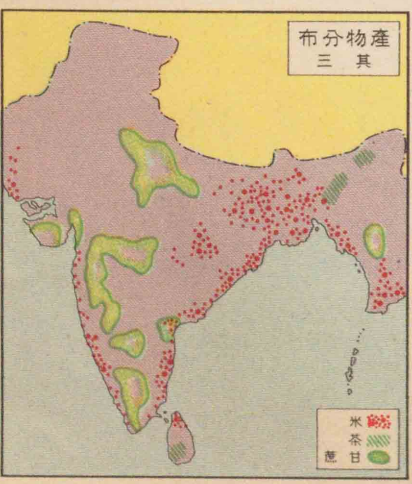
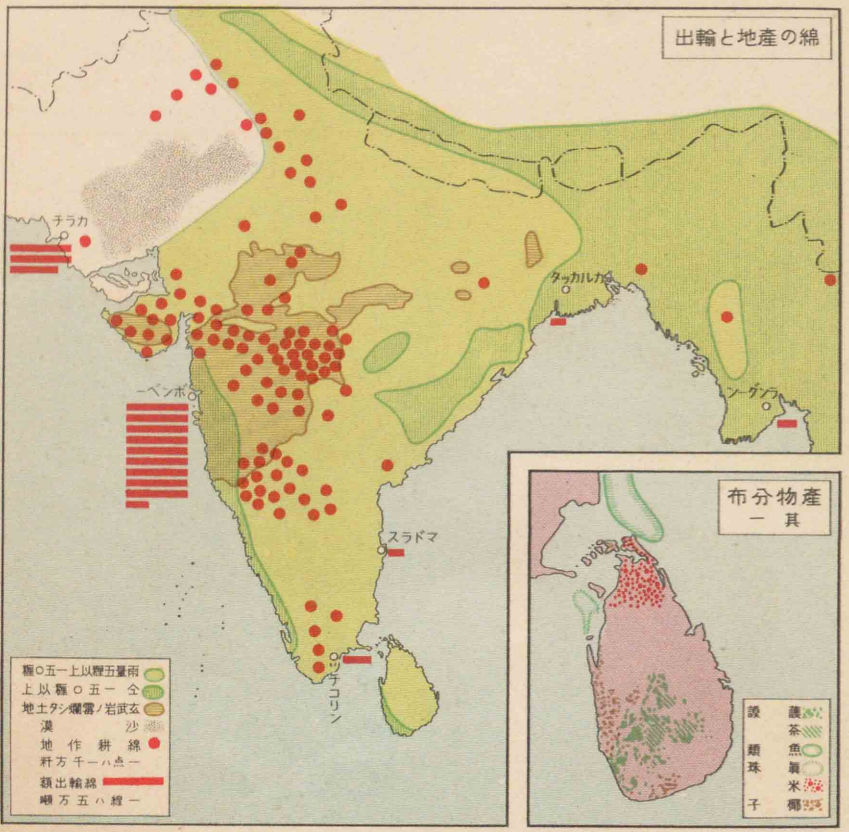


セーロン島の景觀
 路を挟んで長く垂れた氣根の下を異様な幌を持つ馬車が通つてゐる



【圖】人工の港湾
海岸にはコロムバ
ドラスを始め人工に成
る港湾が多い圖はその
一例としてマドラスを
示したものである

【圖】印度族と村落
上圖は土人の家屋で下
圖は印度族

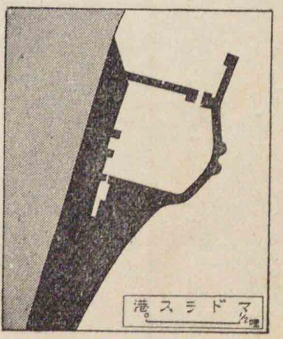


住民政治

住民の大部分は印度族(パロ種)で、南部には先住のドラビダ族(マレ種)が住んでゐる。印度族は貴賤の階級が嚴格で、階級が違へば職業も異なり、婚姻を結ばず、食事

も共にしない程である。西部に

が次第に發達し、カルカッタとボンベイとは、工業上の二大中心である。貿易は多く農産品畜産品を輸出して、織物その他の加工品を輸入し、我が國へも多く綿を輸出して、綿製品絹織物等を輸入する。交通は鐵道がよく整ひ、海岸は單調であるが、人工でその缺點を補ひ、カルカッタ、ボンベイ、コロムボ(ロシ)を三大中心とし、航路が多く輻輳してゐる。



異教徒間の軋轢が甚しく印度の統治上重大な障害となる

佛領

シャンデルナゴル・ヤナオン・ボンデシエリー・カリカル・マエ

葡領

ゴア・ダマン・ジウ

主要都邑

人口(萬)
カルカッタ 一三三
ボンベイ 一三八
マドラス 五三
ハイダラバード 四〇
デリー 三〇
ラホール 二八
ベナレス 二〇

は回教が行はれるが、彼等の多くは印度教を奉じて迷信が深く、所謂靈地が處々に散在し、ガンジス河畔のベナレスは、その最も名高い處である。佛教は印度に起り、ブダガヤはその著名な遺跡であるが、今はセーロン島に行はれるのみである。

この地は英國の領土で、ビルマ・ベルチスタンと共に印度帝國と呼ばれ、英國王はその皇帝で、大總督を派遣して之を治めしめ、セーロン島は、別に一箇の直轄植民地となつてゐる。

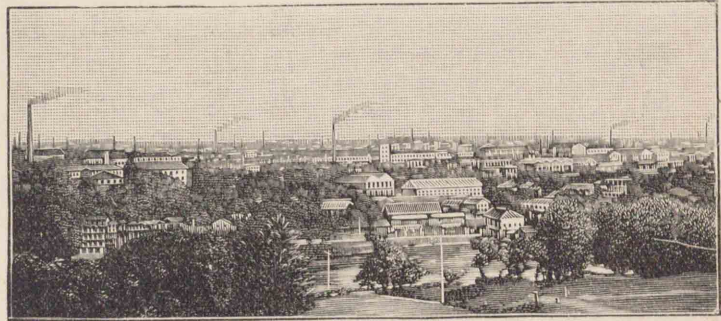
大總督は、行政委員會と立法委員會とによつて、政治を行つてゐるが、近年自治運動の氣勢が盛となつた。地方は直轄地と、印度人の王侯を戴く大小多數の藩邦(國土)とに分れ、藩邦は理事官の監督を受けてゐる。ポルトガル・フランス等も嘗てこの地に植民したことがあるので、今も半島の處々に小領土を持ち、昔の名残を留めてゐる。その中ポルトガル領のゴアは稍廣い。

都邑 カルカッタはガンジス河の三角洲にあつて、ヒンドスタン平原の門戸に當り、商工



街 街
ボンベイは紡績工業が盛な都市で處々に見える煙突はその工場である

茶園 茶園
セーロン島の印度に次ぎ世界第二の茶産地で土人の女子が茶摘みをしてゐる



セーロンは面積約六萬六千方呎、人口約五四八萬

業が盛に行はれ、パトナは農産物の大集散地である。デリーは帝國の首府で、壯麗な建物が多し。ラホールはインダス河流域の中心市場で、ペシャワールは交通の要地に當り、カラチは重要な商港である。西海岸のボンベイは、重要な港市で、綿の九割は此處で取引され、又新進の工業都市である。ハイデラバードは大藩邦の首府で、商業が盛に行はれ、マドラスは人工港の好例で、南端に近く、チェンナイの港市がある。セーロン島は山勝ちであるが、茶・護謨・コブラ等を出し、山地からは寶石、黒鉛、沿海からは眞珠貝を産する。首都コロンボは



總督の駐在地で、印度洋航路の集點に當り、ツリンコマリは英國艦隊の根據地である。この島には佛教が盛に行はれ、カンヂーには有名な佛牙殿がある。

ヒマラヤ山中にネパール、ブータンの二小國がある。共に獨立國で、イギリスの勢力下に屬してゐる。

日本との關係 この地に興つた佛教は、我が國民精神に著しい影響を及ぼし、未だ世界の知識に乏しい時代にも、支那と並べて唐・天竺といった程である。今は貿易關係が極めて密で、我が商品の輸出先であると共に、我が主要工業の原料たる綿の輸入が多く、大阪商船及び日本郵船は、この地を終點とする航路を開いてゐる。

第三章 西部アジア

イラン高原及び小アジア、アラビア等の高原性半島を含み、その間にメソポタミア低地があつて、チグリス・ユーフラテスの兩河が此處を流れてゐる。氣候は一般に乾燥で、不毛の地が廣い。

イラン地方 イラン地方は、炎熱乾燥で、内地には沙漠性の處が廣

圖 貝ルシヤ婦人の風俗
外出には圖の如く顔面を隠し長い外套で全身を包む風がある

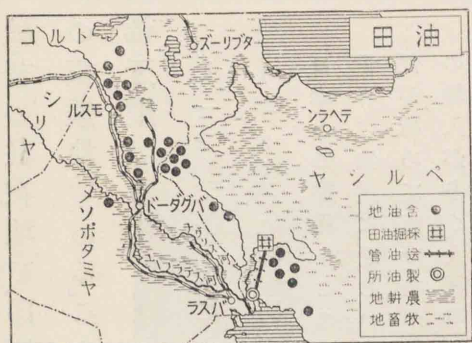
アフガニスタンは面積約六五萬方
糶、人口約一二〇
〇萬
ベルシヤは面積約
一六〇萬方糶、人
口約九〇〇萬

日本人技師を備つて鐵道の建設を急いでゐる
テヘラン 三五萬

メソポタミヤは面積約三七萬方糶、人口約二八五萬

く、住民の多くは遊牧を營み、又山麓及び河岸には、農業も行はれる。この地方は、政治上アフガニスタン・ベルチスタン・ペルシヤに分れる。

アフガニスタンは嘗て英露の勢力を争つた處で、今は獨立國となり、首府をカブールといふ。ペルチスタンの東北部は、印度帝國の一部で、他は英國の保護を受けてゐる。ペルシヤは獨立の王國で、近年力を内治外交の改善に注いでゐる。穀物・阿片・果實等は重要な産物で、又豊富な油田がある。テヘランはこの國の首府で、精巧な絹布・敷物等を産し、タブリーズは商業上の要地である。



この地方は古代文明の發祥地であるが、今は土地が荒れてゐる。大戰の結果獨立して、一時イギリスの委任統治地となつてゐた。首府バグダードは商業上の要地で、バグダード鐵道に沿ひ、モスルの附近には廣い油田がある。

トルコは、近時まで歐亞及びアフリカの三洲に跨る大帝國であつたが、領土が次第に縮まり、又近年帝政を廢して共和制を布

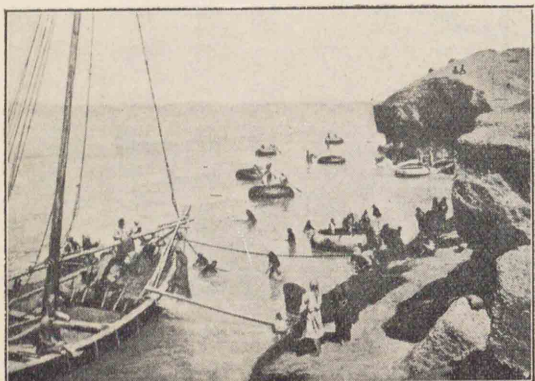


— 洲 ヤ ジ ア — 122

バグダード 二五萬
バグダード鐵道はコニヤ以南であるが普通は廣義にハイダルバシヤまでを呼んでゐる
面積(歐洲を含む) 約七六萬方糶
人口 約一三六五萬
アンゴラ 七萬

圖 テゲリス河
水面に浮ぶ圓形の船は、粟糠子の葉で造つた籠に樹脂や泥を塗つたものである

シリヤは面積約一五萬方糶、人口約三〇〇萬
パレスチナは面積約二萬六千方糶、人口約八四萬



トルコは、近時まで歐亞及びアフリカの三洲に跨る大帝國であつたが、領土が次第に縮まり、又近年帝政を廢して共和制を布き、首都を歐洲からアンゴラに移した。アンゴラの附近には牧羊が行はれて、羊毛・山羊皮等を出し、スミルナは主要な商港である。

キプロス島は英國の領土で、ロードス島はイタリヤの領土となつた。

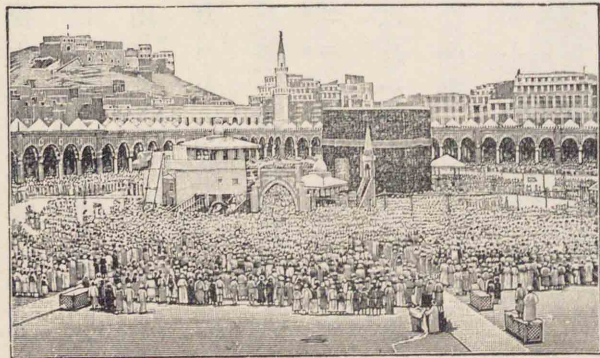
シリヤ・パレスチナ シリヤはフランスの委任統治地で、その中心地のダマスカスは、隊商の多く集る處である。パレスチナはユダヤ國建設の豫定地として獨立し、英國が委任統

メッカに群集せる信徒
 回教の大寺院に於ける
 信徒群集の有様で中央
 に黒く見えるのがカフ
 バと呼ぶ祠堂である

アデンはペリム島
 と共に政治上印度
 帝國に屬してあた
 が最近に本國の直
 屬となつた
 オマーンは面積約
 二一萬方呎、人口
 約五〇萬

治を行つてゐる。この地はキリスト教の興つた處で、首府エルサレムにキリストの墳墓があるから、信徒の巡拜する者が多い。ヨルダンの河谷は、世界第一の低い陸面で、その最低所にある死海は、鹽分が濃厚な爲、生物は棲息しない。この國の東にトランスヨルダニアが興り、英國の委任統治を受けてゐる。

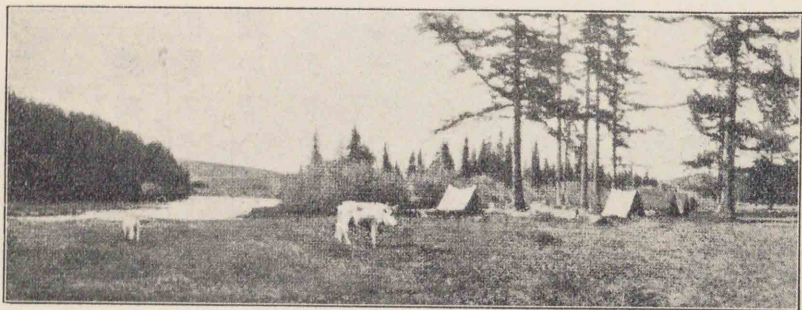
アラビヤ半島 世界最大の半島で、大部は沙漠となつてゐるが、海岸や泉地からは棗椰子珈琲等を出す。土人は多く遊牧を營み、良馬を産する。大戦の後、西部にヘジャズ王國が興つたが、ネジドに併呑された。メッカはマホメットの生れた處、メデナはその歿した處で、共に回教徒の參拜する者が多い。紅海の口に近いアデンは、英國に屬し、交通上軍事上の要地である。オマーンはイギリスの保護國で、棗椰子の産が多い。



— 洲 ヤ ジ ア — 124

面積 約一二三〇萬方
 人 約一〇〇〇萬
 面積人口共にヨーロッパに屬する部分を含め

シベリヤ平原
 シベリヤ平原の南部で
 針葉樹の疎林が多く住
 民は此處を開拓して小
 麥を栽培し又牧牛をす
 る



本洲の約三分の一を占める廣い地域で、ソビエト聯邦の一部である。大戦後政治區分に變動があつたが、本書は暫く舊制により、シベリヤ中央アジア・コーカシヤの三區に分ける。

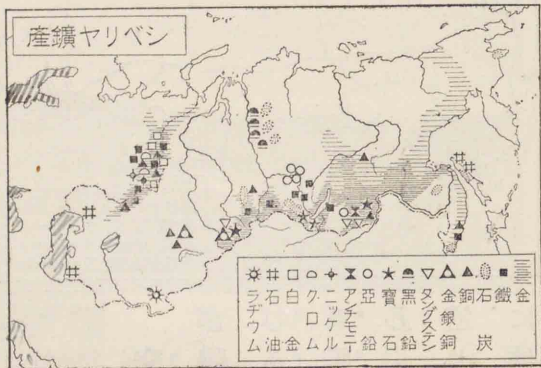
第四章 北部アジア

第一節 シベリヤ

Siberia (西比利亞)

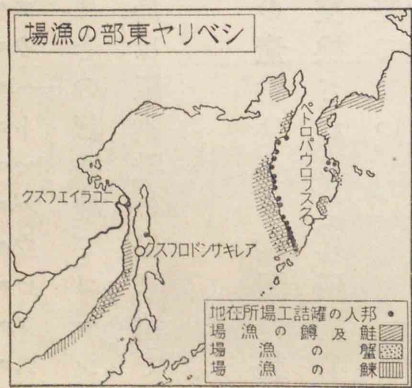
境域 シベリヤは、ソビエトロシアに直屬せるシベリヤ・極東・ウラル (一部はヨーロッパ) の三地方と、ヤクーツク (自治共) ブリヤトモンゴル (自治) オイラト (自治) 等に分ける。

直屬地には移住ロシア人が多く、他は夫々民族主義によつて分けたものである。ロシアが領有した最初は、罪人の流謫地であつたが、自由移民の増加と共に、開拓が進んで今日に



岸の低地で、全く不毛に屬し、土人が馴鹿を飼ひ、狩獵を行ふ外には、一部に舊象の牙を出すに過ぎない。

この他、東部の近海や河川は、鮭・鱒・鯉等の漁利に富み、邦人の出漁する者が多い。ニコラ



草原帯 オビ河上流の大平原で、地味が肥え、農牧の業が開けて、小麦・馬鈴薯・甜菜・牛酪等の産が多く、オムスク・ノボシビルスク等はその中心である。

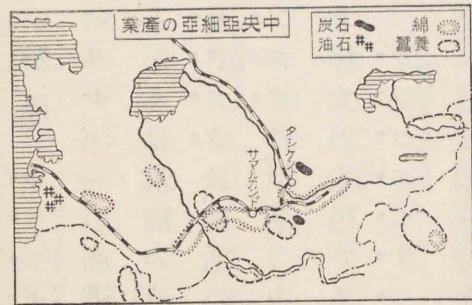
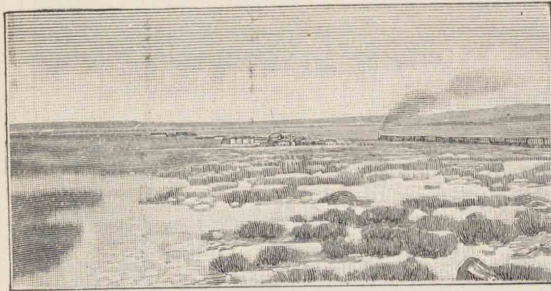
森林帯 長く東西に互る林地であるが、交通が不便でその利用は少く、林中に棲む毛皮獣が主産物で、ヤクーツクは毛皮の集散地である。

凍原帯 北極海沿

草原帯
オビ河上流の大平原で、地味が肥え、農牧の業が開けて、小麦・馬鈴薯・甜菜・牛酪等の産が多く、オムスク・ノボシビルスク等はその中心である。

面積
約三五〇萬方
人
約一三〇〇萬

景
圖 草原地方の光
景
黒煙を揚げて走るは外
カスピ鐵道の列車で
ある
タシケント 三三萬
サマルカンドには
蒙古人の英雄とし
て知られた帖木兒
の墳墓がある



中央アジアには、裏海を始め大小の鹹湖が多く、アム河・シル河が此處を流れて、アラル海に注ぐ。住民は多く遊牧を營み、山麓・河岸には穀物・綿等の耕作及び養蠶も行はれる。この地の北部は、カザク自治共和國に屬し、南部にはトルコマン（首府はバスク）ウズベク（首府はタタジック）（首府はバスター）の三共和國がある。數條の大鐵道が此處を通じ、その沿線にタシケント・サマルカンド

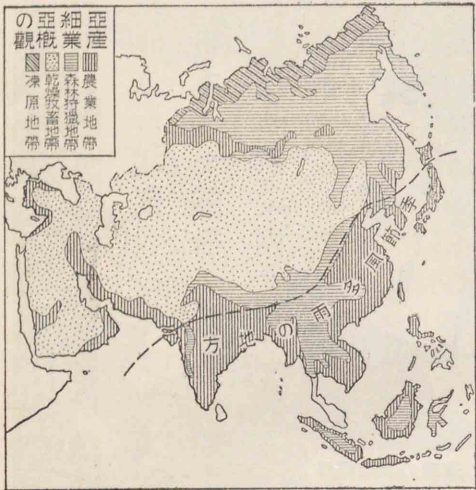
第二節 中央アジア及びコーカシヤ

中央アジア及びコーカシヤは政治上・經濟上の一中心である。トムスク・トボルスクはオビ河沿岸の要市で、オムスクは農産・畜産の集散が多い。

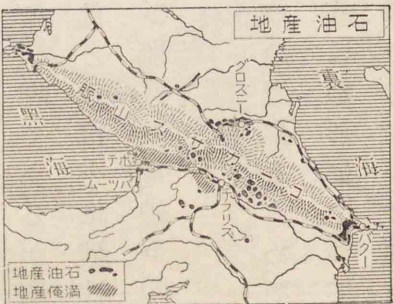
面積
約四六萬方
人
約一二〇〇萬
バクー 四五萬
チフリス 二九萬

ド等の要市がある。

コーカシヤは、コーカサス山脈の爲に南北に分れる。山南には農耕・養蠶も行はれるが、世界的の石油産地で、バクーは製油業の中心である。南部にはアゼルバイジャン（首府はバクー）ジョージヤ（首府はチアルメニヤ）（首府はエリ）の三共和國があつて、外コーカシヤ聯邦



を作り、チフリスは聯邦の首府となつてゐる。



總說 (其二)

産業交通 産業は農牧を主業とし、東部南部の季節風帯は、米・綿・砂糖・茶・生絲・熱帯多雨地は護謨・規那・コブラ等の世界的大産地で、印度の西部・北支那シ



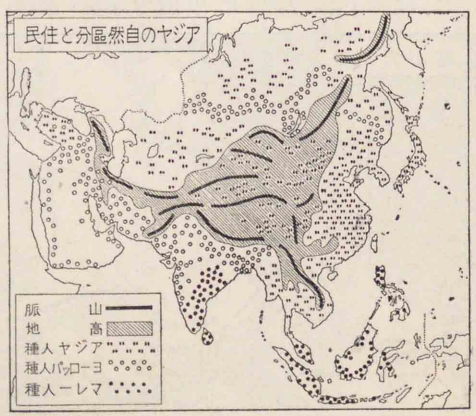
ベリヤ等には小麦等の穀産が多い。中部西部の乾燥地帯では、牧畜を主業とし、東北部の海上は、世界屈指の漁業地である。鑛物の埋藏も少くないが、採掘は未だ盛でない。工業は一部に發達してゐるのみで、一般には尙原料の供給地、製品の需要地たる域を脱しない。鐵道は日本・印度に稍密であるが、國

際的に重要なのはシベリヤ鐵道である。海運は東部と南部とに發達し、この方面には世界的の大港も少くない。陸上及び海底の電線も頗る整ひ、無線電信の設備も次第に進んだ。

住民國狀 本洲の住民は十億を超えて、世界人口の過半を占め、その大部分は東部南部の農業地方に住んでゐる。民族は地形によつて四區に大別される。北部アジアの原住民は、アジア種であるが、實權を

<p>アジア人種</p> <p>日本族 (日本内地)</p> <p>朝鮮族 (朝鮮)</p> <p>滿洲族 (滿洲國・シベリヤ)</p> <p>漢族 (支那本部・滿洲國)</p> <p>蒙古族 (蒙古・シベリヤ)</p> <p>藏族 (西藏・青海)</p> <p>苗族 (支那西南部)</p> <p>印度支那族 (印度支那)</p> <p>トルコ族 (小アジア・中央アジア・新疆省)</p>	<p>ヨーロッパ人種</p> <p>印度族 (印度)</p> <p>イラン族 (イラン地方)</p> <p>アラビヤ族 (アラビヤ)</p> <p>スラブ族 (シベリヤ)</p> <p>コーカサス族 (コーカシヤ)</p> <p>マレー人種</p> <p>マレー族 (マレー地方)</p> <p>ドラビダ族 (印度)</p>
--	---

握るのは、移住のスラブ民族である。東部アジアは、東洋文化の中樞で、アジア人種が住み、南方の一部



を除けば、自主獨立の地方である。南部にはアジア・マレー・ヨーロッパ等の諸人種が住んでゐるが、之を支配するは、新來の歐洲人である。西部には、アジア人種の建てた獨立國もあるが、大部はヨーロッパ人種の住地である。

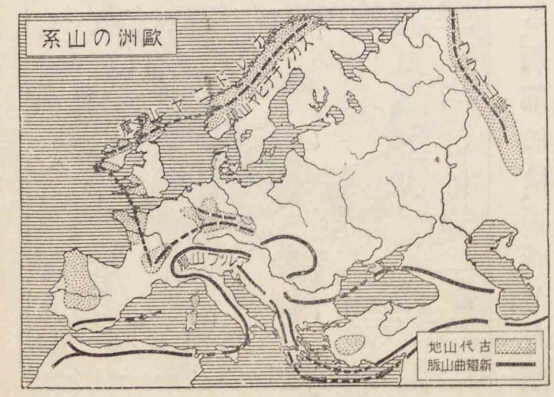
日本との關係 本洲に國する日本が、特に關係の深いのは、いふまでもない。本洲には早く文化の開けた處もあるが、今では土地・人民の大半は歐洲人の治下に屬し、殘る獨立國も概ね實力に乏しい。獨り日本は、國運が年と共に隆昌を加へ、現に東洋の盟主と仰がれてゐる。

第七篇 ヨーロッパ洲
Europe (歐羅巴)

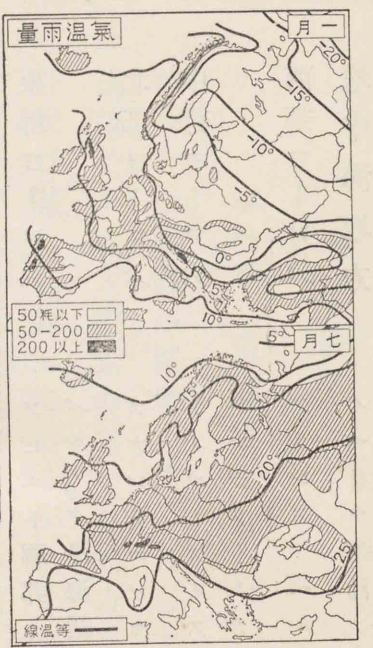
總說 (其一)

面積 約九六〇萬方
人 約四五〇〇萬

地形 ヨーロッパ洲は、ユーラシヤ大陸の西部を占める半島状の地域で、面積はアジア洲の四分の一よりも狭く、山脈・高原等の規模も亦小さい。山脈は新舊の二系統に大別される。東部のウラル山脈、北部のスカンデナヴィヤ山脈等は、古代山地の主なるもので、何れも低く、南部のアルプ山脈は、新しい褶曲山脈で、その餘脈は渦状を描いて遠くアフリカ及びアジアに延び、氣候上にも、人文上にも、天然の境界となつてゐる。東部は廣い平原で、多くの大河が流れ、西部にも水量の多い河がある。此等は互に運河によつて連絡され、水運の便が多い。



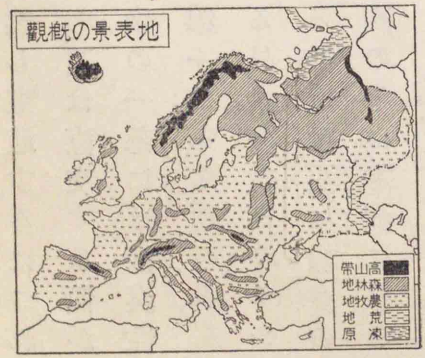
歐洲の西岸は殆ど周年偏西風と呼ばれる西風を受ける



國名	緯度	氣候
日本	35°	北回帰線
英吉利	51°	北回帰線
佛蘭西	46°	北回帰線
獨逸	50°	北回帰線
露西亞(歐羅巴)	55°	北回帰線
伊太利	42°	北回帰線
北米合衆國	38°	北回帰線

本洲は半島大陸である上に、更に數多の半島を出して海灣を作り、海岸線の發達は、遙に他の大陸に優れてゐる。従つて氣候・交通等に大影響を及ぼし、この地の文化開發を促す有力な一因となつた。

氣候 本洲の大部分は温帯にあつて、西岸に近く暖流が流れ、偏西風が海上を吹き寄せる等、各種の關係により、緯度の割合に甚だ暖である。英國は我が樺太よりも北にあるが、その海岸は凍る處なく、北海道



と殆ど同緯度のイタリヤは、避寒の好適地である。然し東進するにつれて大陸性となるから、冬は等温線が経線と平行し、夏は直交する傾がある。雨量は西部と山地との外は一般に少く、東南の一部には沙漠性の處もあるが、土地の利用の廣いことは、大陸中第一である。

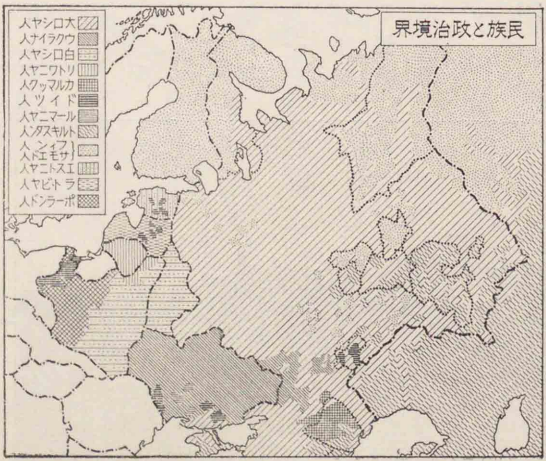
區分 住民は、一部の地方にアジャ人種を見る外、大多數はラテン族・チュートン族・スラブ族等のヨーロッパ人種である。其等は更に數多の民族に分れて、三十有餘の國家を造り、世界獨立國の半は本洲にある。本書は便宜上、之を左の諸地方に分ける。

- 東部ヨーロッパ ソビエト聯邦 フィンランド
- バルチック沿海諸國 ポーランド
- 北部ヨーロッパ スカンデナヴィヤ半島 デンマーク
- 中部ヨーロッパ ドイツ スイス オーストリヤ
- ハンガリー チェコスロバキヤ
- 西部ヨーロッパ フランス ベルギー オランダ イギリス
- 地中海地方 イベリヤ半島 イタリヤ バルカン半島

各 説

第一章 東部ヨーロッパ

舊ロシヤ本國の區域と略一致し、大戦の後、政治上に大變動のあつた地方である。住民は甚だ錯雜してゐるが、スラブ族の大ロシヤ人が、極端な武力的壓制を加へて、此等多種の民族を統治し、永くこの地域を支配して來たが、大戦と革命との爲に、國土が全く崩壊して、各民族は夫々自治を唱へるに至り、結局ポーランド・リトワニヤ・ラトヴィヤ・エストニア・フィンランドの五國は獨立し、その他は合同して、ソビエト聯邦を組織した。



第一節 ソビエト聯邦
Union of Soviet Socialist Republics

面積 (歐・亞合計)
約二一三五萬方
糶 (内歐洲約四二三
萬方糶)
人口 (同上)
約一四七〇〇萬
(内歐洲約一〇九〇
〇萬)

革命前までは實權は少數の貴族・地主・官吏・軍人の手にあつて大多數の農民は極端な壓制を受けてゐた

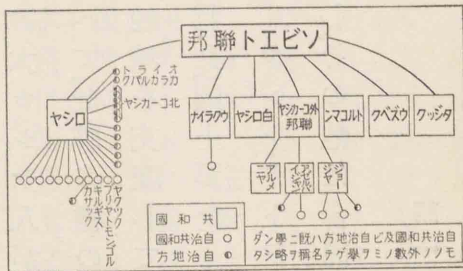
團圓民家
ウクライナの村家で、家屋に東洋風の障がある

後に或程度の私有財産を認め、工場を私營を許した

ウラル山脈は最高のテルボス山も高さ一千六百餘米で傾斜も緩な爲著しく交通を妨げない

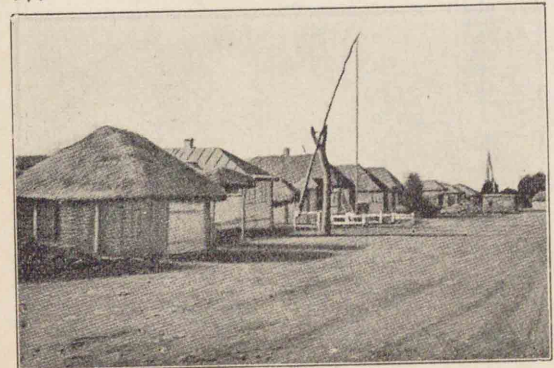
ウラル横斷鐵道

平地を行くやうな山中の軌道を示す左の石碑は歐・亞の境界である

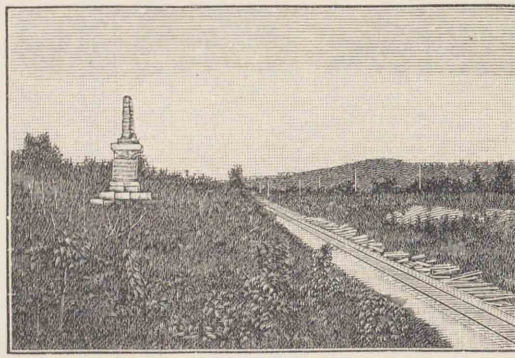


政治 大ロシア人を主とするソビエトロシア聯邦は、ウクライナ共和國(小ロシア人)・白ロシア共和國(白シヤ人を)及び外コーカシヤ聯邦と共に、新國家を組織してソビエト聯邦と稱へ、中央アジアにある三共和國(ウズベク・タジク)も、亦之に加盟してゐる。スラブ族の文化及び生活程度は、西歐人に比べると遙に低く、革命後は、ユダヤ人の勢力が大いに加つた。

聯邦の政治及び經濟組織は、世界に類例のないもので、主權の最高機關をソビエト大會と呼び、その大會で選ばれた中央執行委員が、行政・立法・司法の權を掌り、一般の行政機關は、中央執行委員から任命された人民委員會に屬し、之が聯邦の政府で、我が内閣に相當する。經濟上は共產主義を基礎とし、私有財産を禁止し、土地は國有とし、大商工業は國營とした。



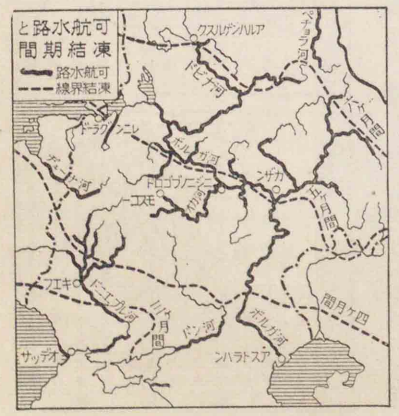
— 洲パロロヨ — 138



境にウラル山脈の連る外は、廣い平原をなし、處處に丘陵が起伏してゐるが、その最高のバルダイ連丘も、三百餘米に過ぎない。河はこの低い丘陵を分水界として、四方に流れるから、水勢が緩く、且互に運河で連結され、舟運の便が多い。ボルガ・ドンドニエプル等は、その主要なものである。北部には氷蝕による湖水が多く、ラドガ・オネガの兩湖は、その中で殊に大きい。

三面に海を控へてゐるが、西歐への門戸に當るバルチック海は、白海と共に冬季は氷に鎖され、黒海は入口を他國に扼せられる不便がある。

氣候・産業 本洲中では氣候が最も大陸性



大麻・亞麻の産額は世界第一である
 革命以來擾亂相次ぎ産額が急減して穀倉の住民も自己の糧に苦しむ状態であつたが政情の安定と共に着々復興して再び穀物の輸出國となつた

で、雨量も少く、裏海の沿岸は、本洲の最寡雨地である。氣候の關係から、北部の一帯は不毛の凍原であるが、その南に廣い森林帶・草野帶がある。

森林帶の主産物は木材であるが、近年開拓が進んで、麥類・甜菜・麻類・馬鈴薯等の耕作も行はれる。草野帶の中に、黒土帯と呼ばれる地方があり、地味が豊沃で、小麥・ライ麥・甜菜等の産額が甚だ多く、歐洲

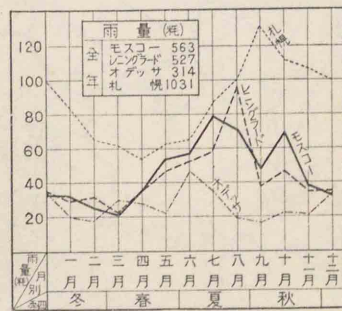
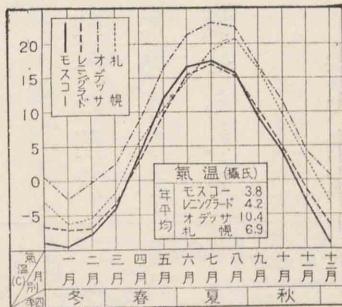
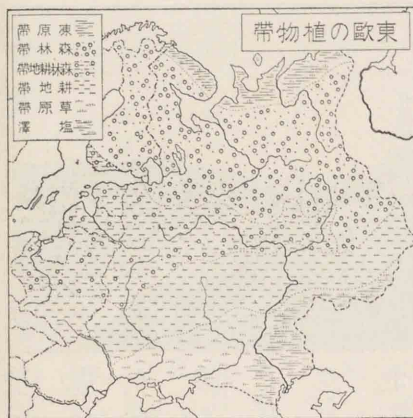


圖 鱈魚の漁獲
 大きなは八木に及ぶものがある

戦前には世界に於ける白金の大部をこの國から出した



の穀倉と呼ばれてゐる。ウクライナはその主部に當り、キエフ・ハルコフは重要な中心市場である。南部は馬・牛・羊等の牧畜を主業とし、アストラハンはその重要な市場であるが、近年人工灌漑によつて、玉蜀黍果實等の産額が増加した。南部の河湖には鱈魚等の水産もある。鑛業はウラル山地の金・白金・銅・鐵・寶石等が最も名高く、山麓にペルム・エカテリンブルグ(カザン)等の鑛業都市が發達し、中部・南部には石炭・鐵・石油・岩鹽等の産がある。工業は家内工業を主とし、機械工業は西

産地	延徳十五	延徳百	延徳十五百	延徳百二
國衆合カリヤ	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■
邦聯トエビソ	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■
ツイド	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■
ダナカ	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■
スラフ	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■

麥 燕 年八二九一

産地	延徳十五	延徳百	延徳十五百	延徳百二
邦聯トエビソ	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■
ツイド	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■
ドンラポ	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■
ヤバノスチ	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■
國衆合カリヤ	■■■■	■■■■■	■■■■■■	■■■■■■■

麥 裸 年八二九一

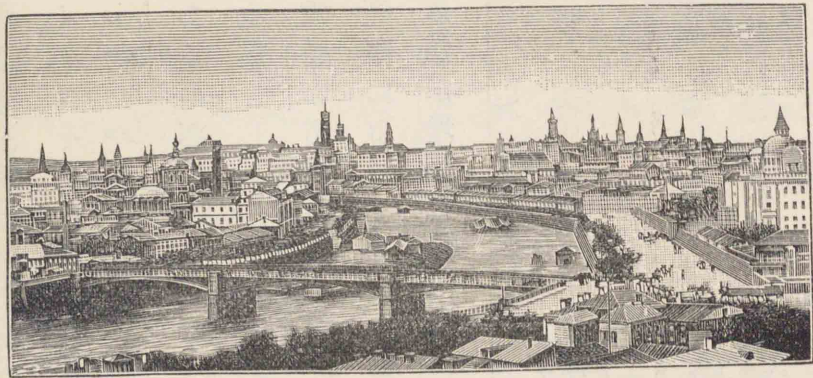


穀物は輸出総額の
四分の三を占める

主要都邑

都邑名	人口(萬)
モスコイ	二四一
レニングラード	一六一
ハルコフ	七三
キエフ	五一
オデッサ	四二

街
モスコイの市
市の中央部を示したも
ので、鐘頭状の高塔が處
處に聳えてゐる



歐諸國に比べると著しい遜色がある。内地商
業は定期市で行はれるのが特色で、ニジノ
ブゴロド・ハルコフ等は、その盛な處である。外
國貿易は、主に穀類・木材・麻・皮革等を輸出して、
綿機械茶等を輸入し、レニングラード・オデッサ
は、海外取引の二大關門である。

都邑

モスコイ

は交通の大中心で、商工業

の盛なことは國內第一である。ソビエト聯邦
の首府で、スラブ都市の特色を有し、高い尖塔
を持つ寺院が多く、帝政時代に戴冠式の行は
れたクレムリン宮は、政廳に用ひられてゐる。
レニングラードは、ネバ河の口に跨り、本國第
一の商港である。永くロシヤの帝都となつて
ゐた處で、舊皇居を始め、壯大な建物が多し。

氷結した河
冬のネバ河で氷結した河面に電車
軌道を敷いてゐる圖はその停留所



ニジノブゴロド
ボルガ河とオカ河との會流點に位
し定期市の開催で名高い



セバストポリ
クリミア戦争の爲に名高い地で、
商港と軍港とを兼ねてゐる



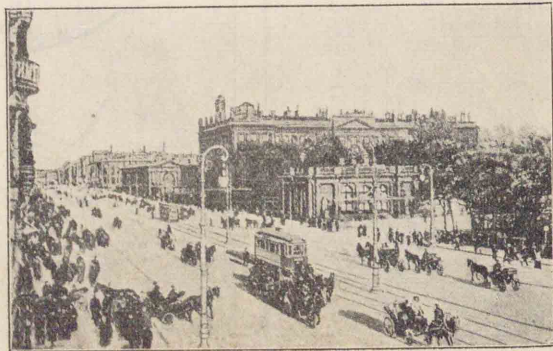
面積
約三四萬三千方
人
約三四〇萬

圖解
レニングラー
ドの市街
市中で最も重要な部分
でもトネアスキーと呼
ばれた街區である

の 外 港 ク ロ ン ス タ ッ ト は、ク リ ミ ヤ 半 島 の セ バ ス
ト ポ ル (ア ル ヒ) と 共 に、昔 从 重 要 な 軍 港 で、北 部 の
ア ル ハ ン ゲ ル ス ク は、白 海 の 要 港 で 有 る。
ア ー ン ハ ー ツ ン
ハ ル コ フ は、ウ ク ラ イ ナ の 首 府 で、キ エ フ は 農
産 加 工 が 行 は れ、黒 海 岸 に は オ デ ッ サ を 始 め、ヘ ル
ソ ン、ニ コ ラ イ エ フ (ニ エ ル ス ク) 等 の 穀 物 積 出 港 が
多 い。ミ ン ス ク は、白 露 シ ャ の 首 府 で 有 る。
Minsk
日 本 と の 關 係 帝 政 ロ シ ャ と は、幕 末 以 來 係 争 が 絶 え な
か っ た が、日 露 戰 役 の 後 親 善 と な り、今 は 大 使 を 交 換 し て
ゐ る。我 が 國 と 歐 洲 本 土 と の 經 濟 關 係 は 未 だ 密 で ない が、
極 東 に 於 いて は 漁 業、林 業、鑛 業 等 の 利 權 を 得、貿 易 取 引 も 將 來 有 望 で 有 る。

第 二 節
フ ィ ン ラ ン ド
Finland (芬蘭)

フ ィ ン ラ ン ド は、ロ シ ャ の 革 命 後 に 獨 立 し た 共 和 國 で 有 る。住 民 は 少
數 の ラ ッ プ 族 の 外、概 ね ア ジ ャ 種 の フ ィ ン 族 で、夙 に 西 歐 の 文 化 を 入 れ て 教



ヘルシングフォルス
フィンランドの首府と商港とを兼
ねた重要な近代式の港

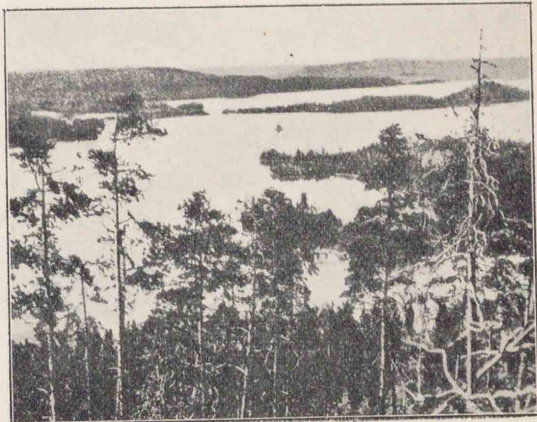


リガ
デューナ河に沿ふ港市でバルチック
海方面に於ける重要な商港の一

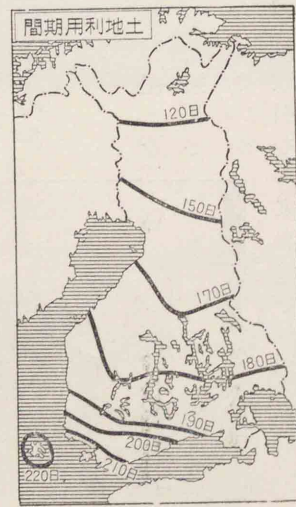


ロヅの市街
多数の煙突が立並び明かに工業市
の光景が示されてゐる

森林の光景
錯雑無りなき湖水とそ
の間に茂る森林とはこ
の地方の特色である

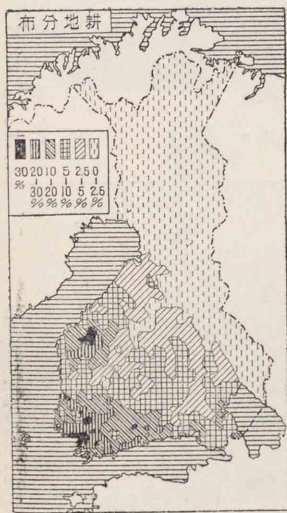


育を改善し、體育を奨励し、大戦後の新興諸國中、堅實なものの一である。國の全部は、地質時代に氷河の浸蝕を受けた處で、無数の湖水が散在し、その落差を發電に利用してゐる。氣候が寒く、土地の大部は森林帯



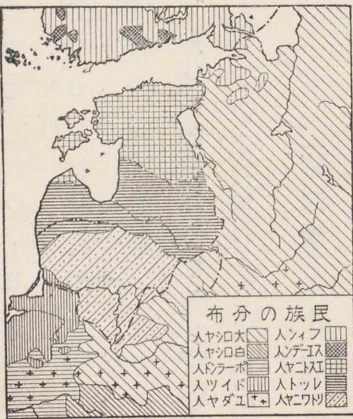
ヘルシングフォルス
二二二萬

に屬し、自然の環境は不遇であるが、國民の勵精により、木材・パルプの外、麥類・亞麻・馬鈴薯等の農産を出し、又牛の牧畜が行はれる。ヘルシングフォルス(ヘルキ)はこの國の首府で、西岸のオーボと



共に、林産・畜産の取引が行はれる。

第三節 バルチック沿海諸國



バルチック海の東岸に沿ふ地方には、各種の民族が住んでゐたが、民族自決主義によつて獨立し、エストニア(主としてエストニア人でバル(タリン)を首府とする)、リトワニア(主としてリトワニア人でカウナスを首府とする)、ラトヴィヤ(主としてレト人としてリトワニアを首府とする)の共和

エストニアは面積約四萬五千方呎、人口約一一〇萬
レバル 一一三萬
ラトヴィヤは面積約六萬五千方呎、人口約一九〇萬
リトワニアは面積約五萬六千方呎、人口約二二〇萬
リガ 三七萬

國が起つた。何れも弱小で大都會は少いが、リガはロシアの帝政時代から主要な商港である。

第四節 ポーランド

Poland (波蘭) 附 ダンチヒ Danzig

大戦後に再興した共和國で、住民はスラブ族のポーランド人である。往時は一大王國であつたが、露・獨・奥の三國に分割せられ、爾來久しく強國の壓制に服してゐたが、終に舊領の大部を復して獨立するに

面積 約三九萬方呎
人口 約三〇四〇萬

天然の國境を缺くことはこの國の興廢と大關係がある

ウィーリッカの鹽層は四百米に及ぶ處があり岩鹽層中に地下都市がある

主要都邑 人口(萬)
ワルソー 一・一八
ロツ 六・一
レンベルヒ 三・三

ダンチヒ自由市は面積約一八九〇方呎、人口約四〇萬

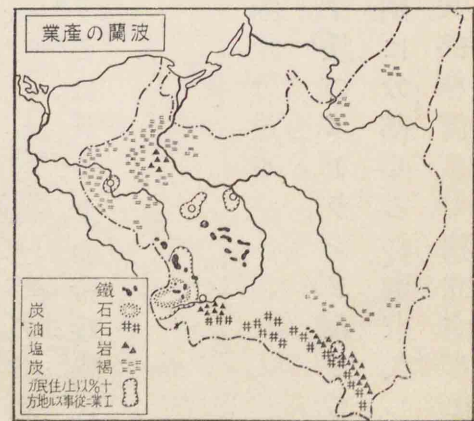
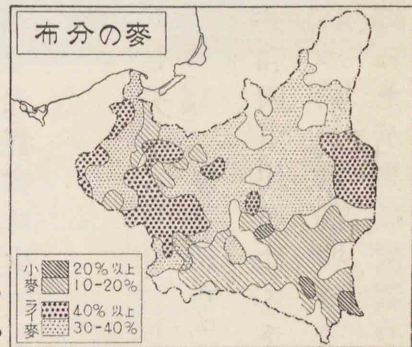
至つた。南境には高峻

なカルパチヤ山脈が連つてゐるが、大部分

は平野で、ウイストラ河が此處を流れ、麥類、馬

鈴薯、甜菜等を産し、林業、牧畜も行はれる。南

部は石炭、岩鹽、石油、鐵等の礦産に富み、クラカウに近いウィーリッカは、岩鹽の大産地である。工業は紡績、機業等が頗る盛で、ロツはその中心である。首府ワルソーは、ウイストラ河に跨り、交通商業の要地で、ポーゼンは農産物取引の一中心である。



ダンチヒ 大戰講和の結果、ドイツから離れて獨立の自由市となり、その一部はポーランドの海口として使用されてゐる。

第二章 北部ヨーロッパ

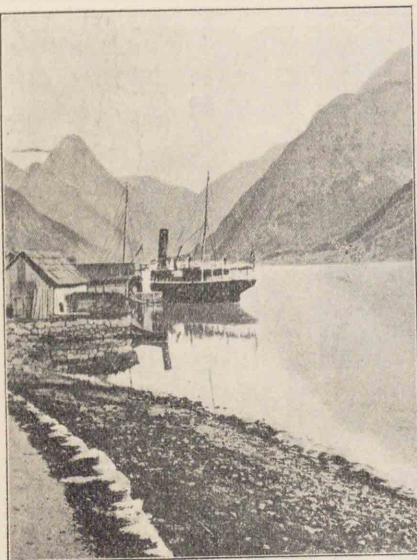
スカンデナヴィヤ・ユトランドの兩半島と、附近の島嶼とを占め、スエーデン・ノルウェー及びデンマークの三國に分れる。この三國は、嘗て一大國を形成したこともあり、民族は等しく、風習も殆ど似てゐる。

第一節 スカンデナヴィヤ半島

Scandinavian

地形

半島はスエーデン・ノルウェーの二國に分れ、スカンデナヴィヤ山脈が、殆どその境界となつてゐる。この山脈は、カレドニヤ山地の一部



で、概ね高臺性をなし、東斜面には多くの河が並行して、中流に細長い湖水を作り、臺地を離れる處は、急流、瀑布となつてゐるので、水力の利用に便利である。南部は平地が稍、廣く、ウエーネル・ウエッテルを始め、大小の湖水が多く、此等を連ねる運河も通じてゐる。

スエーデン

面積

約四一萬方呎

人口

約六一四萬

ノルウェー

面積

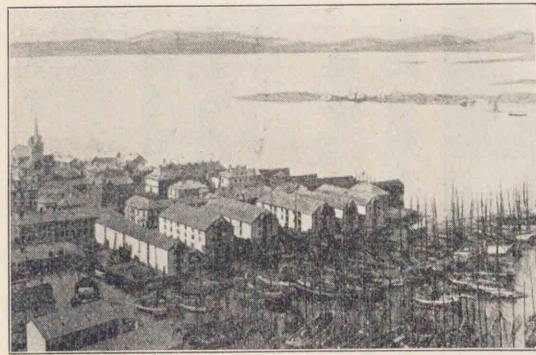
約三一萬方呎

人口

約二八〇萬

國境海峡の光景
山脚の狭い處に人家が散在し、船は油の如き水面を奥深く往來する

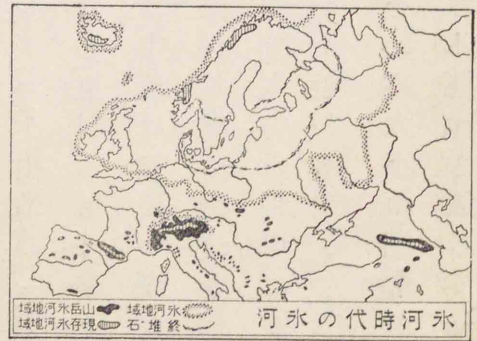
【圖】ハンメルフェ
ストの市街
世界最北の都邑で人口
は約三万ある



る。山脈の西斜面は、急斜して直に海に迫り、錯雑した多くの峡灣が此處に彎入し、又無數の小島が近海に羅列してゐる。
峡灣は、氷河の浸蝕を受けた深谷が、沈水した爲に生じたもので、ソーネ峡灣は長さ百八十軒、水深一千二百米に及び、兩側には一千米にも達する絶壁があつて、風光が雄大を極める。

氣候 西岸は雨雪が多く、割合に溫暖で海面の凍ることなく、北緯七十度の地に、ハンメルフェストの漁港もあるが、東岸は寒気が強く、ボスニヤ灣は、冬季數月の間凍結する。極北地方の夏は、晝が數月に互つて、夜半に太陽を仰ぎ、冬は夜が長く、續くが、深夜でも暗くはない。

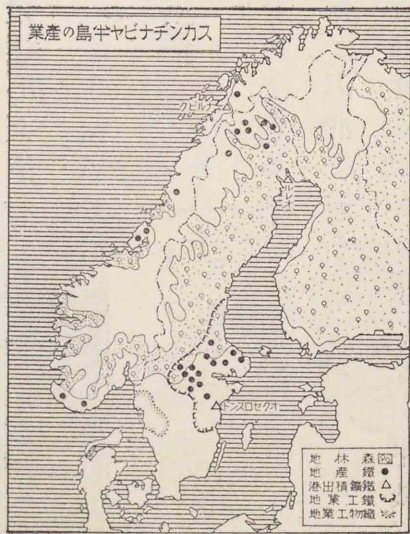
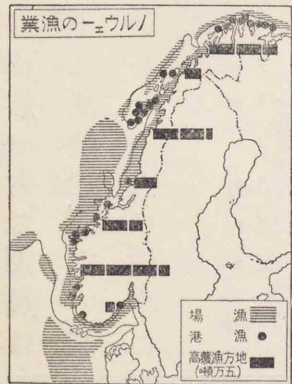
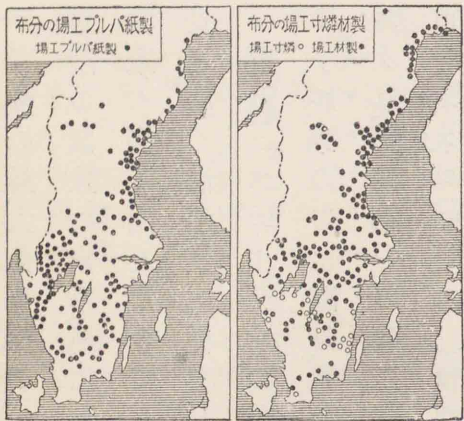
産業 スエーデンは一部に農業が開けて、麥



ゲリバラの鐵鑛は夏はルレオから冬はノルウエーのナルビクから英國等へ輸出する

ノルウエー式捕鯨は世界の模範で我が國でも之を應用してゐる

類・甜菜等を出し、又ダンネモラゲリ、バラ等の鐵鑛産地があつて、製鐵も行はれるが、第一の産業は林業で、製材の外、紙、パルプ、マッチ等の林産加工が盛に行はれ、ゲテボルグは此等の輸出が甚だ多い。ノルウエーにも森林はあ



最も主要なのは水産で、鯨、鯨鯨等の漁利が多く、近海は世界三大漁場の一に數へられ、ベルゲンはその大中心である。

住民政治 この二國は、共に立憲王國で、住民は少數の

北極海のスピッツベルゲン島は最近ノルウェーの所屬となりスバルバードと改稱された

【圖】 ストックホルム

多くの島の上に建った町で橋や水路が多い

主要都邑 人口(萬)

ストックホルム 四八

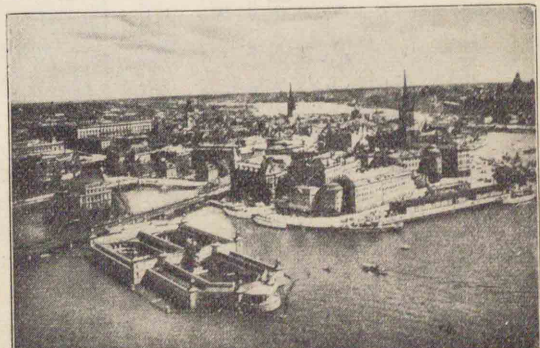
ゲテボルグ 二三

オスロ 二六

面積 約四萬三千方呎
人口 約三五五萬

ラップ族の外、大部分はチュートン族である。國民は冒険の氣象に富み、夙に海上に雄飛し、名高い探検家も多く出たが、今でもノルウェー人は海事に長じ、廣く海運業に従事してゐる。

都邑 スエーデンの首府ストックホルムは、メーラル湖の口に臨み、景色が極めてよく、ゲテボルグは、國內第一の商工都市である。ノルウェーの首府オスロ(舊名クリス)は、峽灣の奥に發達した港市である。



— 洲 パロ - コ — 150



Denmark (丹麥)
Iceland (冰島)

第二節 デンマーク

デンマークは、一大半島と多くの島々から成る。氣候が濕潤で霧が多く、東岸は寒氣が稍強いが、土地の利用が進み、農村組織が

輸出額の大部は畜産で殊に牛酪は過半を占める

我が近海の海底電線はデンマーク人の沈設に成るものが少くない

【圖】 コペンハーゲン

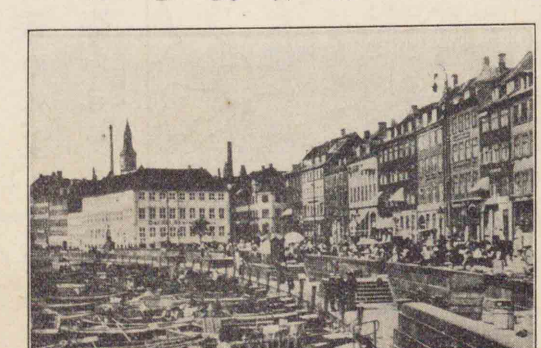
内海航路が盛であつた時代には繁榮を極めたが今は昔日の觀なく自由港風を設けてその挽回を期してゐる

コペンハーゲン 七三萬

アイスランドは面積約一〇萬方呎、人口約一萬

よく整つて、農業、牧畜が盛に行はれ、家畜、牛酪、煉乳等の輸出が甚だ多い。

政治は立憲王制で、昔は北歐に覇を稱へたことがあり、今もフェル諸島、グリーンランドの一部等を領して、盛時の名残を留め、又大戰の結果、嘗てドイツに割讓した、シュレスウイヒの一部を回復した。首府コペンハーゲンCopenhagenは、バルチック海の口を扼し、古來繁盛な商港で、學藝の設備も整つてゐる。アイスランドは半島地方の要港である。



アイスランド 大西洋の北部に位し、活火山や間歇泉が多く、住民は牧畜、漁業を産業とする。近時までデンマークに屬してゐたが、今は獨立國となつて、デンマーク王を君主に戴く。レイキヤビクはその首府である。

第三章 中部ヨーロッパ

アルプ及びカルパチヤの山地から、北方バルチック海に至る地域で、

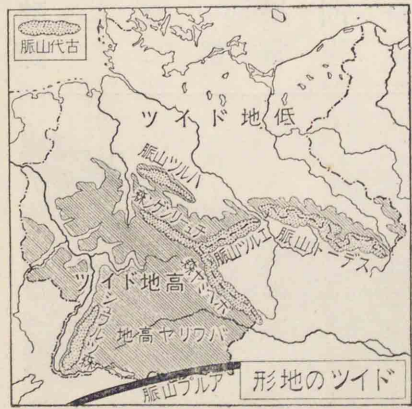
面積
約四七萬方
人
約六四〇〇萬

ドイツはリトニア・ポーランド・ダニチヒ・チェコスロバキヤ・オーストリア・スイス・フランス・ルクセンブルグ・ベルギー・オランダ・デンマークと境を接してゐる

ドイツ・スイス・チェコスロバキヤ・オーストリア・ハンガリー等の諸國が、この中に含まれてゐる。

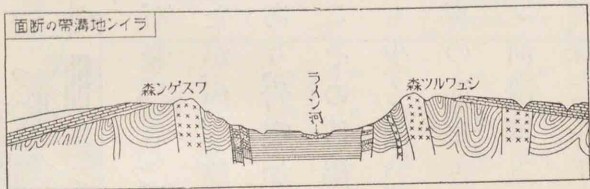
第一節 ドイツ
Germany (Deutschland) (獨逸)

地形 歐洲の中部にあつて、多くの國々と境を接し、地形上、南北の二區に分れる。南ドイツは、南境に連るアルプ山脈の外、主として古代山地(パリスカ)に屬し、それがシワルツ森、ボヘミヤ森、ハルツ山脈等の數多の地塊に斷裂し、且割合に低いから、交通を妨げることは少い。此等の山地に挟まれて、バワリヤ高地があり、ダニューブ河が此處を東流する。北ドイツは、ヨーロッパ大平原の一部で、海岸には砂嘴や潟が列んでゐる。ライン・ウーゼル・エルベ・オーデル等の河が、この平野を流れ、運河の連絡が整つて、舟運の



雄大な流と麗らかな沿岸の風物とを示す山腹の階段状をなすのは葡萄園で高く聳つのは古城

一定面積の森林から得るこの國の收益は日本の三十倍乃至五十倍に上るといはれる



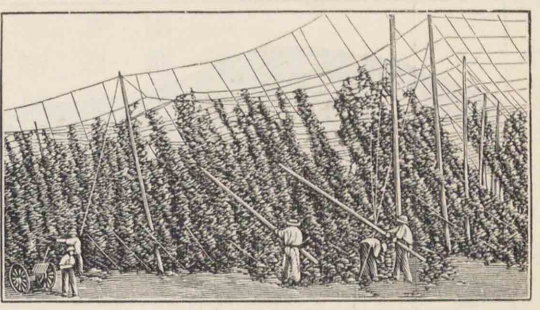
便がよく、河畔に良港が多い。

ライン河の上流は、有名な地溝帯を流れ、中流は峽谷をなして、河畔に數多の古城址が聳え、詩的の風景を作つてゐる。この流域は産業がよく開け、殊に下流地方は、世界的大工業地帯の一で、沿岸に數多の河港市が發達してゐる。

氣候 南部は土地が高く、北部は低く且海に臨むから、南北の氣温には著しい差はないが、東部に進むにつれて大陸性に傾き、ライン河谷と北海沿岸とが、最も溫和である。

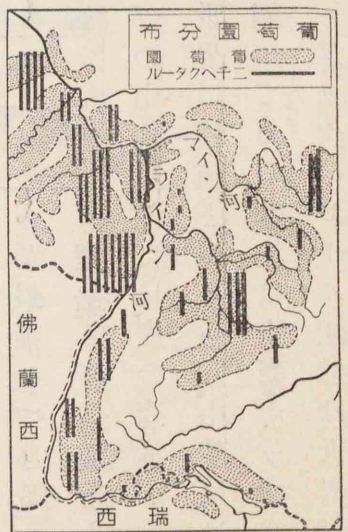
産業 産業地帯も南北に分れる。南部の山地盆地には、廣い森林があつて、その經營は世界の模範と稱せられ、山麓には牛・山羊等を多く飼つてゐる。盆地は小麥・ホップ・煙草等の農産に富み、バワリヤのビール醸造は、世界獨歩といはれ、

【圖解】ホップの採集
ホップを收穫する光景である

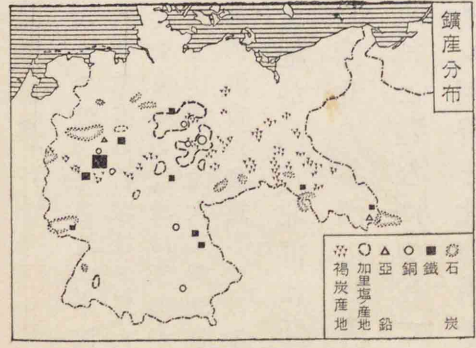


ドイツの水力は餘り多くはないが利用率の大きいことは世界第一である

上重要なものである。その他褐炭は到る處に産し、銅・亜鉛等の産額も少くない。鑛産の豊富と、教育の進歩とは、著しく工業を發達せしめた。ライン河流域と、サクソニヤ地方とは、二大工業地帯で、殊にルール河の流域は、ラ

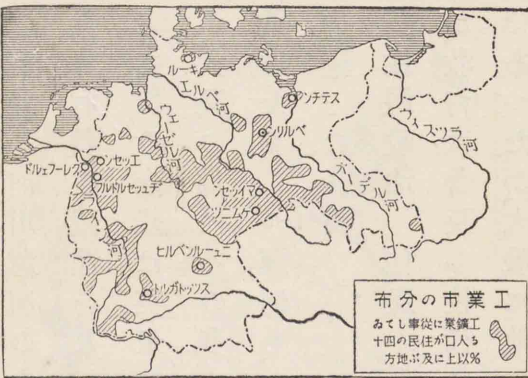


ヘンはその中心地である。ライン河谷には葡萄園が多い。鑛産は大戦の結果、鐵(ロレインヤ)

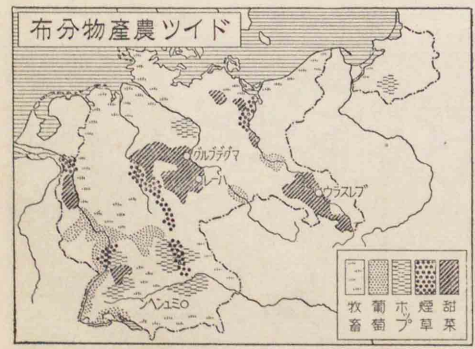


クレイフェルトは佛國のリヨンに次ぐ絹織物の大産地である

馬鈴薯は貧者の常食となり又之より酒精を製する



盛である。従つて甜菜糖の産額は世界第一に位置し、マクデブルグ・ハレは製糖業の中心である。その他ベルリンの化學工業は世界的に名高く、ハンブルグ・ブレーメン・ステテン等は造船業が行はれる。



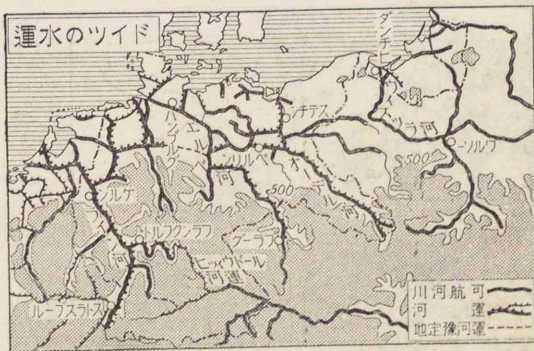
インの心臓部と稱せられ、クルップ會社のあるエッセン(工業)を始め、デュッセルドルフ(羊毛・クレイフェルト(絹織)等の大工業市が多い。サクソニヤ地方では、ケムニツ(工業・繊維)ライプチヒ(出版)・マイセン(硝子)等が著れ、又バワリヤのニールンベルヒは、鉛筆の世界的産地である。

ライン河及びダ
ニール河は戦前
から国際河川であ
ったが名實はな
かった戦後エル
ベ・オーデル・ウィ
スツラ・ニーマン
の諸河と共に国際
河川として開放さ
れた

要するにドイツの産業は、科學的に合理的に行はれて、その製品は堅實を特色とする。貿易は、次第に回復に向ひ、食糧品・原料品を輸入して、織物・機械・化學製品等を輸出し、我が國へも染料その他の化學製品・機械類等を輸出する。

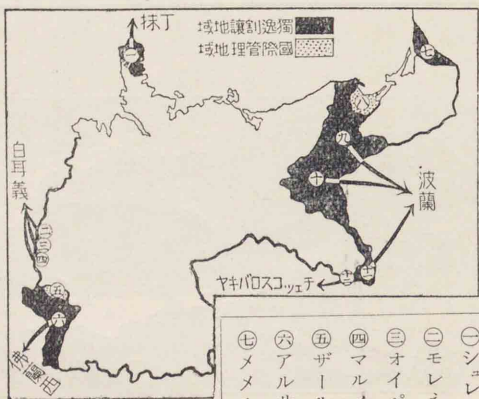
交通 河川運河の水運が便利な上に、鐵道も世界有数の發達をなし、航空路も殆ど全歐洲に通じてゐる。商船は英米に次ぐ噸數を持つてゐたが、大戰の爲にその多くを失ひ、又専ら軍用として設けたキール運河も、一般の爲に開放され、軍港であつたキールは、自由港となつた。

住民政治 住民の殆ど全部はチュートン族で、稍鈍重との批評はあるが、教育は普及し、技術は進歩し、戦前の國力伸展は實に目覺しいものであつたが、大戰に敗れて甚しい打撃を受け、今は聯邦制の共和國と



圖解 ベルリン
市の中央部を空中から見た光景

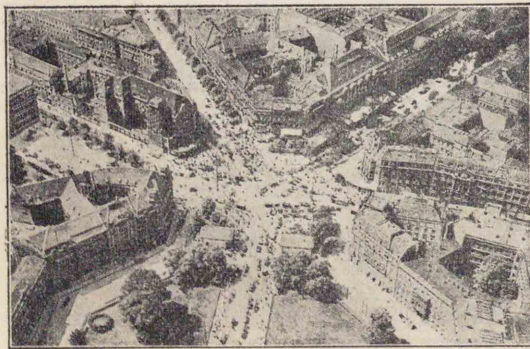
主要都邑 人口(萬)
ベルリン 四〇二
ハンブルグ 一〇八
ケルン 七〇
ミンネン(ヘン) 六八
ライプチヒ 六八
エッセン 六三
ドレスデン 六二
ブレスラウ 六〇



- ① シュレスウィヒ(丁抹)
- ② モレネ
- ③ オイペン (白耳義)
- ④ マルメデー
- ⑤ ザール河流域(國際聯盟管理)
- ⑥ アルサス・ローレン(佛蘭西)
- ⑦ メメル地方(聯合國管理となり今はリトワニヤ)
- ⑧ ダンチヒ(自由市となる)
- ⑨ 西プロシヤ大部
- ⑩ ポーゼン
- ⑪ 上シレシヤ一部
- ⑫ 同右(チェッコスロバキヤ)

ドイツは大戰前まで、プロシヤを中心として聯邦制帝國を組織し、海外にも廣い領土を有してゐたが、戦後は帝政を廢して共和國とし、海外領土の全部と本國に於ける七萬方軒餘の領土とを失ひ、東プロシヤは飛地として殘され、軍備は制限せられ、莫大の賠償金を課せられる等、大打撃を受けたが、不屈な國民性は、國運の復興に努力してゐる。

都邑 ベルリンはプロシヤの首府で、又聯邦の首都である。政治・經濟及び交通等の大中心をなし、大陸第一の都會である。街衢は極めて莊重

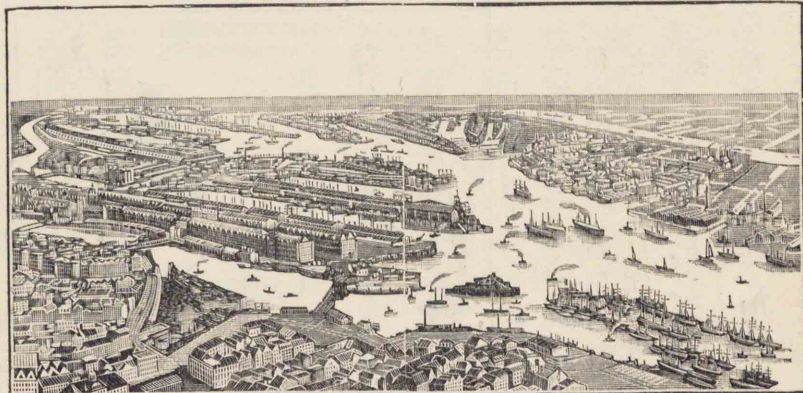


なり、大統領が政權を握り、國民議會(國民の)聯邦會(聯邦各國)の二院がある。

フランクフルト	五四
デュッセルドルフ	四六
ハンノフェル	四二
ニュールンベルヒ	三九
スツットガルト	三四
ケムニツ	三三
マグデブルグ	三〇
ブレイメン	二九
ケーニヒスベル	二八
ステチン	二五
キール	二一

埠頭
三十七箇の港運百寮の
起重機等設備が完備し
てゐる。

図説
ドレスデン
この地の繁盛は名産を
多く産するので名高い

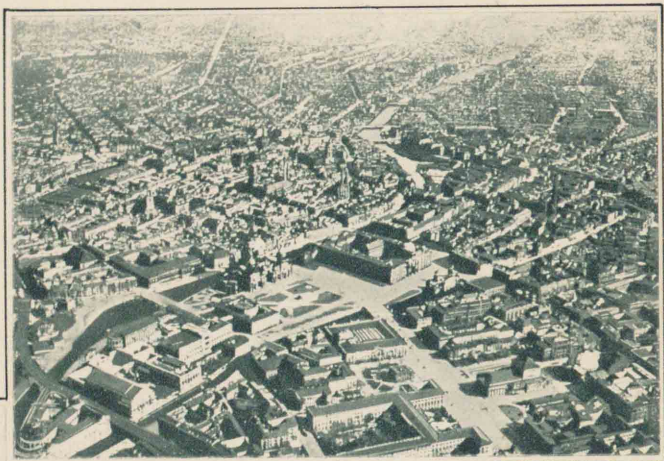


で、名高い大學があり、世界學術の府と呼ばれ
る。エルベ河畔のハンブルグは、ブレームン、リ
イベックと共に自由市である。ハンブルグは世
界的の商港で、築港の設備は世界の模範とい
はれ、ブレームンは之に次ぐ商港である。
ライン河の沿岸には、
重要な港市が多い。ケル
ンは軍事交通の要地で、
洋航船の終點に當り、エッ
セン、フランクフルト等
と共に、主要な商工都市
である。ウルテンベルヒ
の首府スツットガルトは、
樂器の産に著れ、バワリ



大寺院と舊王宮
右方の最も壯大なのは大寺院、そ
の左の角に舊王宮が見える

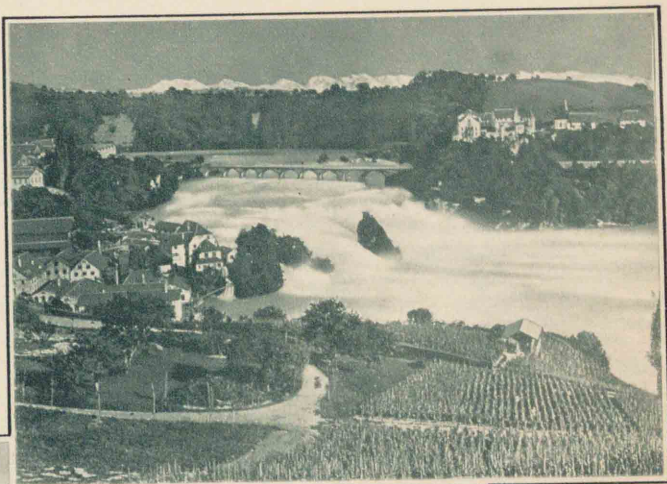
ベルリンの中心部
中央の流れはスプレー河で、河畔
に大寺院や壯大な建物が多し



ブレスラウ

オーダー河が中部を貫流し、シ
ヤ商業の大中心である

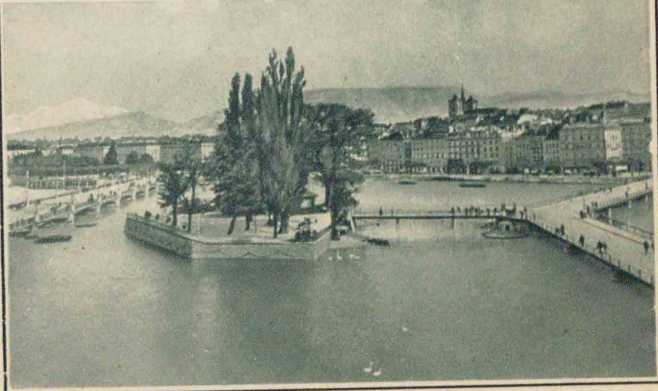




ライン瀧
 シャフハウゼン附近の光景で、別荘
 が多く近景は葡萄園である



ジュネーブ
 ローヌ河とアルプ河との會點から
 東方に市街を見た光景



モンブラン橋
 ジュネーブ湖の落口に架けてある
 橋で遙に白雪を戴くはモンブラン

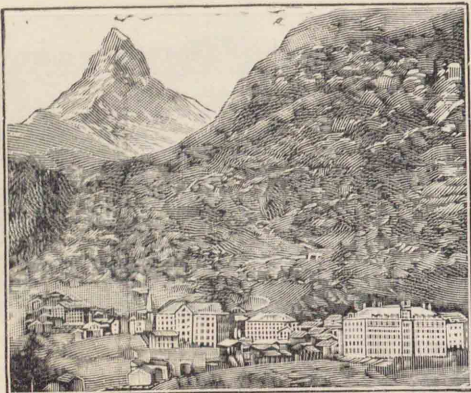
ヤの首府ミューンヘンには、名高い大學がある。サクソニアの首府ドレ
 デンは、風景の秀麗と美術工藝の發達とで名高い。オーデル河上流の
 ブレスラウは、農産畜産の市場で、又工業が盛である。
 Breslau

日本との關係 我が軍事學術技藝等の進歩は、この國に負ふ所が極めて多く、又こ
 の國は、極東に勢力を張り、我が有力な競争者であつたが、大戦後、彼の根據地とした
 膠州灣は、我が國から支那に返し、又その領土であつた南洋諸島の大部は、我が國で
 委任統治を行ふことになつた。今は國際關係が頗る親密で、貿易も増加の傾向にある。

第二節 スイス
 Suisse(Switzerland)(蘇伊)

面積 約四萬一千方
 人 約四〇〇萬
 スイスは、ドイツ・
 オーストリア・イ
 タリヤ・フランス
 の間に挟まつてあ
 る

圖解 マッテルホル
 ンの遠望
 槍のやうに鋭く聳えて
 あるのがそれで如何に
 も崇高な感じがする



地形 スイスは諸強國の間に挟まる小國
 で、面積は我が九州と殆ど等しい。國の南半はア
 ルプ山地に屬し、西北にはユラ山脈が連つて、
 その間に一帯の臺地を挟んである。
 Jura

アルプ山脈中には、モンテローザ、マッテルホルン等の高
 山が聳えて、氷河を懸け、地質時代の氷蝕によるシタネー
 プ・ニーシャテル・テューリヒ・ボーデン等の湖水が、處々に散
 Nenciated Zurich Boden

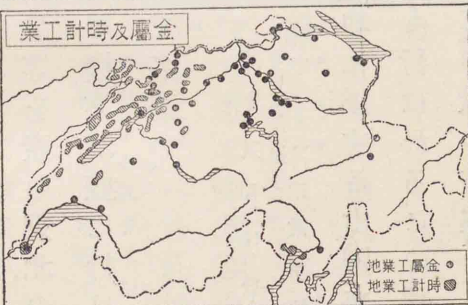
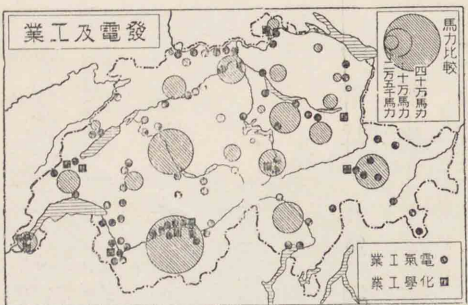
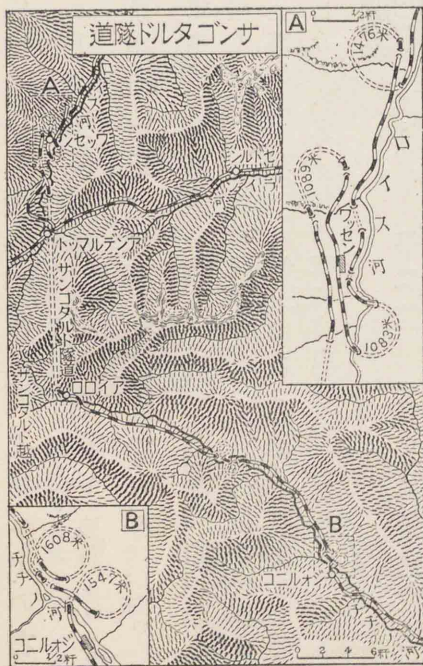
旅客の消費する金額は年々二億圓に上るといはれる

【圖解】ジュネーブ湖畔の風光
湖の東部を示したもので市街はモントローである



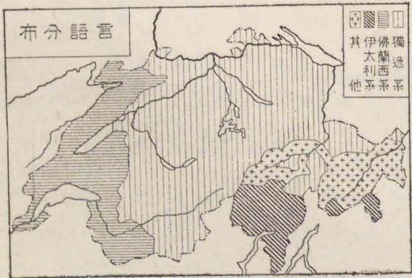
プロン・サンゴタル
St. Cuthard
下等の大隧道を通じ、登山用の索道もよく整つてゐる。
産業 耕地は狭

在してゐる。此等の風物は、優麗の都市と相待つて、風景が絶佳な上に、高山性の気候は療養に適するので、世界の各地から保養・遊覽等の客が甚だ多く、その散ずる金銭は、本國の一財源である。従つて旅舎・登山機關等の施設を完備し、觀光客の待遇に意を注いでゐる。
殆ど全部が山地で、鐵道の敷設は困難であるが、古來南北兩歐の交通上、重要な通路に當り、今は横斷鐵道も數線あつて、シン



利な精巧品を主眼とし、織物(レーリス・モスリ)・化學製品・金屬製品等を出す。殊に時計の製造は世界に卓越し、ジュネーブはその集散の中心地である。

住民の大部はチュートン族のドイツ人であるが、フランス人・イタリア人も多いので、この三國語が並び用ひられる。教育はよく普及して、勤勉力行の美風に



いが、小麥・燕麥・馬鈴薯・葡萄等の農産を出し、林産も亦多く、木工業(器具)が發達してゐる。山腹や谷地には、牛・羊等の牧畜が行はれて、牛酪・煉乳その他乳製品の産出が多い。工業も水力を利用して盛に行はれるが、地形の關係上、輸送に便

【圖】チューリヒ

主要都邑 人口(萬)
 チューリヒ 二五
 バーゼル 一四
 ジュネーブ 一四
 ベルン 一一

富む。この國は列強間の緩衝地帯として、夙に局外中立地となり、國際事業の中心となることが多い。政治は聯邦共和制で、軍備の要は殆どない。

都邑 首府ベルンは、アール河に沿ひ、萬國聯合郵便電信事務局がある。ジュネーブは同名の湖に臨み、赤十字社本部や、國際聯盟本部がある。バーゼルはリボン、藥品等を産し、東北のチューリヒは國內第一の都會で、機業が盛に行はれ、ルツェルンは風景がよいので名高い。



— 洲パロ - コー - 162

第三節 オーストリア

附 Austria (奥地利) Liechtenstein

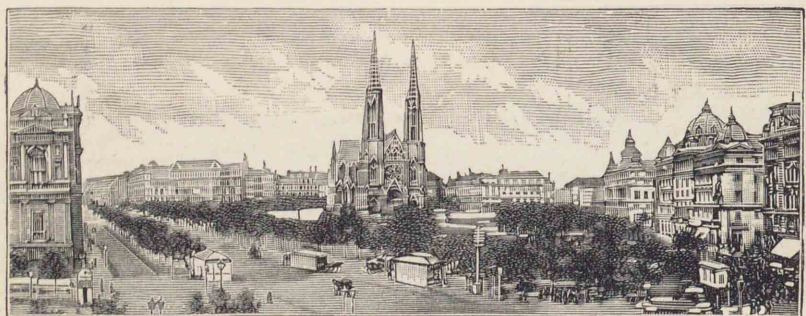
大部はアルプ山地に屬する山國で、産物は少く、馬鈴薯、葡萄酒、木材、鐵等が稍著しく、牧羊も行はれる。この國は近時まで、ハンガリーと聯合して一大帝國を建て、中歐の重鎮であつたが、大戦中に革命が起り、域

面積 約八萬四千方軒
 人口 約六七〇萬

【圖】ウィーン

大國の昔を偲ばれる華麗な市街で、近景の尖塔は教會である

リヒテンシュタインは面積一五九方軒、人口約一萬人
 面積 約九萬三千方軒
 人口 約八六八萬



内に住む各民族が或は獨立し、或は他國に合し、今はチエートン族の住地のみが残されて、一小共和國となり、面積、人口共に舊時の八分の一に減じた。首府ウィーンは、水陸交通の要地に發達した古い都會で、市街の壯麗、風俗の華美なことは、フランスのパリに比べられ、織物、美術品等を産する。

リヒテンシュタイン オーストリアとスイスとの間に挾まる獨立の小侯國である。

第四節 ハンガリー

附 Hungary (匈牙利)

大戦前までは、オーストリアと聯合して共同の君主を戴いてゐたが、大戦中の革命によつて、異民族の住地を失ひ、マジヤール族(マジャール族)の住地のみから出來た一小王國で、大部はハンガリー平原をなしてゐる。雨量が少く、一部はプスタと呼ぶ草原にな

ブダペスト一〇〇萬

【註】ブダペスト

南から北を望んだ光景
で吊橋の左方に見える
宏壯な建物は王宮

面積

約一四萬方軒

人口

約一四七〇萬

舊ドイツ領の一小
部分をも含む



つてあるが、夏は雷雨があつて、玉蜀黍・麥類等の農産が多く、又葡萄・甜菜等を出し、ブスタ地方では、馬・牛・羊等の放牧が行はれる。首府ブダペストは、交通商業の中心地で、製粉・屠畜等が行はれる。

第五節 チェコスロバキヤ

Czechoslovakia

この地は近時まで、奥洪國の一部であつたが、大戦後に獨立して共和國となつた。住民の大部分は、スラブ族のチェク人とスロバク人とである。

國の西部には、ボヘミヤ盆地があつて、エルベ河が此處を流れ、東部にはカルパチヤ山脈が連つて、その麓に平野がある。氣候は稍寒い、麥類・馬鈴薯・甜菜・葡萄・ホップ等の農産に富み、石炭・鐵等の産出も多く、西部にはラヂウム鑛を出す處がある。工業は

主要都邑

人口(萬)

プラハ 六八

ブリン 二二

【註】カールスパー

中歐に於ける最も名高い温泉地で、立列んでゐるのは多くホテルである

ボヘミヤ地方に盛で、織物(その中心が)砂糖・ビール(その中心が)を産する。首府プラハは古雅な都會で、風景もよく、この地を中心として、硝子・陶器等の精巧品を出す。西部には温泉が多く、カールスパーは著名な温泉都市である。

第四章 西部ヨーロッパ

大陸と大西洋との接

觸點に當る英・佛・蘭・白の

四國を含み、古代山地の錯雜する地域であるが、南部の外には高峻な山地はない。海岸は良港が多く、氣候は歐洲中で最もよく、且その大部は、天然資源に富む等の自然的條件に恵まれ、經濟活動の甚だ盛な地方である。



面積 約五五萬方軒
人口 約四二〇〇萬

第一節 フランス

France (佛蘭西) 附 モナコ Monaco

地形 この國の輪廓は、略六角形をなし、その三面は海に臨み、三面は他國と境を接する。東南境にはアルプ山脈が連つて、モンブランを始め高山が多く、その北にユラ山脈がある。西南境にも、高峻なピレネー山脈が連つてゐるが、東北部には天然の障壁がない。内部には、稍南に偏して、中央臺地と呼ばれる古代山地の殘塊があつて、多くの休火山を戴き、その東側は急斜して、ローヌ河の谷となり、東北に斷續して、數多の地塊を作る。西北は著しく削剝されて、半島部に丘陵を残す外、大部は平野となり、ガロンヌ・ロアール・セーヌ等の河川が此處を流れる。

海岸は單調で、北部のノルマンディー・ブルターニュの兩半島と、地中海面のリオン灣とが稍著しく、東南の海上にコルシカ島がある。

氣候 西部は暖流の影響を受け、溫和で雨量が多い。地中海岸は地

コルシカ島はナポレオン一世の生地
でイタリヤ語が用ひられてゐる

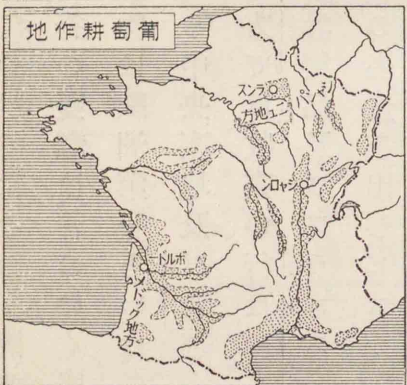
地中海式氣候は夏季乾燥して冬季に雨量が多く溫暖なのを特色とする

圖解 ニースの海岸 著名な保養地で、國らしい趣がある

圖解 葡萄酒園 南フランスの丘陵に於ける葡萄酒園の光景

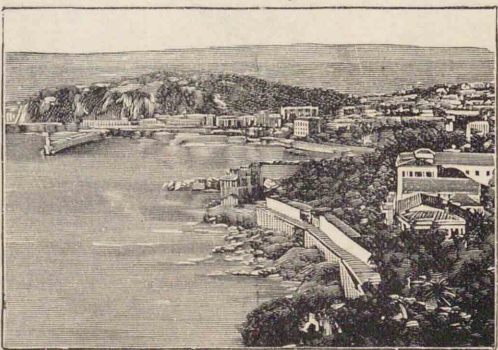


葡萄酒耕作地



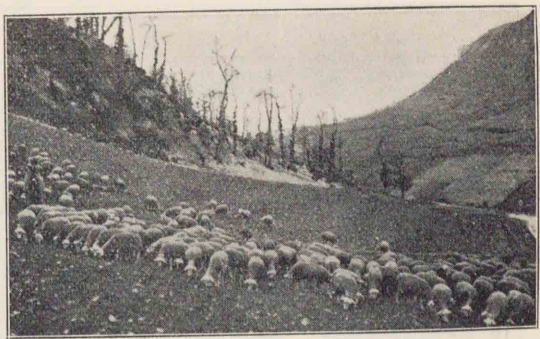
中海式氣候で、一層暖く、冬も霜雪を見ない。殊に背後に山を負ふ處は、避寒地として名高く、ニースやモナコは、冬の歡樂郷となつてゐる。

産業 農業はよく發達し、北部は麥類、馬鈴薯、甜菜等を出し、南部は玉蜀黍の主産地で、地中海岸には、オリーブ、柑橘類



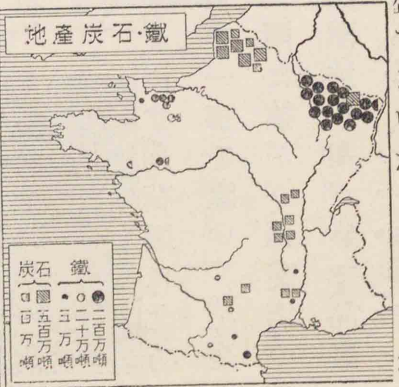
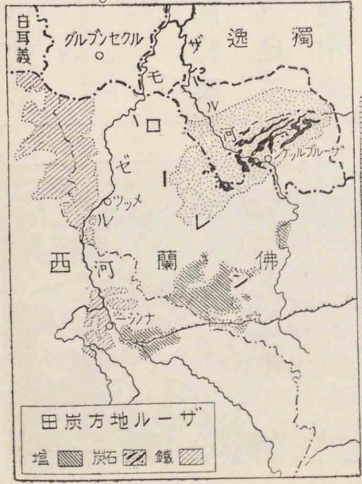
を出す。葡萄酒は北方の一部を除いて殆ど全國に擴がり、葡萄酒の醸造が甚だ盛で、品質も優れ、ランス(シヤンパ)・ボルドー(メドック)・シャロ

絹絲産額は今は少
くなり多く輸入に
仰ぐ
中央臺地の西南部に於
ける牧羊の光景

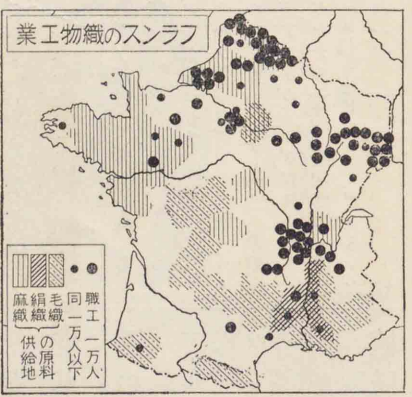


ン(河谷)等は、その集散地として名高い。ローヌ
河谷の養蠶は、昔の如く盛でないが、リヨンの絹
織物は、歐洲第一といは
れる。中央臺地及び北部
地方では、牧畜が行はれ
て、乳製品及びフランス
革の名産を出し、ビスカ
ヤ灣には、鯧、鯖及び牡蠣
等の産がある。

鑛産は鐵・石炭を主とし、リール(炭石)・セン
テ・チ・ヌ(鐵・石)等は、その主産地であつた
St. Etienne
が、更に大戰の結果、ロレーン^{Lorraine}の鐵山及び
ザール^{Saar}の石炭を得て、産額が増加した。
此等の石炭産地に近く工業市が開けり。

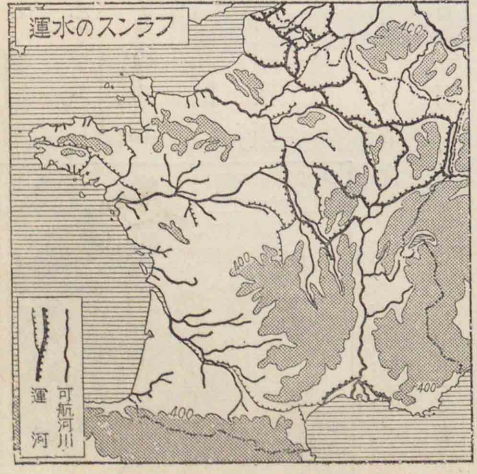


工業は未だ英・獨
白等に及ばない



ール(毛織物等)・ランス(毛織)・ルーアン(毛織)・リヨン(毛織)等
は、その重要なものである。美術工藝は本國の
特色で、化粧品・装身具等は、世界流行の魁を
なし、パリがその中心である。
貿易は各種の織物・毛絲・葡萄酒等を輸出し
て、原料品・食糧品を輸入し、マルセイユ・ボルド
ール・アーブルは

本國の三大商港である。我が商品の主要
な輸入國で、我が國は生絲・羽二重等を賣
り、毛絲・葡萄酒等を買入れる。
交通 鐵道網がよく發達し、パリは
歐洲に於ける大幹線の集中點となつて
ゐる。河川は大小の運河と共に、交通の便
が極めてよく、海上航路は廣く世界の要



最近二回の人口調査期間に於いて毎年平均二千人中五・四人の減少を示した

主領要土

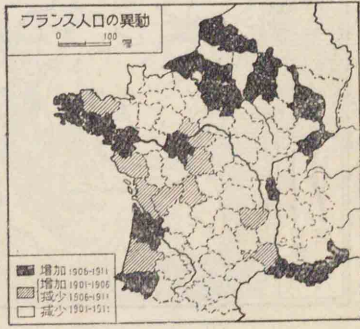
(委任統治地・地保)

アジア	佛領印度支那 佛領印度 廣州 灣(租借) シリヤ地方
アフリカ	アルゼリヤ チュニス モロッコ サハラ及びスダンの大部 カメルン(部) トーゴ(部) 佛領赤道アフリカ マダガスカル
アメリカ	ギヤナの一部 西印度の一部
大洋洲	ニールカレドニア ポリネシアの一部

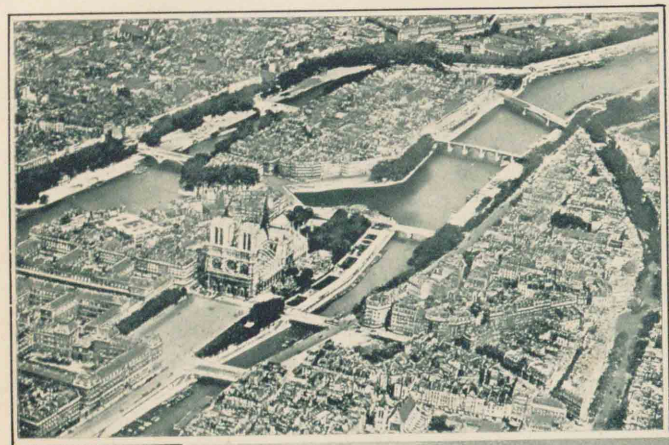
地と通じ、航空路の發達も著しい。

住民 住民はラテン族のフランス人を主とし、一部にはチヌトン族や、原住のケルト族もある。一般に國民の増加率が低い。多くは舊教徒で、文化の程度が高く、殊に美術・文藝に長じてゐる。言語は極めて優雅で、廣く社交上・外交上に用ひられる。

政治 國民は熱情に驅られ、理想に走り易く、昔から國體の變革が屢行はれたが、普佛戦争以後共和制を採り、今日に及んでゐる。軍備は海陸共に頗る強勢で、空軍は殊に傑出してゐる。海外領土が甚だ廣く、本國の二十三倍に達し、更に大戰の結果、曩に失つたアルサス・ロレーンを回復して境域を擴げ、又ドイツ・トルコ等の舊領土中、この國の委任統治地となつた處も多い。然し堅實味を缺ける國民性として、植民政策には餘り成功してゐない。



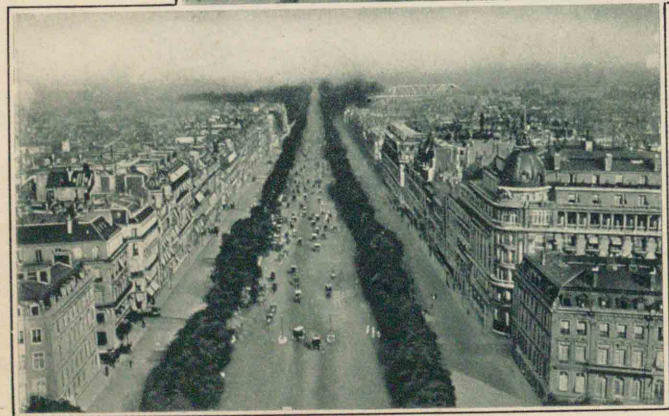
— 洲 パ ッ ロ ー コ — 170



パリ市の下瞰
市の心核であるセーヌ河中の島で
ノートルダム寺院が人目を惹く



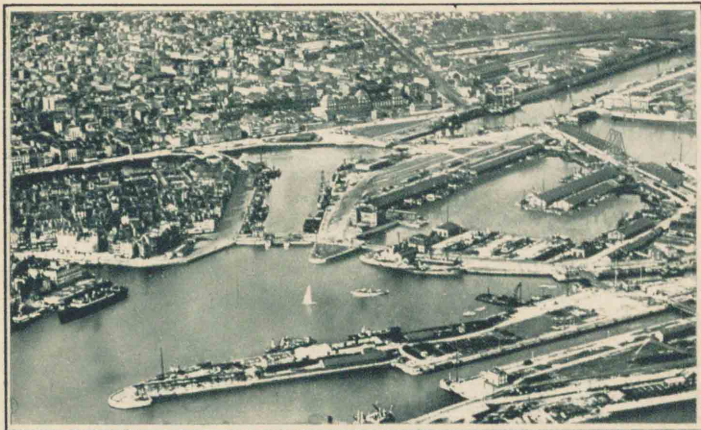
パリーの展望
壯麗な建物に埋められ遙にエッフェル塔が峙つてゐる



パリーの市街
市内で最も清潔なシャンゼリゼー街の光景

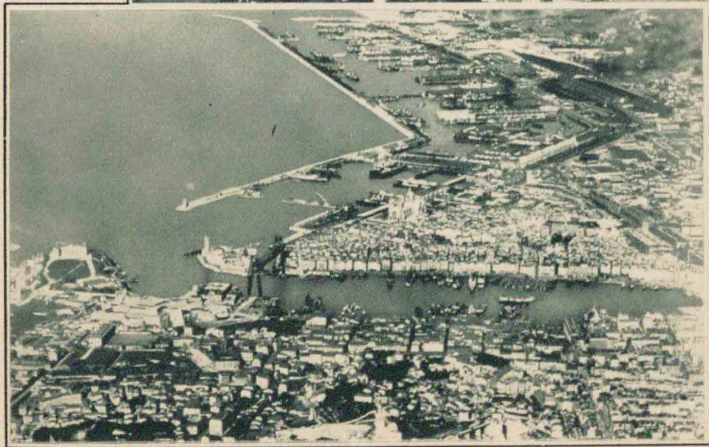
ルアーブル港

セーヌ河の河口に位しパリ盆地の門戸として繁盛を極める



マルセーユの埠頭

壯大な棧橋に多数の船が輻輳し地中海の大港たる面目が現れてゐる



リヨンの下瞰

ガロンヌ河が市内を貫流し鐵道と水運との便を兼ねてゐる

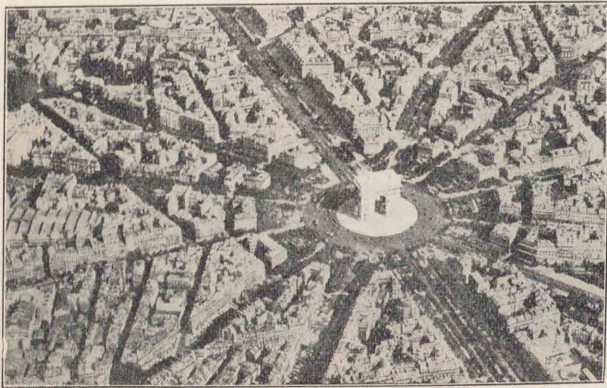


主要都邑

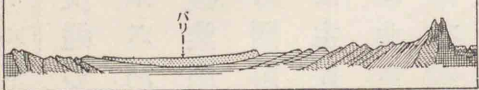
人口(萬)	
パリ	二八七
マルセーユ	六五
リヨン	五七
ボルドー	二六
リール	二〇

都邑

首府パリはパリ盆地の中心に位し、セーヌ河に跨る城塞市で、政治・商工業の要地を占め、大陸第二の大都會である。もと防備に便利な河中の島を中心として、發達膨脹したもので、道路の整備は、都市計畫の一模範とされる。ノートルダム寺院・エッフェル塔・ルーブル博



面断の地盆ーリパ



物館・大劇場等の壯大な建物が多く、市街の華麗は、世界無比といはれる。市に近いヴェルサイユには、名高い宮殿があり、對獨平和條約は、此處で調印された。ルーアンは繁盛な河港で、今は綿工業の中心となり、河口のルーアールは、東北のダンケルクと共に、主要な商港である。西南のシェルブルは、共に軍港で、造船業が行はれる。西部のナントは、砂糖の取引が行

部
凱旋門を中心として空中から見た光景

頭 圖 波ルドーの埠頭
河口から百軒の上流に
位し葡萄酒・ブランド
ーの取引は佛國第一で
ある

メツの附近から
岩鹽を出す
セダンは大戦の古
戰場として名高い

モナコの面積は二
十一万軒人口二萬
餘に過ぎないが自
國發行の貨幣及び
郵便切手がある

面積
約三萬方軒
人口
約八一〇萬
圖 牛乳賣の女
犬を馬に代用して車を
挽かせ農耕を助けさせ
るのはベルギー・オラ
ンダ邊の特習である



日本との關係 明治維新後に於ける我が軍事法律學藝等の進歩は、この國に負ふ所が頗る多く、今も學藝殊に美術研究の爲に、我が國から留學する者は少くない。モナコ フランスの東南海岸に位し、極めて小さい獨立の侯國である。一種の賭博を公許し、その税金で國費を支辨してゐる。氣候が溫和で、風光も明媚な爲、保養遊樂の地として知られ、又有名な海洋博物館がある。

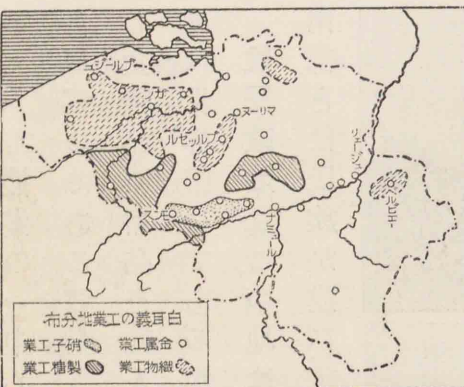
はれ、ボルドーは葡萄酒の輸出が多く、ツールーズは交通の要地である。ローヌ河畔のリヨンは、内地交通の大中心に位し、機業が盛に行はれ、地中海岸のマルセイユは、この國第一の商港で、盛に石鹼を製出し、ツールンは主要な軍港である。アルサス地方には農産が多く、工業も亦盛で、ストラスブールはその中心市である。ロレーンは鐵の大産地で、この附近には、メツ、ベルダン、ナンシー等の國防上重要な都市が多い。

第二節

ベルギー

Belgium (白耳義) 附ルクセンブルグ

地形 地形は極めて單調で、東南の一部は臺地であるが、大部は平野で、マース・シエルトの兩河が此處を流れてゐる。

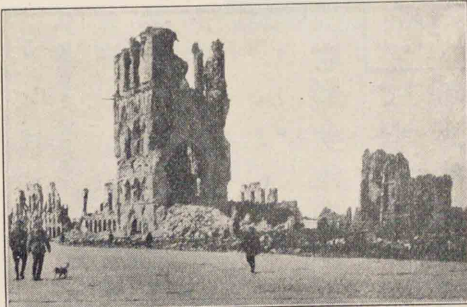
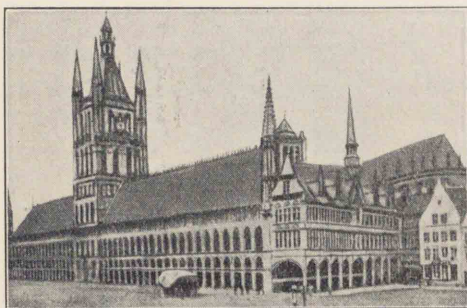


氣候・産業 不生産地が少い上に、氣候も溫和で、耕作がよく行届き、麥類・馬鈴薯・甜菜・亞麻等の産に富み、收穫率の高いことは、世界第一といはれ、乳牛の飼養も亦盛で、乳製品の産出が多い。東部には大炭田があり、鐵の埋藏も豊富なので、此處に製鐵・製鋼を始め、硝子・機織・精糖等の工業が盛に行はれ、エー・ジューはこの工業地帯の大中心である。西部



北部にはフレミッシュ語を話すフレンダ人(チエートン系)南部には佛語を用ひるワールン人(ラテン系)が多い

【圖】大戦の爲に荒された市街
ベルギーの西部にある市街(上圖)の公會堂が戦前(上圖)と戦後(下圖)と變れる有様を示したもので被害の如何に大なりしが察せられる



のガンも機業の一中心をなし、ブルッセルのレースは、家内工業として世界獨歩である。貿易も極めて盛で、主として鐵、石炭、板硝子等を輸出し、食糧品原料品を輸入する。河川、運河の水利が便利な上に、鐵道の密度は世界第一であるが、海運は多く外國船による。

住民政治

この地は、チエートン族とラテン族との接觸地で、北部と南部とは民族が違ひ、言語も異なるが、共に舊教徒で、公用語には佛語を使用する。人口密度は世界第一で、殆ど我が國の二倍に當る。

この國は、強國の間に挟まれて、古來屢、戰場となり、ナポレオン一世の敗戦地として名高いワテローも此處にある。世界大戦にも、ドイツ軍に蹂躪されたが、講和の結果、國境を東方

コンゴはもとベルギー王の管理に屬する獨立國であつたが明治四十一年に之を本國に合併した

【圖】アンベルス シェルト河岸の一部を示したもの

主要都邑 人口(萬)
ブルッセル 八三
アンベルス 三〇

ルクセンブルグは面積約二五九〇方
糶、人口約三〇萬

面積
約三萬三千方糶
人口
約七九〇萬
オランダの別名ネーデルラントは低地の意である

(モレネ・オイペ)に擴げ、アフリカの一部を委任統治地とし、又戦前までの局外中立を脱して、完全な獨立の立憲王國となつた。アフリカのコンゴは、以前からこの國の領土である。

都邑

首府ブルッセルは、市街が麗しく、小パリ

と呼ばれる。リエージュは製鐵業が盛に行はれ、アンベルスは西歐の大門戸である。

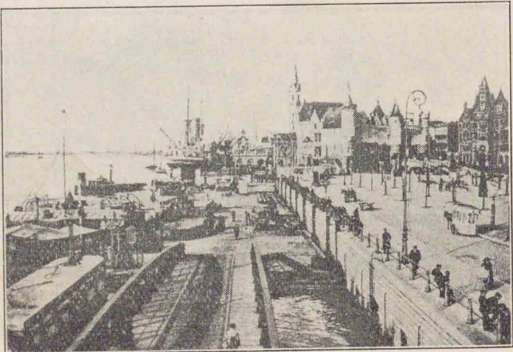
ルクセンブルグ 獨佛白の三國間に挟まる大公國で、同名の首府があり、鐵の産が多い。

第三節

オランダ

Holland (Netherlands) (和蘭)

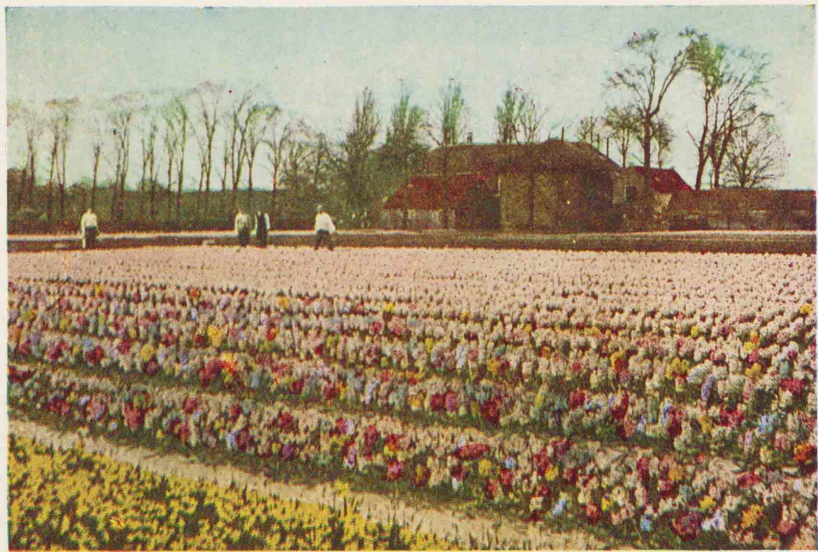
地形 國の殆ど全部が平野で、海岸地方の大部分は、土地が海面よりも低いから、天然の砂丘と人工の堤防とで、海水の浸入、河水の氾濫を防ぎ、風車や蒸氣機關で潜水を排出してゐる。又海面の埋立が盛に行はれ、ゾイデル海は年々面積を縮小する。ライン・マース・シェルト等の河





場牧のダンラオ

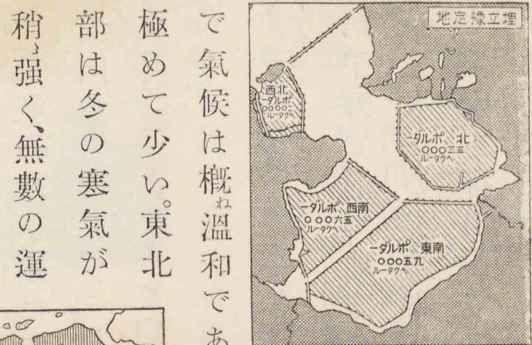
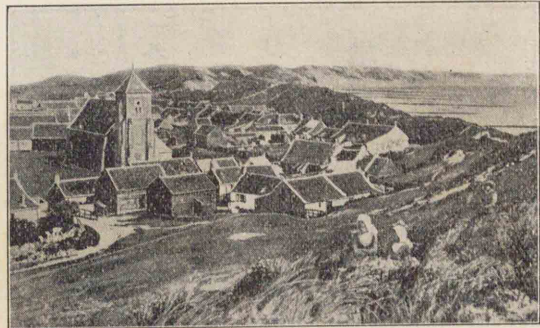
るあて畫繪りあて詩に眞、牛肥ぶ遊れ群、河運の横縦、車風の有特



園卉花のダンラオ

い多が輸出の莖根々年し呈を觀美のふ競相妍百てし達發くし著が藝園

圖 海岸の村落
砂丘によつて海水を防ぐ低いオランダ村落の特徴を示したものである



河は凍結して楫道となる。
農業の發達と、收穫率の高いことは、ベルギーに次ぎ、麥類、馬鈴薯等の産が多い。牛、羊等の牧畜も盛に行はれて、牛酪、乾酪等の輸出が多く、緑深き牧場が、

極めて少い。東北部は冬の寒氣が稍強く、無数の運

で氣候は概ね溫和であるが、霧が多く、快晴の日は

が、數多に分れて此處を流
れ、縦横の運河排水渠が之
と交錯して、交通の便が極
めてよい。
氣候産業 灣流の影響



徳川時代の初期に紅毛人といったのはオランダ人のことである

ロッテルダム
の埠頭
多数の商船が群集し市況の繁盛を示してゐる

面積
約三一萬方呎

人口
約四九〇〇萬
右の内アイルランド
自由國は面積約七萬
方呎人口約二九〇萬

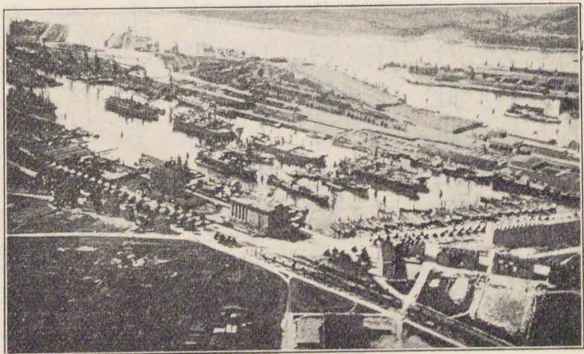
スカンジナビヤからスコットランドに至る山脈をカレドニア山脈といふことがある

は國內第一の商港である。

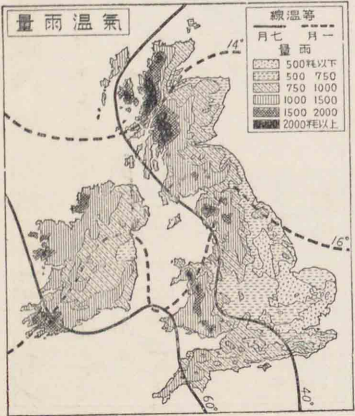
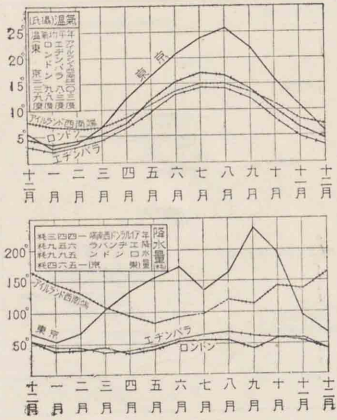
日本との關係 我が國とは、徳川幕府の初期から通商を開き、鎖國時代にも、泰西の事情を紹介し、博物・醫學等の進歩を促した。されば往時、唐といふ語が外國を意味したやうに、一時オランダといふ語は、西洋の意味に用ひられるに至つたが、現時の關係は深くない。

第四節 イギリス (England (British Isles) (英吉利))

地形 イギリスは、大ブリテン・アイルランドの二大島と、數多の屬島から成る。大ブリテン島は、イングランド・ウェールズ・スコットランドに分れ、アイルランドは、北アイルランドとアイルランド自由國とに分れる。

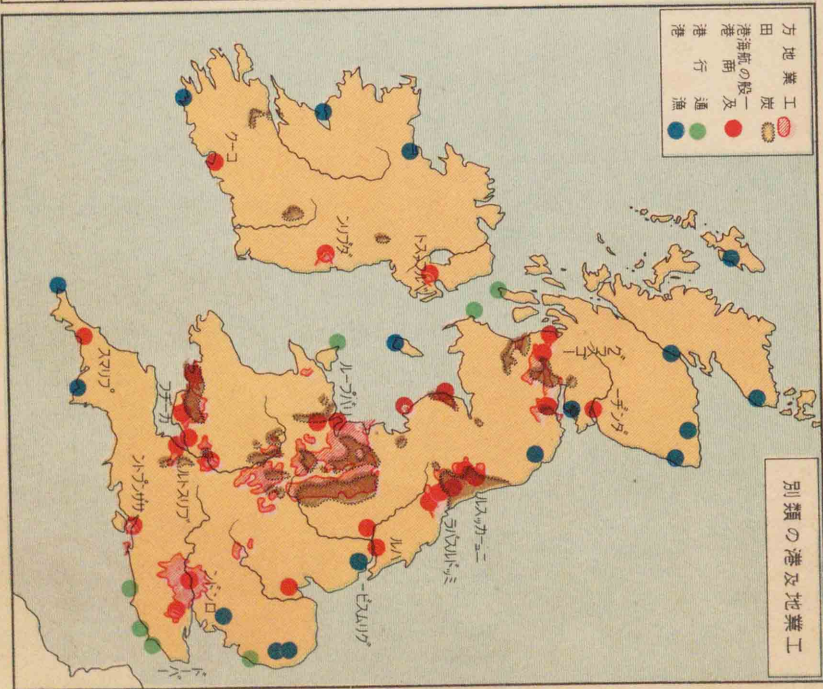
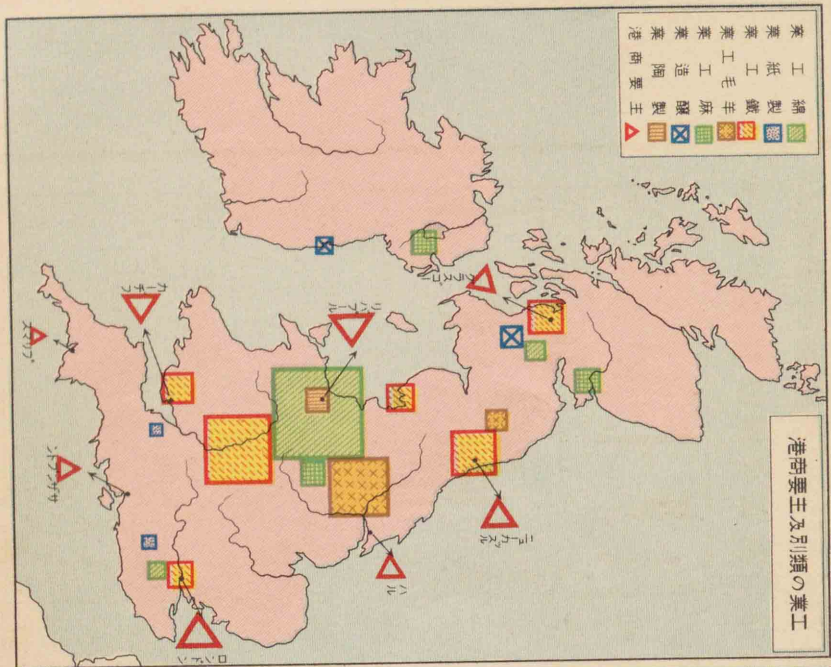


高地が連る。スコットランドでは、それが带状の中央低地によつて、北部高地と南部臺地とに分れる。イングランドの西北部には、ペンニン山脈が連つてゐるが、東南部は、佛白に連絡せる平野で、ティムス・ハンバー・セバーン等の諸川が此處を流れる。アイルランドは盆地状をして、ジャンソン河がその中を流れる。海岸は大小の河口が三角江をなし、スコットランドの西岸には、多數の峽灣がある。

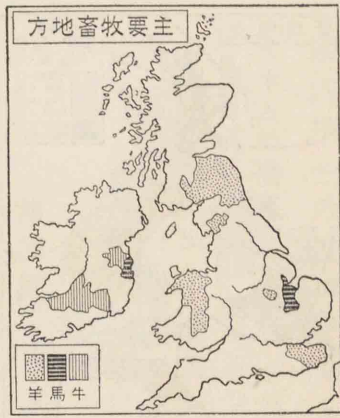
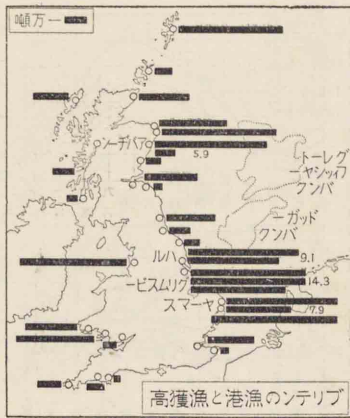


高山は殆どなく、第一の高峯ベンネビス山も、一千三百四十餘米に過ぎない。スコットランド・アイルランドには、氷蝕による湖沼が散在して、秀麗な風景を作つてゐる。

氣候 緯度は高いが、灣流・風向等の影響により、氣候は頗る温和である。一般に濕潤で霧が多く、快晴の日は極めて少く、西岸には

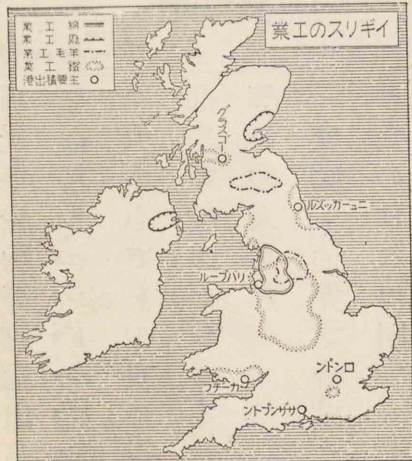
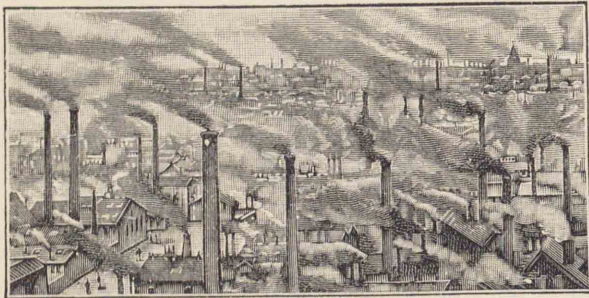


あるが、今も尚世界屈指の産額があり、且鐵鑛は炭田と近接して出るので、早く製鐵業（スパイラム、ダラム、スミット）が発達し、その原料鑛石を外國から



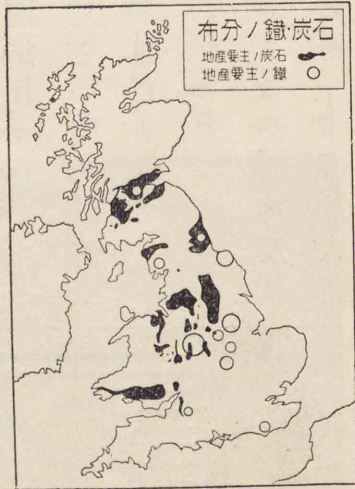
雨量も相當にある。
産業 往時は盛に農業も行はれて、歐大陸に對する穀物の供給地であつたが、商工業の繁盛につれて、國民は農園を捨てて都市に集中し、沃野は荒廢して僅に麥類・馬鈴薯・根菜類等を出し、牧畜も羊・牛等を飼養するが、食糧品は多く海外から供給を仰いでゐる。アイルランドは今でも農牧を主業とし、その産物を大ブリテンに送る。北海には廣い陸棚が発達して、鯨・鯨鱈の漁獲が多く、東岸には漁港が連つてゐる。
 石炭鐵の産出は、全盛を過ぎたかの感は

圖解 工業地帯の光景
 黒煙深々天を掩ふバーミンガム地方の有様でこれだけでも工業の隆盛を偲ぶことが出来る



仰ぐ額も少くない。製鐵業の盛大につれて、機械（バガム）刃物（シェフィールド）船舶（ロンドン）グラスゴウ等の製造も行はれ、木綿（チェスター）毛織（ドフツラ）等の繊維工業は世界獨歩といはれる。イングランドの中部

は、大小の工業市が群集し、煤煙が常に天を掩うて



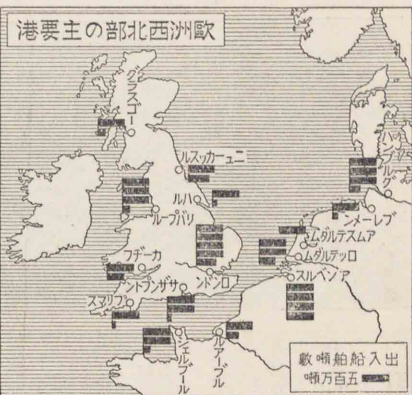
Black Country
 黒郷と呼ばれる。

工業が盛大な上に廣い植民地を持ち、通商上便利な位置を占め、海運業も盛であるから、貿易は大いに發達し、盛に綿布、鐵機械

英國は自由貿易主義を實行して酒・煙草の外は輸入税を課せぬ

リバプール・マンチエスター間の鐵道は世界最古のものである

英國の商船噸數は世界總噸數の約三〇%に當る

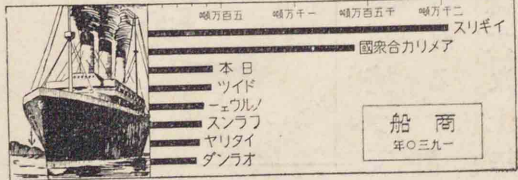


石炭毛織物等を輸出して、穀物綿羊毛木材等を輸入し、ロンドン・リバプールは、その取引の二大中心である。我が國へも鐵材毛織物鐵製品等の輸出が頗る多く、我が國より絹織物豆類等を輸入する。

交通 世界で始めて鐵道を設けたのはこの國で、今もその密度

が極めて大である。河川運河の水運も亦便利で、マンチエスター運河は殊に著名である。大陸との連絡は、ロンドンとオクスフォード・ドバーとカレドニアとの間に最も繁く、海運は世界第一の商船國で、廣く各地と通じ、リバプール・コーク・サンブロン等は、航路の焦點となつてゐる。

住民 住民の大部分はチルトン族であるが、西部及び山地には原住のケルト族も住んでゐる。チルトン族は新



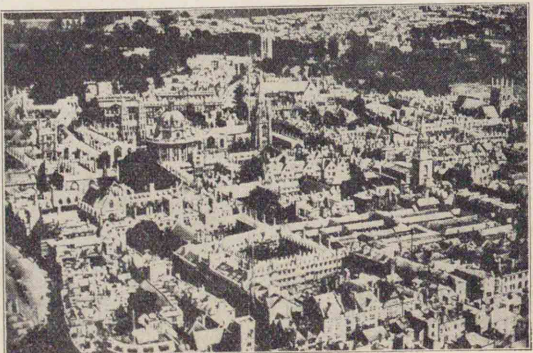
オックスフォード大學
空中から見た壯觀

主 要 領 土
(む 舍を 地治 統任 委地 護保)

アジヤ	香港 印度帝國 マレー半島 セーロン アデン パレスチナ ボルネオ一部
大洋洲	濠洲聯邦 ニュージーランド フィジー諸島 パプア一部 同上二部及びニューアリテン諸島等(濠洲) モア諸島一部(ニュージー) ナウル島(濠洲) ポリネシアの數諸島(南・英國統治) アイランド自由國 ジブラルタル マルタ島
ヨーロッパ	南アフリカ聯邦 ケニヤ タンガンイカ 南西アフリカ(南阿聯) 地方數ヶ所 スダン一部 ギネヤ カナダ ニューファンドランド 英領ホンチユラス ジャマイカ
北 米	バハマ諸島
南 米	ギヤナ一部 フォークランド諸島

教を奉じ、教育がよく普及して、名高い大學が多く、オックスフォード・ケンブリッジは特に知られてゐる。教育の方針は、品性の修養に意を用ひ、勤勉着實で秩序を守り、道義を重んずる所謂紳士たることを主眼とする。人口密度は世界の第三位を占め、海外に移住する者が甚だ多い。

政治 この國は、早く憲法の基礎を定めて内政を



整へ、海外に植民地を擴めて、十九世紀には全陸地の四分の一を領し、その版圖内には、太陽の没する時がないといはれてゐたが、更に大戰の結果、ドイツトルコ等の舊領土中、この國又はその植民地政府に統治を委任された處が少くない。

圖録
 アイランド
 の村落
 農民の貧苦は家屋によ
 つても察せられるが更
 に困苦な者は襤褸小屋
 に住んでゐる。

この全領土を大英帝國と稱へ、英國王は即ちその皇帝である。陸軍常備
 兵は割合に少いが、斯る廣大な植民帝國の統治に、強大な海軍を要す
 るのは當然のこと、海軍力は米國と共に世界の首位を占め、ポーツ
 マス・プリマス等は、その重要な根據地である。
 Plymouth

イギリス諸島には、ケルト族が住んでゐたが、チェイトン族のアン
 グロサクソン人が侵入して、國を建てるに及び、ケルト族は北部西部の邊
 陲に逃れ、スコットランドとアイランドとは、その後も
 永く獨立してゐたが、遂に合同して一王國となつた。
 アイランドのケルト族は、言語・宗教を異にし、永く英
 國地主の壓迫を受け、悲惨な生活を續けて來たが、獨立
 運動が盛になつたので、一九二一年、南部は自治を許し
 て、アイランド自由國と呼ぶに至つた。北部はスコット
 Landからの移民が多く、本國との關係が密な爲、北ア
 イランドと稱へ、王國の一部として自治を許されて
 ゐる。従つて現在のイギリスは、國號を大ブリテン北ア
 イランド合衆王國と呼ぶ。領土の大を誇りとした英
 The United Kingdom
 of Great Britain and Northern Ireland
 國も、今は領土統一の煩に苦しむ状態である。



Portsmouth



ロンドン市の下瞰
 中央を流れるのはテムズ河で、
 近くタワー橋が架つてゐる。



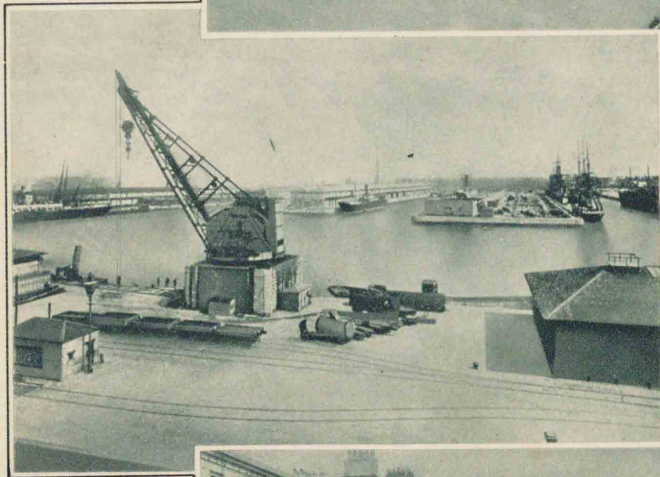
ロンドンの市中
 英蘭銀行前の光景で、往來が熱鬧
 を極める。



ロンドンの國會議事堂
 國會議事堂の左方にウエストミン
 スター寺の一部が見える。



サザンプトンの埠頭
大西洋通船の重要な根拠地で、
大な棧橋が長く出てゐる



グラスゴウの河岸
クライド河の西部方面を示したも
ので大小の船渠が列んでゐる

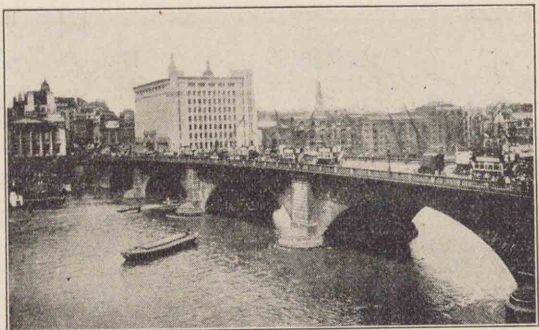


ダブリンの市街
大學前から議事堂へ通ずる大街道
で、市内で最も繁華な處

主要都邑

都邑名	人口(萬)
ロンドン	四四二
グラスゴウ	一〇七
バートン	九七
リバプール	八七
マンチェスター	七五
シェフィールド	五二
リーズ	四八
エジンバラ	四三
ダブリン	四二
ベルファスト	四二
ブリストル	三九
ハル	三一
ブラッドフォード	二九
ニューカッスル	二九
ポーツマス	二四
カーディフ	二四
ブリマス	二〇

【圖解】ロンドン市の一部
テームス河を中心にして空
中から見光景
大ロンドンの人口
は八二〇萬である



ギリス海峡に臨むサザンプトンは、大西洋航路の集點に當り、ウエール
スのカーディフは、石炭の輸出港として名高い。
イングランドの中部には、バートン(鐵工)マンチェスター(工綿)等の盛
大な工業市が多く、リバプールは、この大工業地帯の門戸に當る大商
港である。東岸にもニューカッスルを始め、大工業都市が多い。

都邑

首府ロンドン(London)は、テームス河に跨り、歐
洲第一、世界第三の大都會である。商業交通及び
經濟上の大中心で、船舶の輻輳、車馬の混雜、貿易
の盛大なことは、ニューヨークと東西の覇を競つ
てゐる。市内には、バッキンガム宮殿、國會議事堂、博
物館、英蘭銀行、ウエストミンスター寺、ロンドン塔
等の名高い建物が、煤煙と濃霧とは市の

名物で、往々白晝にも點燈を要することがある。
東南部のグリニッチには、名高い天文臺がある。イ

各

【圖】リンネル工場
リンネル工場として世
界最大といはれるもの

スコットランドのエジンバラは、學術・文藝上の
中心市で、出版業が盛に行はれ、クライド河畔の
グラスゴーは、この國第二の都會で、造船その他
の工業が盛である。
ベルファストは北アイルランドの主邑で、盛に
リンネルを産し、ダブリンはアイルランド自由
國の首府で、醸造業が行はれる。



日本との關係 我が國がアジャ大陸の東邊にある如
く、英國は歐洲大陸の西邊にあつて、兩國の大陸に對す
る關係が似てゐるので、日本は屢、東洋の英國と呼ばれ
ることがある。我が國の海軍・學藝・實業等の發達は、この國に負ふ所が多く、商業上の
取引も亦少くないが、その植民地との經濟關係は、更に一層密接なものである。

第五章 地中海地方

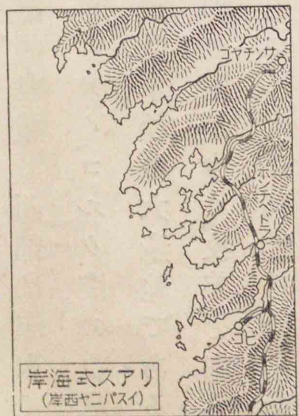
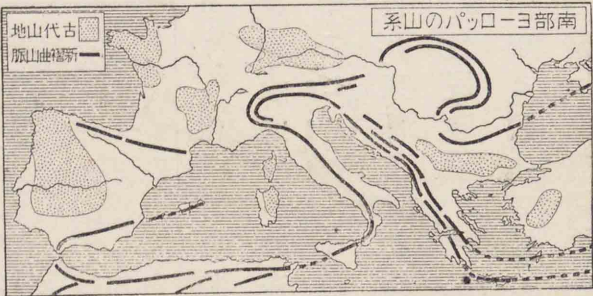
イベリヤ・イタリヤ・バルカンの三半島と、附近の島嶼とを含む。地中海

海は、ユーラシヤとアフリカとを分ける一大内海
で、アルプ山脈を盟主とする新しい褶曲山脈に抱
かれ、アペニン・アトラス（リカフ）シエラネバダ等の山
脈は、西地中海を圍み、ジナルアルプ・ピンドス等の
山脈は、東地中海の北縁をなして、小アジアの山地
と連絡する。此等の間には、古い地塊が、或は高原と
なり、或は島となつて残つてゐる。

第一節 イベリヤ半島

地形 イスパニヤ・ポ

ルトガルの二國を含む。大體は一大高原で
あるが、河川の浸蝕により、並行した山脈狀
をなしてゐる。海岸は西北の一部がリアス
式をなす外は、極めて單調である。



イスパニヤ
面積 約五〇萬方
人 約二四〇〇萬
ポルトガル
面積 約九萬三千方
人 約六九〇萬
カンタブリア山脈
の西端は海岸が特
殊の出入をなしイ
スパニヤ語で之を
リア (Ria) と呼ぶ
リアス式海岸の名
稱は之に由來する

面積 約三一萬方軒
人口 約四一〇〇萬

アルプ山地にはガ
ルダ・コモ・マッジョ
レ等の湖水が多く
景色がよい

【圖】コモ湖の景觀
アルプ山麓に於ける湖
水中風景のよみで名
高きもの

蠶絲は世界第三位
の産額がある



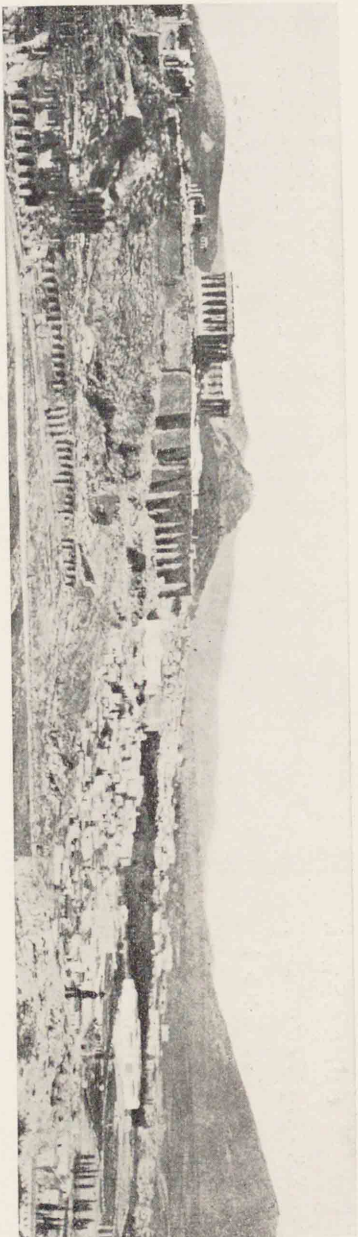
地形 イタリアヤ半島及び大陸の一部と、シ
リーサルヂニヤ等の島嶼から成る。北境にはア
ルプ山脈が横はり、山麓に景色のよい湖水が多
い。半島部にはアペニン山脈が連り、之に沿ふ火
山帯には、ベスビヤス・エトナ等の名高い火山が
ある。平地は割合に少いが、北部のロンバルヂヤ
平原は稍、廣く、ポー河が此處を流れてゐる。

氣候産業

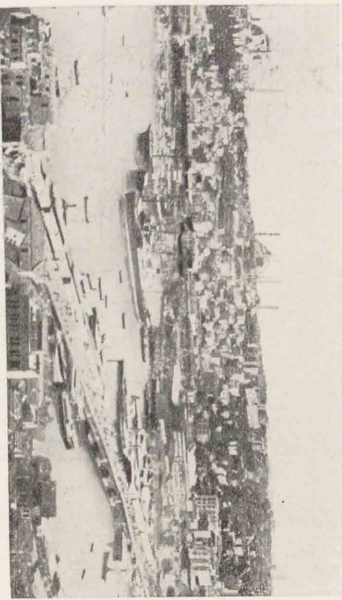
暑い不健康地もあり

氣候は概ね温和であるが、南部には

る。小麦・玉蜀黍・米・葡萄等の農産が多く、小
麥を原料とするマカロニは、この國の特
産である。養蠶も頗る盛で、生絲の産額は歐
洲第一に位し、ミラン・チリン等には絹織
業が行はれる。半島及び島嶼は、葡萄・オリ

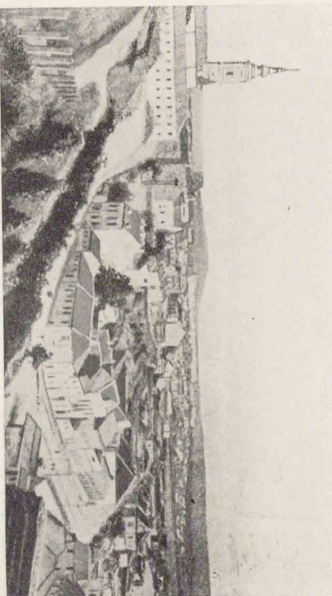


望遠のネテア
るみてつ連が街市はに方右り殘が址の堂殿るせと誇の明文代古で陵丘スリボロクアは方左



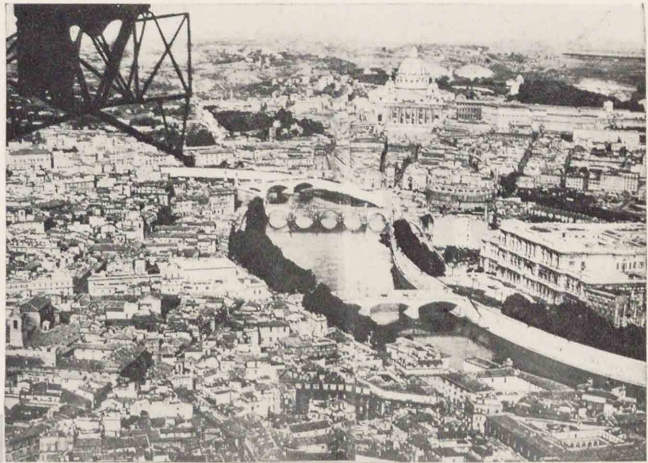
ルテノチンタスニコ

い多が院寺な大壯に内市らか保關の上史歴



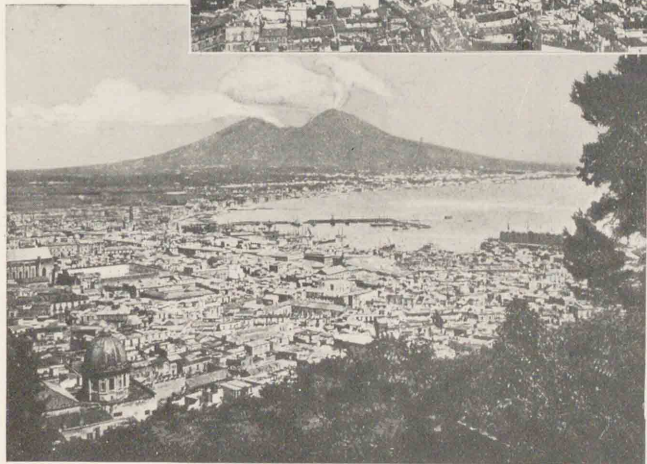
ボラグルベ

地粟の上通交し位に點流會の河兩アサ・ブーニニダ



ローマ市の下瞰

タイバー河が市中を貫流しセントペテロ寺が高く人目を惹いてゐる



ネーブルス市

清き海面を隔ててベスビヤスの活火山を望み風景美に開えてゐる



ベニス市の街

水を通路とし往來は専らゴンドラと呼ぶ小船を用ひる

製造 圖解 マカロニの製

小麦粉を型抜で細長い筒状に突き出したもので我が國産に似てゐる

珊瑚細工の原料は主として日本から輸入する

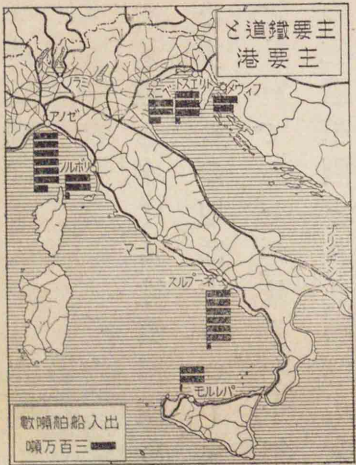


す。近年水力の利用が進んで、綿絲羊毛人絹等の新工業が勃興した。其等の産物は、絹織葡萄酒等と共に、主要な輸出品で、輸入品は綿穀物石炭機械等が多い。

交通 位置が地中海の中部にあつて、

イブ柑橘類等の果實に富み、葡萄酒、オリーブ油

の製造が盛である。鑛産は火山地方の硫黄、カアラの大理石等が稍著れてゐる。古來美術工藝に秀でた國で、古代ローマの彫刻繪畫は、世界の模範となり、今も珊瑚細工(ニス)、硝子器(ベス)等の工藝品を出す



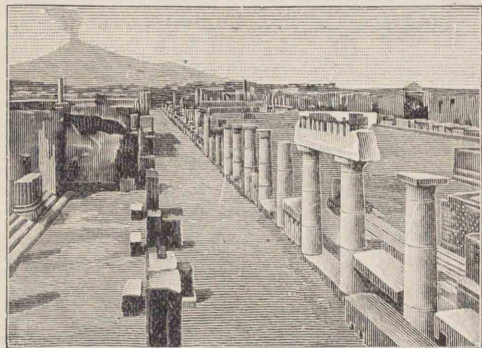
アフリカ洲に於ける領土はエリトリア・ソマリランド及びトリポリ等である

発掘されたポンペイの市街

ポンペイは西紀七九八年に埋没され一七四八年に發掘されたもので二千年前の文化を想ふことが出来る

主要都邑 人口(萬)

ローマ 九八
ミラン 九七
ローマ 九三
ゼノア 六二
チニリン 六〇
パレルモ 四五
フロレンス 三三
トリエスタ 二六
ネーブルスに名高い臨海實驗所がある



多數の航路が集り、中歐と連絡せるアルプ横斷鐵道は、二條の幹線となつて國內を縦貫する等、水陸の交通が頗る便利である。

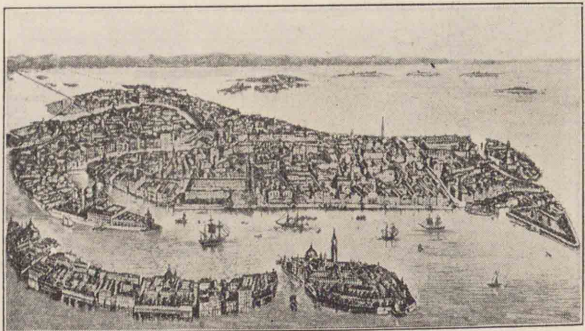
住民政治

國民の大多數はラテン族で、舊教を奉ずる。性質が極めて優雅で、美術・文藝に長じ、又音樂を得意とする。この地は古のローマ帝國の中心地で、その滅亡後、數多の小國に分れてゐたが、凡そ七十年前に統一して、現在の立憲王國となり、國運が次第に進んで、アフリカ洲の處々に領土を得、又大戰の結果、大いに境域を擴めて、世界五雄邦の一に數へられるに至つた。

都邑

首府ローマは、タイバー河の下流に跨り、昔ローマ帝國の首都であつたから、當時の遺跡に富み、遊覽の客が常に多く、ネーブルス(リナポ)は、近くベスピヤス火山と對し、風光明媚な良港で、附近に近年發掘されたポンペイ市の遺跡がある。

圖 維ベニスの大觀
空中から見た光景でS字形の大水路が中部を貫き、その他大小の水路が交錯してゐる



バ島はナポレオン一世の配所として名高い。

日本との關係 イタリアは、地形氣候等が我が國に似てゐる外、歐洲の火山國、地震國で、溫泉名勝古跡が多く、米・生絲等の産物を出し、國民が手藝に長ずる等、總ての方面に似てゐる點が多いが、貿易は我が國から多少の屑絲や、工藝原料として珊瑚を送る外、餘り盛ではない。

ある。フロレンス(フレッ)は美術の中心で、古今の名畫を集藏し、ピサは斜塔があるので名高い。

ロンバルヂヤ平原には、ミラン(ミラ)・チユリン(リト)

等の工業都市がある。共に鐵道の要地に當り、

ミランには著名な大寺院がある。ゼノアは重要な商港で、又機業が行はれる。東岸のベニス(チヤネ)

は、數多の島に跨り、水上の都と謳はれる處で、硝子器・寶石細工等を出す。對岸のトリエスタとフィ

ウメとは、共に新に得た良港である。

シシリ島にはパレルモの要港があり、エル

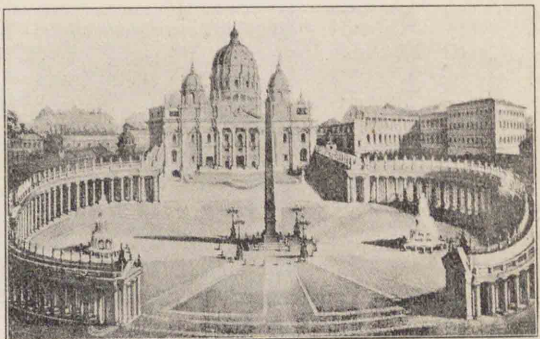
各

バチカン は面積
〇・四四方軒、人口
約六四〇
その使節が日本へ
も來てゐるが日本
からは未だ派遣し
てゐない

【圖解】セントペテロ
寺
圓形の屋根がそれでタ
イペー河の右岸にある
サンマリノは面積
約六一方軒、人口
約一萬三千

多島海は陸地の陥
没によつて生じた
ものである

【圖解】鐵門の急流
運河の部分を示し
たもの

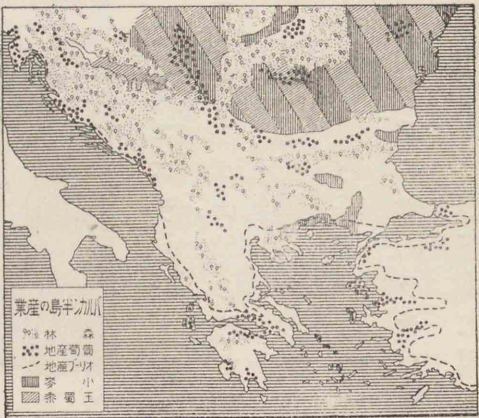
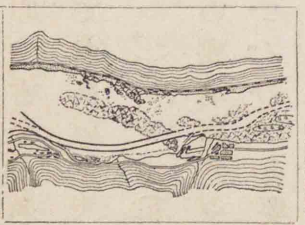


マルタ島 英國の領土で、港市をバレッタと
いひ、英國地中海艦隊の根據地である。
バチカン ローマの市内に介在し、法王廳
に屬する獨立の小地域で、セントペテロ寺
バチカン宮等が此處にある。
サンマリノ 半島の中部にあつて、建國の古い獨立
共和國である。

第三節 バルカン半島

Balkan

バルカン半島は、地中海の東部に位し、ダルダ
ネル・ボス・ポロスの二海峡を隔てて、アジア洲と相對し
てゐる。海岸線が極めて錯雜し、殊にエーゲ海は、大小の
島嶼が散在して、多島海と呼ばれる。一體に山勝ちであ
るが、ダニエーブ河の下流には廣い平原がある。この河道
に鐵門の急流があるが、運河を設けて交通を便にした。



南部は氣候が概ね溫和で、歐洲の果樹帯に
屬し、葡萄、無花果、オリーブ油等の産が多く、
養蠶牧畜も行はれる。北部は大陸性で雨量
は乏しいが、小麥、玉蜀黍の主産地で、歐洲の
穀倉の一に數へられる。

この地方は民族が
複雑して、互に融和を
欠き、且形勝の地を占
める爲に、列強の干涉も加つて、絶えず紛争が起
り、歐洲禍亂の源といはれてゐたが、世界大戰も、
その端はこの地から起つた。今はこの狭い區域
が、六國に分れてゐる。

ギリシヤ 古代に文明が著しく進み、歐洲文
化の源となつた地方で、今は共和國である。住民



面積
約一三萬方軒
人口
約六二〇萬

【圖解】アテネの市街
市の中央にあるアコロ
ポリス丘を示したもの
で、古代建築の遺物が多
い

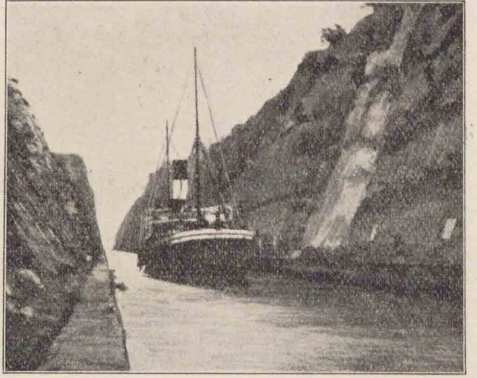
アテネ 四五萬
サロニキの一部は
ユーゴスラビヤの
爲に自由地域とな
つた

【圖】コリント運河
一八九三年開通したも
のでアドリア海と黒海
諸港との航運距離を約
八十六哩短縮した

面積 約四萬五千方
人 約一〇〇萬
チラナ 一萬七千

面積 約二五萬方
人 約一三九〇萬
ベルグラード 一三三萬

面積 約二九萬方
人 約一八〇〇萬



の大部はギリシヤ族で、農を業とし、又海上貿易に従事する者も少くない。首府アテネは著名な史蹟が多く、ピレウスはその門戸である。コリントは同名の運河に沿ひ、サロニキは鐵道幹線の一起點である。
アルバニヤ 一小王國で、アルバニヤ人が多く、牧畜を主業とする。チラナはこの國の首府である。

ユーゴスラビヤ 南スラブ族に屬する諸民族の住地で、セルビヤ、モンテネグロ等の獨立國があつたが、大戰の結果、同族の住地を統一して立憲王國となつた。首府ベルグラードは交通の要地に當り、バルカンの鍵と呼ばれる處である。
ルーマニヤ ラテン族によつて建てられた立憲王國で、大戰の結果、殆ど舊時に倍する大國となつた。域内に沃野が廣く穀産に富み、山麓

面積 約一〇萬方
人 約五九〇萬

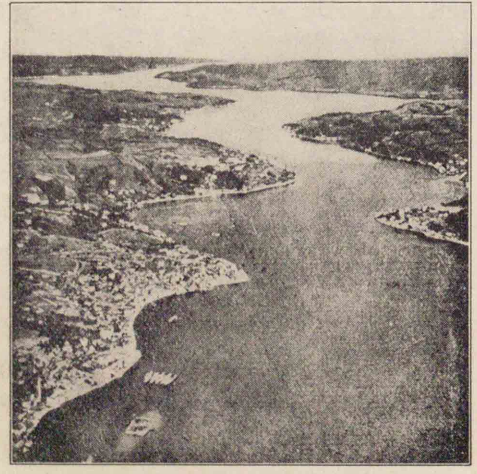
【圖】ルーマニヤの油田
ブカレストの北方カンピナに於ける光景で林立してゐるのは油井鑿用の機

ソフィヤ 二二萬
面積 約二萬四千方
人 約一〇四萬

【圖】ボスボロス海峽
西から東を望んだ光景
コンスタンチノブル 六九萬
トルコ人の間にはコンスタンチノブルをスタンブールと呼ぶ



徒のトルコ族である。コンスタンチノブル(アタラ)は、ボスボロス海峽の要地を占め、最近までトルコ帝國の首府であつたが、今は首府をアジヤに移した。アドリアヤ



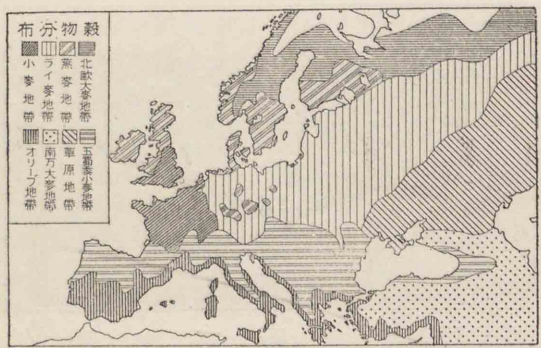
地方から石油・岩鹽等を出す。首府ブカレストは半島の最大都會で、ガラツは重要な河港である。
ブルガリヤ スラブ族のブルガリヤ人によつて建てられた立憲王國で、薔薇油の特産がある。首府ソフィヤは中央ヨーロッパと鐵道の便がある。
トルコ(一部) もと半島の大部を領してゐたが、次第に領土を失ひ、大戰の結果、僅に一小部を残すのみとなつた。住民の大部分は回教

ボスボロス海峡は長さ約三十軒に及ぶも幅の狭い處は約七百米に過ぎない水深が甚だ大で巨艦の航行が自由である

ノ・プ・ルはマリツァ河流域の中心市で、薔薇油の名産がある。

ボスボロス、ダグネルの兩海峡は、國際上重要な處で、近時まで外國軍艦の通行を禁じてゐたが、大戰の結果、その航行を自由にし、海峡の沿岸は軍備を禁止した。

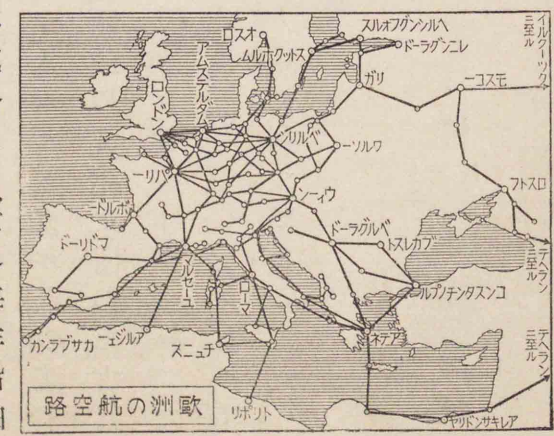
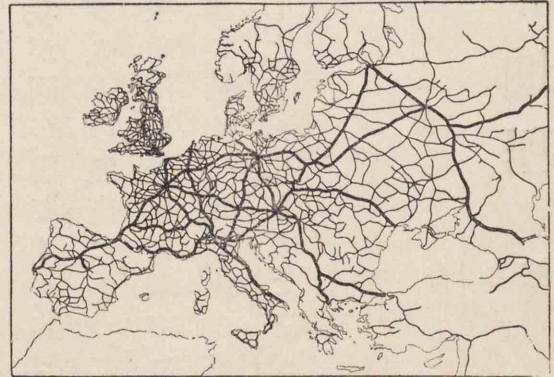
總說 (其二)



産業交通 土地が廣く利用されて、農業は到る處に行はれるが、人口が稠密な爲、東歐の一部を除けば、食糧品は他から仰がねばならぬ。牧畜は主として肉乳を目的とし、羊毛は輸入が多い。中部以西は、石炭鐵に富んで、工業が著しく發達し、之に要する原料の輸入及び製品の輸出が盛んで、通商は廣く世界の各地と營まれ、産業上にも、經濟上にも、世界的中心となつてゐる。交通は水陸共に便利である。鐵道は延長に於

圖解歐洲の鐵道網を示す 太いのは大幹線である

いて北米に劣るも、鐵道網の密度は、大洲中第一である。水運は南北に二大内海があり、多くの河川、運河は海灣と



- ヨーロッパ人種**
- ラテン族** イタリア・フランス・イベリヤ半島・ルーマニア等
- チュートン族** スエーデン・ノルウェー・デンマーク・ドイツ・イギリスの大部等
- スラブ族** ソビエト聯邦・バルカン半島・ポーランド・チェコスロバキヤ・ユーゴスラビヤ
- ギリシヤ族** ギリシヤ
- ケルト族** フランス
- イギリス等の西部**
- バスタ族** ビレネー山中
- ユダヤ族** ソビエト聯邦・ドイツ等その他處
- アジヤ人種**
- トルコ族** バルカン半島東南部
- マジヤール族** ハンガリー
- フィン族** フィンランド
- ラップ族** スカンデナヴィヤ・フィンランド等の北部

内陸とを連れ、又北大西洋航路には、世界海洋船舶の過半を集めてゐる。この他航空路網や、海底電線、無線電信等の設備も殆ど完備してゐる。

住民國狀 本洲の人口は、約四億五千萬に達し、密度は諸大洲中第一である。住民の最多數はヨ

大谷俊男



大谷俊男

広島大学図書

2000063445



5